

からぼり川

がたろう通信

第 21 号

2000年6月1日発行

特定非営利活動法人 空堀川に清流を取り戻す会

ホームページ <http://village.infoweb.ne.jp/~fwnf5802/index.htm>

E-mail kankan5@nb.infoweb.ne.jp

発行責任者：小林寛治 TEL/FAX 042-391-4003（東村山市美住町 1-13-14）



ちびっ子天国の一日

第2回「川まつり」が5月28日（日）に行われました。心配した天候も、開会の時には青空が広がり真夏の日差しになりました。

幼稚園児による魚の放流、ビンゴゲーム、川流れ玉入れゲーム、水の汚れを調べる学習コーナー、学習リーダーによるネチャゲーム等盛り沢山の遊びを用意したイベント会場は、昨年を上回る大盛況でした。イベントには森永乳業㈱をはじめ、トヨタ・チャイルド社、環境局の協力があり、会員手造りのメダルなど沢山のお土産が子供たちに渡りました。



新緑の高原にて

正路 妙子

5月はじめに訪れた八ヶ岳山麓の村には、ソメイヨシノの花が咲き残っていました。ヤマザクラはまだつぼみのままでしたが初々しい葉が出揃い、ナラ、クヌギ、ウコギは柔らかな浅緑の葉を遠慮がちにつけていました。これらの落葉樹の緑がその濃さを増す頃には、森は私たちを圧倒するような生命力を発散することでしょう。林床は熊笹で覆われて、たくさん羽虫や蝶々が飛びかうでしょう。走り回るネズミやウサギの姿も垣間見ることができるかもしれません。

こうして、毎年繰り返される自然の営みを眺めていると、冬が生命の終わりのときであり、春がその誕生と復活のときであるといわれることがよく分かります。そして、自分もその自然の一部であり、やがてそれらと合一するという思いは限りない安らぎを与えてくれます。

生物のひとつの個体の生命は滅びても、子孫の中に遺伝子が受け継がれていくことで、種としては存続していきます。人間もそのような生物の条件のもとで生きています。一般的には考えられてきました。しかし、医学が進歩すると共に、権力者のみならず庶民もまた、みずからの個体そのものの永続化を望むようになりました。悪い部分は切除し、別の個体から提供されたもので入れかえることは、今や日常的に行われています。現在の医学の段階で解決できない病気については、人間の身体の一部、あるいは全部を冷凍保存し、解決法が発見された段階で処置し、蘇生させるというプロジェクトがあると、すでに何年前に聞きました。人間は、たとえ子孫を残しても、何世代にも渡って生き続けることを望む生物と、定義してもよいかもしれません。

そのような人間の欲望を反映して、究極の人間中心主義を追求した医学。その目指すところは、人間を反生物の立場に立たせています。生物としては存続する資質を欠いたものの命を永らえさせることを、現代の医学は課題としているからです。

この人間中心主義からちょっと抜け出して、樹木のいのちも、鳥や花や獣のいのちもみんな同じいのちという視点をいまひとつ取り戻し、人間の立場を相対化して眺めると、私たちの前に新たな路が開けるように思われるのですが ……

新緑の森の中を歩いていると“瞬間よ、とまれ！おまえは美しい！”というファウストの言葉がいくたびも頭をよぎりました。



空堀川に保全地域の設定を！

小林 寛 治

空堀ひろばで犬の散歩や引き綱から放して遊ばせている人を見かけます。このひろばには、小さな子供たちがお母さんやおじいさん、おばあさんに連れられて遊びにきています。犬は綱から放されると喜んで飛び回ります。こんなときに事故が起こります。子供の好奇心や恐怖心はさまざまです。

最近、こんなことがありました。怪我をして北国に帰れなくなったマガモの雄一羽、浄水橋の下に棲みついでいました。鎖から放された柴犬がカモを見つけると追いかけて回りました。飼い主らしい母娘三人は面白がって犬をけしかけていました。足の悪いこのカモは必死で逃げ回り、ついに 10 セチほどの水の中に潜りました。犬はここぞとばかり嘍み付こうとしました。

あまりの有り様に私は大声を出して急いで駆け寄り、犬を叱り付け、母親に「ヤメロ！」と怒鳴りました。「怪我をして飛べないでいるのに可哀相ではないか！」母親は言いました。「飼っているのですか。」 どうして私が渡り鳥を飼うのでしょうか。母娘もこのカモが、カルガモかマガモか、渡り鳥なのか留鳥か知らなかったのでしょうか。私も余裕を持って空堀川のカモについて話ができたら、と反省しました。

魚が増えれば根こそぎ釣ってしまう。鳥に石を投げる。犬を連れてきては放す。気持ちちは分かります。しかし、あまり良き理解者になつたらいけないのです。人工河川にはそれなりに人の手による生物の生息可能な環境を創り出していく責任と義務があるのではないのでしょうか？

河川空間に数多くの種を呼び戻して豊かにすることは、私たち人間にとっても存続の基盤をより豊かにしてくれるのです。

新青梅街道と東村山浄水場に挟まれた地域を「生物生息保全区域」として保全していくことが出来ないだろうか？ 住宅もなく、陸橋と浄水場に囲まれ改修の済んだ区間に、ワンドも造られることを考えると一層進んだ保護施策を望みたいものです。水辺が保護され魚や鳥が集まれば人も集まり、放っておけばすぐに環境は破壊されてしまいます。自然の回復を上回る荒廃がまっているのです。

《お知らせ》 今回からスタイルを少し変えました。宮下氏の「がたろう豆辞典」は一回休みます。ご了承ください。次号より隔月に森永乳業(株)東京多摩工場様のご協力により本誌継続発行の支援として広告を掲載いたします。続けてのご投稿・ご意見をお待ちいたします。

空堀川のしっぽから

清瀬市 宮 沢 とよみ

雑木林の間を縫うように、川面に緑を写して流れる風景に引かれて移り住み早 37 年。その間、旧河川はコンクリで護岸をされ、ガードレールがつけられたりと、環境の変化と共に様変わりをしていくが、その内、折角の清流が悪臭を放つ下水道と化し、雨水がのみきれず度々氾濫する情けない川となり、昭和 40 年代の終わり頃から川幅 4 倍以上の本格的な改修が始まる。沿岸の雑木林や、見事な屋敷林を持つ農家が移転され、河川用地として切り開かれた。汚され魅力を失った川は誰にも関心を持たれず、完成されたところは、河畔林の代わりに高いフェンスで囲われ手が届かない。

長い年月をかけて、空堀川・柳瀬川から恵まれた、右岸の河岸段丘斜面は豊かな植物相を抱えて残る。源流の狭山丘陵からもたらされたものだろうか、マルダケベキ・ルリソウ等消えたものもあるが、ヒロハノアマナ・カタクリ・アズマイチゲ等々群生地として、昆虫や野鳥と共に観察出来る。

空堀川の貴重な財産とも言えるこのクヌギ・コナラを主体とする段丘崖線は 2 ha 弱、民有地であっても都の緑地保全地に指定。自然保護団体と市により守られ、源流と一体となったつながりを感じさせる。

幸いなことに、近年川の水は澄み、小魚や水鳥が見受けられるようになると、川にはいつも人の姿がある。橋に立ち止まって覗き込む人、フェンスを乗り越えて子供たちと一緒に釣りをしたり、おへそまで水につかって遊ぶ。

水鳥が憩う流れの両側の草むらには、クレソン・カワゲシャの仲間。アメアサガオの類・ガガイモ等々上流からの贈り物だろう。かつて清瀬で見られないものも次々と根付き目がはなせない。

そして、柳瀬川合流点から上流 500m 位の廃河川は、浅く、流れは狭められたが、兩岸に草木が植栽され“せせらぎ公園”と命名され、子供たちの自然学習園として生まれ変わろうとしている。試験的に通水されて約 1 カ月、もうオタマジャクシが発生。すでに命を生み出し、本流の空堀川とはまた違った、緑豊かなビオトープとしての憩いの場になろうとしている。

蛇行する川の趣を奪われてしまったら、せめて廃河川は非常時の遊水池として、また水辺の緑道として、豊かな生態系を生み出すことのできる場となるよう皆で望んでいきたいと思う。





フィールドワークに参加して

田 中 開

湧水豊かな東久留米市の落合川・黒目川フィールドワークが3月12日、東村山市「水と緑の市民懇談会」主催で、市・みどり公園課の近藤係長引率のもと実施された。がたろうからは有川さんと私が参加した。

東久留米「ほとけどじょうを守る会」の菅谷輝美氏の数々の活動実績に立った説得力のあるうえ懇切な説明と案内で、10時半より18時近くまで両河川のほか、道路、住宅、公園建設予定地の環境保全活動の経過と現状も視察した。

●南沢緑地保全地域の雑木林と湧水、新東京百景の2000本もの孟宗竹が生い茂る竹林公園の湧水は、豊かな自然景観と清流そのもので、3月の時節ながら水草は緑みどりとしている。CODも大腸菌も水質検査では0という。雑木林や竹林の保水と落葉のなせる自然の理の由。

●南沢でも落合川「いこいの水辺」でも、案内人持参の網で一掬いするうち落葉とともに「ほとけどじょう」が二匹も掬い上げられ、一同感嘆しきり。

●南沢湧水の脇に、「水の神」氷川神社があり、誰かからともなく全員賽銭をあげ参拝したのも、同じ自然を守ろうとする者の通じ合うものか。

●いこいの水辺の柳が数本見事に根づき、そのうち一本の猫柳は数多くの白い芽を出しているのが印象的で、聞けば洗掘がひどくなりかけたので、3年前に植栽した由、3年で2m有余になり、護岸と共に目をなごませてくれ、昨年の空堀川の植栽を思い出して羨ましい限り。

●蛍の南沢湧水近辺と、蛍を守る会が支援する支流は、マンションと共存しながら活躍している現地に接し、感心もし、この夏はいかがとおもふばかり。

●水と緑の見学コースの他に、道路建設予定地、都営住宅予定地、都立公園予定地等の更地も見たが、湧水豊かな現地では表土が乾いたところと、黒く湿ったところがあり、後者は2mも掘れば地下水が湧き出ると言い、湧水豊かな東久留米ならではの現象である。

●次いで東久留米中央中学の生徒さんによる炭焼き現場を見学するなど、数多くの見聞散策のフィールドワークであった。

今回とくに感じたことは、長期にわたって更地のまま放置されている河川改修予定地の端に地名を付けた人為的な仮橋はナンセンスであり、落合川源流域の多自然型川づくりの異様な状況もまた作為的で、今後河川工事をやるうえにおいて問題提起している現実だと、つくづく感じたことである。

以 上

川をたどれば海に出会う「かっぱウォーク」

北川かっぱの会

「この川はどこまで流れて行くのだろう」こんな素朴な疑問が小学生たちに芽生えた。小学校の環境学習を通じて知り合った子供たちから出た質問に、地図を見ながら説明するが、どうも実感が無い。当然だろう、実は私もこの東村山の北川が実際に海までたどり着くのを確認したわけではないのだから。東京湾へ向かうはずの川が、北東へ向かっている。しまった、新河岸川に合流した。ここは何処？。だんだんと説明する言葉に自信がなくなってくる。

このような経緯があり、北川源流から川筋をたどり、東京湾・太平洋まで行ってみようと企画されたのが「かっぱウォーク」です。今年1月にスタートし、2か月に1回のペースで、20世紀最後の日に東京湾にたどり着く……予定。

この機会に下流で活躍している「川仲間」と交流し、自然を堪能し、地域の風土に触れ、名産銘酒に舌鼓を打ち、どんどん仲間を増やしながら東京湾を目指しています。現在、北川から柳瀬川、新河岸川に合流し、朝霞水門で荒川と交わったところ、川の変わり行く姿に驚きの連続です。今回は第4回目で西高島平から出発し、赤羽までの約5km、皆さんの参加をお待ちしています。(宮本貞子)

「かっぱウォーク」行程

- | | |
|-----------|-------------------|
| 1月15日(土) | 北川源流～清瀬金山公園まで約8km |
| 3月11日(土) | ～志木いろは親水公園まで約8km |
| 5月27日(土) | ～西高島平まで約8km |
| (今後の予定) | |
| 7月8日(土) | ～赤羽まで約5km |
| 9月9日(土) | ～町屋・日暮里まで約12km |
| 11月11日(土) | ～南千住・両国まで約12km |
| 1月?日 | ～浜離宮(東京湾)まで約12km |

問い合わせ：北川かっぱの会 (042) 391-2365



第2回「かっぱウォーク」は清瀬金山公園を出発 柳瀬川沿いを歩く。手前は東京都、対岸は埼玉県
桜が丘図書館に置いてあります。

新入会員のご紹介

個人会員

室岡喜代二（八王子市）加藤敏子（東村山市）、田頭 裕（所沢市）、松田邦彦（東村山市）、山口基子（東村山市）島岡秀文（台東区）。

企業会員

中央ビルサービス（株）。

身近かな川の一斉調査

今年も新河岸川に注ぐ水質を、流域各団体が一斉に測定します。当会は空堀川の中・下流を担当します。

水を採取して、当会理事である渡邊先生の教室で分析します。一緒にやってみませんか。

日時：6月11日（日）・9時～12時

分析場所：ポリテクカレッジ東京

参加申込み：小林まで 391-4003

ご寄付をありがとう

この度は会員の皆さまから多大なご寄付を頂きました。心から御礼申し上げます。5月28日現在、27名の方から、合計84,000円のご協力をいただきました。会報発行の費用に当てさせていただきます。

ロゴマーク決まる

法人化を契機に当会のロゴマークを創りました。フナギイ一宗正 隆氏のボランティアによるものです。同氏は空堀川の中流から柳瀬川金山公園まで視察してデザインされました。ロゴは二色です。空堀川と環境団体を表わしています。



鯉のぼりをありがとう

空堀ひろばに泳がせる鯉のぼりの補充のため、東村山「市報」で呼びかけたところ11軒の家庭から32匹の寄贈がありました。中には十数メートルの大鯉もありましたが、ポールの設備が不十分で残念ながら今年は泳がせる事が出来ませんでした。来年まで待っててください。

総会のお知らせ

NPO 法人第1期総会を、6月10日10時から中央公民館第3集会室で開催します。詳細は別途連絡します。

◆これまでの経過◆

(2000. 3～5)

- ◎ 3月10日 空堀川川まつり実行委員会。市庁舎地下食堂にて。
- ◎ 3月11日 理事会に引続き定例会。東村山市中央公民館。
- ◎ 3月22日 川まつり実行委員会。市西庁舎。
基本的な事柄について打合せ。
- ◎ 3月28日 第7回クリーンアップ打合せ。下堀自治会館
- ◎ 4月4日 市民生活課西川課長・肥留間係長とNPO支援対策について行政の方針を聞く。
- ◎ 4月8日 理事会・定例会開催。
- ◎ 4月14日 川まつり実行委員会。
- ◎ 4月16日 第7回空堀川クリーンアップを行う。
- ◎ 4月24日 川まつり実行委員会
- ◎ 5月7日 回田緑道・セセラギの散歩道完成式典。
- ◎ 5月13日 定例会。草の根基金公開選考会。福島、小林出席。
- ◎ 5月22日 環境問題に関する地域集会。東久留米市役所会議室
- ◎ 5月24日 空堀川浄水橋下の清掃ならびに河道内の石の配置を行う
- ◎ 5月25日 川まつり実行委員会市西庁舎。
- ◎ 5月27日 川まつり準備のため鯉のぼりの補修調整を行う。
- ◎ 5月28日 第2回空堀川川まつり行う。

「北川かっぱの会」が環境賞！
平成12年度環境賞（都知事表彰）
が、昨年 of 当会代表小林寛治に引
き続き東村山市内の団体に決まり
ました。おめでとうございます。

会員募集中

「空堀川に清流を取り戻す会」は、
2月1日付けで法人になりました。
河川環境の整備は都会に残された唯一
の広がりを持つ空間であります。子供
たちが安心して自然と親しむ環境を作
っていきたくと思っています。

会の目的

私たちは環境の保全、街づくりの推
進、子供の健全教育、社会教育の推等
を目的として法人にしました。近い将
来事業を行いたいと考えています。参
加して社員（会員）には給与を払い第
三の企業を目指して準備しています。
運営に参加してみたいという方を求め
ています。会の活動を推進するために組
織づくりから協力頂ける方、今までの
経験・趣味を書いて申込み下さい賛助
会員として支援していただける会員も歓
迎します

会 費

個人会員（賛助会員とも）

入会金（会員） 2,000 円

年会費 2,000 円

法人・団体会員（賛助会員とも）

入会金 10,000 円

年会費 10,000 円

申込み先

東村山市美住町 1-13-14

小林まで TEL/FAX 042-391-4003

◎E-mail kankan5@mb.infoweb.ne.jp

からぼり川

がたろう通信

第 22 号

2000年7月10日発行

特定非営利活動法人 空堀川に清流を取り戻す会

ホームページ <http://village.infoweb.ne.jp/~fwnf5802/index.htm>

E-mail kankan5@mb.infoweb.ne.jp

発行責任者：小林寛治 TEL/FAX 042-391-4003 (東村山市美住町1-13-14)



七夕飾りが空堀川に！

美住幼稚園（園長細淵和幸氏）、多摩みどり幼稚園（遠藤剛之氏）、園児約 300 名が、それぞれの組に分かれて、天の川のお星様に願いを込めて作成した七夕の笹飾りが、浄水橋際の百合の木ひろば、野口橋のひろばに飾られました。

七月は河川愛護月間であり、とくに七月七日は川の日になっています。川沿いを歩く人たちの目に、幼稚園児の願いを込めた短冊が目にとまればなんと微笑ましいことでしょう。



秩 序

正 路 妙 子

ドイツ国内の世論調査によれば、ドイツ人の国民性として第一位に挙げられるのが「秩序好み」だそうです。確かに、ドイツ人の多くは、すべてが規則通りに機能し、整然としていると居心地がよいと感じるようです。「人生の半分は秩序だ。」とか、「整理整頓を大切にせよ、それは時間と労力を節約してくれる。」という諺の中や、日常生活で挨拶のように取り交わされる表現の中に“Ordnung 秩序”という言葉が頻繁に登場してきます。

ドイツの都市の周辺には、シューレーパーガルテン (ライカールテン) と呼ばれる、美しい集落が広がっています。100 坪程度の敷地に小さな家と、手入れされた庭がついています。1800 年代中頃に、ライプチヒの医師であり、教育学者であつたシューレーパー博士が、当時人口増加の著しかったライプチヒの郊外に、子供の遊び場を兼ねた家族用の花壇を作ったのが始まりだそうです。現在では、庭のない都市住民のための貸し農園となっていて、家族が消費する野菜・果物をほとんどここで自給してしまう人々も少なくありません。あくまでも庭園であり、休養の場所ですから、住むことはできませんし、定まった居住地を持たない人は借りることができません。その他にも、いくつかの規則があります。

- ・庭の道はコンクリートで舗装してはならない。
- ・隣人に迷惑をかける恐れがあるので、高くなる木は隣家から4メートル以上離して植え、しかも2本以上植えてはならない。
- ・コンクリート、その他の強固な囲いをしてはならない。
- ・除草剤は使用してはならない。
- ・天然肥料を使用すること。
- ・騒音を出す工作機械の使用は、平日の8時から13時までと、15時から19時までに限る……。

一見すると、とても細かいことにまで及んでいる。厳しい規則のように思われませんが、いずれも、人々が居心地よく暮らせるように配慮されたものです。借りる人々も、規則に基づかないと、庭園の秩序が破壊されて、せっかくの休養が台無しになると考えています。規範は、結局のところ一人ひとりの人間の快適な環境を守るものとして意識されており、それらを守らないことは、秩序を乱す行為として厳しく糾弾されるのです。

ドイツの町や自然の整然とした美しさも、このような秩序意識が生み出したものといえるでしょう。

身近な川の一斉調査

6月11日、梅雨入りの雨が降りしきる中、東村山市立第三中学校の科学部の生徒20名に佐々、木村両先生と会から小林が参加して、西武新宿線久米川駅下の第二天王橋から清瀬市との市境の大沼田橋下「いこいの水辺」までの四地点を測定しました。以下三中の学級新聞「飛鳥」から……

『川の一斉調査』（6月11日）に20人参加

——自然科学部、3年選択数学、有志の20人——

関東も梅雨入りで、11日（日）は朝から雨。12回目の「身近な川の一斉調査」ということで、「空堀川に清流を取り戻す会」代表の小林さんの指導を頂いて、地元の川の調査に参加することになりました。朝、9時30分の集合に20人（1年生4人、3年生16人）が集まり、「調査項目」、「方法」の実際を聞き、調査項目ごとに分担し、『ふれあい橋』から下流へ『御成橋』、『野行前橋』、『大沼田橋・いこいの水辺』（清瀬市との境）まで、約3km4ポイントの水質などの調査をした。項目は、気温、水温、pH、COD、NO₂（亜硝酸）、NO₄（アンモニア）、界面活性剤、透視度と、水の状態を知るいくつかを調べました。

この日の「空堀川」は雨のおかげで、水量も多めで、汚れも多少改善されていたが、雨が（雨水）入らなければ、全くの汚れたドブ川状態。でも、「カルガモ親子」や「鶴」、「ツバメ」などが、身を寄せ合い、飛び交っていた。

12時30分の解散まで、雨の中、ご苦労さまでした。これからも、身近な地域の歴史、文化、自然にも目を向けていきましょう。（佐々先生談）



がたろう豆辞典 (5)

宮下博文

—こ—

公園：一般に公園は二種類ある。その一つは都市公園であり、もう一つは国立公園などを含む自然公園である。都市公園は一般に公園と呼ばれており、土地の所有権、地上支配権を地方公共団体が所有し、公園として設置するものである。自然公園は、一般に国立公園などと呼ばれており、土地の所有権、地上支配権などを所有しなくても、地域地区制によって公園としての区域を定め、自然保護、レクリエーション利用などの土地利用を図っていくものである。なお、アメリカなどの国立公園の土地はすべて国家が所有している。

公共緑地：緑地のうち、その土地の所有権あるいはその土地の地上支配権が国または公共団体所有になるものをいう。一般的には、公園、墓地、河川・海浜などの自然公共空地、社寺境内の一部などをいう。

洪水（こうずい）：洪水は流域に降った雨が河道に流出し、河川の水位および流量が急激に増大する現象である。社会通念では河道から溢れること、即ち氾濫を洪水と呼ぶが、専門的には氾濫を伴わなくても洪水と呼ぶ。

洪水の流出計算法：洪水の流出計算法とは、ある流域に降雨があった時に、どんな洪水が現れるかを計算により求めることで、これには多くの計算法が発表されているが、大別すると、①洪水の頂点流量の値のみを計算する方法。②洪水の任意時刻における流量、すなわち洪水の流量曲線そのものを計算する方法とに分けられる。

洪水調節ダム：河川における洪水調節ダムには自然調節式ダムと人工調節式ダムの二種類があり、自然調節式ダムは堤体に穴（放流穴）が開けてあり、貯水池に流入した洪水はその流量が少ない間は放流穴から下流に放流され、貯水池には溜まらないが、流量がだんだん増して放流穴の放流能力より大きくなるとその差が貯水池に溜まり、自然に調節される。人工式ダムは水位調整用ゲートにより洪水を人為的に調整するもので、わが国の洪水調整ダムの大部分はこの方式に属している。空堀川では上記のダムと異なり、洪水によって水位が上がると堤を超えて調節池に流れ込み、洪水が治まると速やかにポンプによって排水される。

天然ミネラルウォーター「仙人秘水」を宅配します。

最近、飲料水に多くの人が何らかの対策を取っています。浄水器をつけたり、市販のミネラルウォーターを買っています。実際に水道原水の汚染はかなり進んでいて、水道水をそのまま飲むことに勇気があるようになってきています。水道法に基づく水質基準は強化され、有機塩素化合物にかかる 26 項目の監視項目も新たに追加されました。水はいつの間にかガソリンよりも高い時代になってしまいました。

会員の健康保持のため、また環境問題としての水循環を身をもって感じていただくためにミネラルウォーターを販売することに致しました。そこで、「安心」して飲める水を皆さまにお勧めいたします。

この「水」は岩手県釜石鉱山の地下 600m の湧き水を、そのままビン詰めにした数少ない正真正銘のナチュラル・ミネラルウォーターです。

高いのが難点です。それでも お勧めする理由。

1. 会員の中に釜石鉱山で開発から販売まで携わった人がいること。
2. 過去二回、市民文化祭でアンケートの景品として扱い、多数の人から好評を受けたこと。
3. 雑菌がなく長期保存が出来ること。東京都の災害備蓄用水に指定されたこと。
4. pH が血液と同じ弱アルカリ性 8.5 であること。水の分子集団が小さくまろやかな軟水であること。
5. 加熱殺菌やブレンドしていない、本物の天然水であること。
6. 生け花が水道水や他のミネラルウォーターより一週間以上長持ちする不思議な魅力があること。

販売方法および価格

1リットル詰め 12本入り。1ケース単位。 2,800円(市販3,000円) 送料含む。
住所・氏名・数量を書いて FAX か Eメール、または注文書を下記宛て郵送して下さい。

東村山市美住町 1-13-14 小林寛治 TEL/FAX 042-391-4003

Eメール: kankan5@mb.infoweb.ne.jp

代金支払方法: 郵便振替 No.00130-3-729803 口座名:「がたろう」

または、東京三菱銀行久米川支店 普通預金 No.0730813

口座名:「空堀川に清流を取り戻す会」

商品のお届け

宅配便で数日中にお届けします。

「空堀川に清流を取り戻す会」に入会して

加藤 敏子 (秋津町)

この間の3月末日をもって長いことフルタイムで勤めていました仕事を辞めることに決心してからしばらくは、後片付けなど忙しい毎日でした。ようやく3月に入っている休日から、さて、4月から主婦業の他に、今までと違う生活の張りになるものはないかと、真剣に新聞・ちらし・公報等に目を通しました。

そんなある日、市報で「空堀川クリーンアップ 作戦」ボランティア募集を知り、小林様にお電話しました。

「初めての参加なのですが…」という私の心配する声に

「当日は、すぐわかるようなのほりも立てています。お待ちしております。」というお返事にホッとして、当日を楽しみに待ちました。

さて当日、長靴と軍手をリュックに入れ、自宅から約25分程歩いて、集合場所に着きました。そこで、前から存じ上げていました正路様にお会いし、ビックリするやら嬉しいやらで、説明の後一緒に組んで楽しく作業をすることができました。そして、秋の又の参加もお約束して帰宅いたしました。又、これを機会に、賛助会員として申し込むことにいたしました。

実は、勤め始めた職場が、秋津駅下車で野塩橋を渡った近くでしたので、空堀川とはもう30年以上も前に出あったのです。

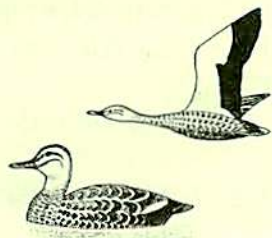
今の新しい大きな橋の前は、小さく短い橋で、大雨が降る度、あふれることが心配の川でした。壊れた自転車が捨ててあったり、様々のゴミが投げられていて、正にドブ川そのものでした。(もっと前は泳げる程きれいだったそうですが……)

でも、この頃、釣りをする人がいて、橋の上から見下ろすと、大きなコイが何匹もいたり、カモやコサギ、セキレイなども見られたり、川らしくなってきたのかなと思います。

でもやっぱり、臭いにおいがすることもあり、今回の掃除を通して、釣り人の残したゴミ、散歩の人や犬の投げたゴミの多いのに驚き、憩いの場、遊びの場としての川原になるには、まだのようです。

これからも、この川と関わりを持ち、掃除などに参加を続けて、早く、

「きれいな川の近くに住んでいるのよ。」と、遠くの友に知らせたいと思っています。



カルガモ 鴨 留鳥
全身地味な色ですが、くちばしの先の黄色い点と赤い足、羽の青がチャームポイントです。東京で繁殖しているカモです。

空堀川整備事業が全国表彰

「21世紀人と建設技術」賞受賞事業として「一級河川空堀川整備事業」(実施機関・東京都北多摩北部建設事務所、賛助会員・鹿島建設(株)東京支店)が受賞しました。

この賞は、国・都道府県・公団・公庫等で構成する全国建設技術協会において各都道府県の審査を経た中から選ばれたものです。港湾・空港・建設・街づくり・公団整備・下水道整備等、あらゆる建設事業の中から選ばれたものであり、北多摩北部建設事務所の話によれば、河川整備の技術と共に、行政と地域町会・商店会自治会・環境団体の参加によるいわゆる「パートナーシップ」で行われた「空堀川通水まつり」が高く評価されたものと聞いております。

誰も知らないワースト2の川が、ようやく「ジャ」な河川になってきました。

会の活動パネルが都庁に展示!

7月の河川愛護月間に関連し、河川に関して環境賞を受賞した団体・個人の日頃の活動状況のパネルが都庁に展示されます。都庁にお出かけの折にはぜひ立ち寄ってご覧ください。

7～14日 第二庁舎1F

15～21日 第一庁舎展望台

「霞川」のフィールドワークに参加して

6月25日、青梅市内に源流を持つ一級河川霞川の「川づくりワークショップ」に青梅の水とごみを考える会・市川幸平氏に誘われ、地元の渡邊さんと共に参加してきました。

霞川は青梅市内を5.5km流れ、隣の埼玉県に入り、入間川に合流する15.8km、空堀川とほぼ同じ長さの川です。現在、東京都区間では霞川調整池を造って、50mm/hに対応する工事が行われています。これは、この調整池の直ぐ上から河道を16mに拡幅し、両側に4mの管理用道路をつける工事になるようです。当日は西多摩建設事務所鹿又課長の説明があり、参加者との質疑応答もありました。

参加して感じたことは、空堀川と同じ都市計画決定によるものですが、現在の蛇行した河道に沿って拡幅する工事であり、多くの人から意見を聞いて良い川を造っていこうという前向きな姿勢が好感を持ちました。



◆これまでの経過◆

(2000. 6~7/10)

- ◎ 6月2日 環境問題を考える会(都庁5Fホール) 小林、渡邊、齋藤参加。
- ◎ 6月8日 東村山第三中学校、水質調査の説明。科学部の生徒多数参加。
- 水と緑の市民懇談会(市・西庁舎)
- ◎ 6月9日 柳瀬川川づくり市民懇談会(野塩市民センター)
- ◎ 6月10日 空堀川に清流を取り戻す会総会。出席者 17、委任状 44、計 61名の承認を得て総会を終了。
- ◎ 6月11日 水の一斉調査。三中の生徒と共に市内4カ所を調査する。
- ◎ 6月12日 東大和市内の水を採取してポリカリンで分析する。
- ◎ 6月25日 霞川のワークショップに参加、小林、渡邊。
- ◎ 6月27日 東京都生活文化局に事業報告書を提出。河川部・環境局を訪問。
- ◎ 6月30日 北・北建事務所訪問、七夕飾りの件について。田中、小林。
- ◎ 7月3日 百合の木ひろばに美住幼稚園園児が七夕笹飾りを5本飾る。
- ◎ 7月5日 北・北建事務所訪問。横断幕の件について。田中、小林。
- ◎ 7月6日 野口橋ひろばに多摩みどり幼稚園園児が七夕の笹飾りを飾る。

お断り

前号でお知らせ致しました、森永乳業の広告掲載は諸般の事情で取り止めしました。ご了承下さい。がたろう通信の発行は続けます。

会員募集中

会員を募っています。自然環境の整備と豊かな地域づくりに関心のある方の参加を歓迎します。

会の目的

私たちの目的(定款に定めたもの)は、①環境の保全を目的とする活動。②街づくりの推進に関する活動。③子供の健全教育に関する活動。④社会教育の推進。この四つを目標としています。

NPO 法人ですので将来ボランティア活動を通して雇用の場を創り出していきたいと考えています。会の活動を推進するために組織づくりから参加して、協力頂ける人を求めています。また、会を支援して下さいる人も求めています。

会費

個人会員(賛助会員とも)

入会金(会員のみ) 2,000円

年会費 2,000円

法人・団体会員(賛助会員とも)

入会金 10,000円

年会費 10,000円

申込み先

東村山市美住町 1-13-14 小林まで

TEL/FAX: 042-391-4003

会費振込み先

郵便振替 口座名: がたろう

口座番号 No. 00130-3-729803

からぼり川

がたろう通信

第 23 号

2000年9月20日発行

特定非営利活動法人 空堀川に清流を取り戻す会

ホームページ <http://village.infoweb.ne.jp/~fwnf5802/index.htm>

E-mail kankan5@nb.infoweb.ne.jp

発行責任者：小林寛治 TEL/FAX 042-391-4003 (東村山市美住町 1-13-14)



水辺の自然体験学習「からぼり広場」で！

平成 14 年度の完全週休 5 日制に向けて実施される「総合学習」の支援を東村山市立富士見小学校より要請され、9 月 13、14 日の両日空堀川「からぼり広場」で実施し無事終了しました。

四年生約 70 名が、「水の汚れを調べる」グループと、「水生生物を調べる」グループに分かれて楽しい半日をすごしました。

場所の選定には、北・北建東村山・清瀬工区、都営住宅建設に携わっている清水・平和 JV の協力が得られ、東京都環境局自然保護部水辺担当課、環境学習リーダー 6、7 期生の方々にお世話になりました。

ある城下町にて

正路 妙子

ある城下町の中を三か月ぶりで歩いてみました。冬になるとこのこの町を取り囲む峻険な山々の頂は雪で覆われ、冷たい風を吹きおろしますが、八月の上旬の町は、木陰をつくる街路樹もなく、焼け付くような真夏の太陽をあびていました。

古代から交通の要所として栄え、奈良時代末には国府が置かれ、16世紀からは城下町として発達してきたこの町は、今また何度目かの大きな変貌を遂げつつあります。郊外に大量に安い商品を販売する巨大なショッピングセンターができて以来、市内の個人経営の商店は次から次へと閉店に追い込まれました。それに対して、町の人々が選択した道は、城下町の中の道路を広げることによって自動車を利用する客を呼び込むことでした。道路をつくるために、僅かに残っていた江戸・明治の町屋や土蔵、まだそれほど時を経ていない建物などが、解体されてはコンクリートの塊に置き換えられていきます。

中小都市の地域経済を破壊してしまう経済のグローバル化の波。それと呼応する、壊しては建てる作業の繰り返し。天守をもつ城や、市内各所にある土蔵造りの建物のいくつかは保存され、今も使われていますが、街造り全体を眺める視点は住民にも自治体にもなく、経済政策の移り変わりと共に街自体はただ変貌していきます。ヨーロッパの国々では、何百年も前に建てられた建物が時代の要求に応じて内部は改造され、オフィスやレストランあるいは公共の施設へと使用目的を変えていきますが、外観は変わりません。場所によっては民家の窓やテラスにまで法的な規制が及んでいます。いわば都市の永続性が保障されています。しかし、わが国には個々の建物と周辺の風景との調和や美しさを考えるという発想がそもそも初めから存在していなかったに違いありません。守るべき景観など最初から無かったといってもよいでしょう。そして現在、経済合理主義を追求することが、競争に耐えられない地域の経済の破壊につながり、過密と過疎、スクラップ・アンド・ビルドを引き起こしていきます。我々を取り巻く環境問題を直視し、本当に豊かな生活は何かを考えてみれば、我々も今や100年後、200年後の姿を描きながら、「変貌しない街造り」を始めなくてはならないことは明らかです。

.....

この城下町のお城に至る街路に植えられているシナノキは、ベルリンの目抜き通り、ウンター・デン・リンデンの街路樹リンデンバオム（ヨーロッパシナノキ）の近縁種です。せめてこの樹木が、変転極まりないこの町でも、いつの日かあのような見事な木陰をつくり、真夏に人々の憩いの場所となることができるようにと私は祈り続けています。

私の主張

雨水利用と公共事業の質の転換

友保 邦弘

もし 21 世紀に戦争が勃発するとすれば、その原因の一つは『水争い』であると言われていました。現状のまま放置しておけば、水不足の国と、水を浪費している国との対立が決定的になるのはそんなに先のことではないのです。

我が国の水循環政策の根本的な欠陥は、次の三つであることは今や常識になっています。その一つは、大規模ダムで川を分断し、汚した水を加工して飲み水にしている上水道です。二つ目は、使った水を下水道管で集め、中途半端に処理した汚水を川に垂れ流している流域下水道です。三つ目は、降った雨を集めて一気に川に流し、都市型水害発生の原因になっている雨水処理システムです。

第一、第二の問題については、三つ目のテーマをクリアすれば、それらの一部は解決できるので、ここでは三つ目の雨水利用について考えてみたいと思います。

東京都の場合、成人一日当たりの水使用量は約 360 リットルで、内訳は炊事・飲用・洗面に約 26%、あとの 74%は風呂・トイレ・洗濯・洗車・散水などに使用されています。年間 130 トン以上、4 トンの給水車 33 台分を一人で使っている勘定です。ベルリン並みの 230 リットルに節減し、さらに 74%を雨水で補えば、控え目に計算しても一日当たり 200 リットルで充分です。雨水併用タンクと散水用タンクおよび浸透マスを組み合わせることによって実に 45%節水できるのです。現在建設中や計画中のダムや堰はすべて不要です。土砂で埋まったダムは撤去すべきです。

昨今の報道ではごく一握りの建設族議員が公共事業の見直しを唱えています。10 兆円近い予算を削ることなど全く考えていません。あらゆるツケを次の世代に押し付けてはばからない連中を排除して、真に日本の将来を考える有能な行政集団にバトンタッチしなければなりません。いまこそ公共事業の質を変える時です。ダム・堰・空港・港・高速道路・新幹線・原発・流域下水道・埋め立て等にしがみついている時代ではないのです。方向転換しなければなりません。多自然型河川の回復。ダムや堰の撤去により天然鮎遡上の復活。渚と砂浜の回復、漁礁の整備。既設線路とかトンネルの補強整備。小落差水力ミニ発電・風力発電、燃料電池など多様なエネルギーの開拓。上水道併用式の雨水貯留槽の普及。高性能合併浄化槽の普及と地域分散式小規模下水処理場の建設。杉・ひのきなどの単純植生を自然林へ。老朽大学や研究機関の建替え等々数え上げればキリがありません。やれること、やらねばならないこと、公的資金の使い道はいくらでもあるのです。市民団体やマスコミがリードして、あらゆる機会に粘り強く主張・要求・監視を徹底したいものです。

がたろう豆辞典(6)

宮下博文

— こ —

洪水の流出率：ある流域に洪水を起こした降雨の面積雨量と直接流出量の比を一般に洪水の流出率あるいは直接流出率と呼ぶ。洪水の流出率は常に一定でなく、一例をあげるならば、同一の流域の場合、降雨量の多いほど、降雨強度が大きいほど、流域が湿っていればいるほど大きな値となる。洪水の流出率は、該当降雨による洪水の流量曲線を直接流出と基底流出に分離し、直接流出高（直接流出量を流域面積で割って雨量の単位と同じにした値）を算定し、平均面積雨量で割れば与えられる。

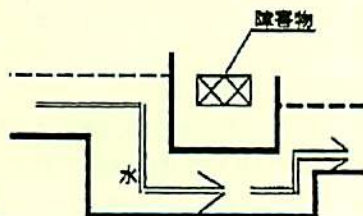
$$\text{洪水の流出率} = \frac{\text{直接流出高 (mm)}}{\text{平均面積雨量 (mm)}} \times 100 (\%)$$

高水流量観測：洪水時に行う流量観測を高水流量観測と呼び、流量の測定には主として浮子が用いられる。

護岸：河岸または堤防を保護して流れによる洗掘を防止するために、その法面に施工する保護工を護岸という。護岸はその施工位置から低水路岸の法面に施工される低水護岸、堤防の法面に施工される高水護岸または堤防護岸、高水敷を保護するための高水敷護岸に分類される。

— さ —

サイフォン：管内の水は、両端の圧力差によって流れる構造（水頭差で流れる水路）で図のように水路に対し障害物（鉄道等重要構造物）があり、これらを越えられる水路。



さっきよ：組立て柵により兩岸の土留めをした小さな水路。

砂防ダム：土砂の流失の激しい河川において、土砂が下流に流れるのを防止するために設けられるダム。

栈橋：脚体に桁を渡し床版を張る構造のけい船岸でその形式は突出ふ頭全面を栈橋構造とする突出栈橋。陸地に渡す横栈橋（片栈橋）、島ふ頭の全体をなす島栈橋等がある。

工事等で作られる栈橋にH鋼材を脚体に、桁もH鋼材で骨組みを作り、メトロデッキ（地下鉄工事等で土砂を取り除いた道路に置き換えた既成の版。）等で床版を張る。

富士見小学校の「総合学習」を支援して

福島 淑行

東村山市立富士見小学校より、当会に対して「総合学習」のテーマの一つとして、「空堀川の水生物」及び「水質調査」の体験学習について協力の要請が夏休みを前にした七月にあった。

四年生 103 名のうち約 70 名が空堀川の調査を希望しているとのことで、これだけの人数になると我々の態勢も十分に整える必要があり、会員に協力を要請した結果、平日にもかかわらず多数の方の協力を得ることができた。雨のため 2 日間順延という最悪の状態になったにもかかわらず 9 月 13 日、14 日の 2 日間で、全員の水辺の体験学習をすませることができた。その前、9 月 6、7、8 日の 3 日間にわたって学校側の要請で各組 1 時間のガイダンスを行った。

体験学習は 2 日間に分けて行い、児童は 9 時 30 分頃にフィールドに指定した「からぼり広場」に到着し、会を代表して小林会長から簡単な説明を受けた後、一斉に川に入り、早速魚を捕まえて歓声をあげていた。幸か不幸か 2 日間の雨により川の水は非常にきれいで、藻類も全く無かったため安心して子供たちを川に入れることができた。

水生物の調査では、子供たちがゲットした成果は大きく、空堀川ではあまり見られなかったイトトンボのヤゴや、フナ、ドジョウ、モツゴ、ヒメダカ、グッピーやヨコエビ、アメリカザリガニなど想像以上の収穫に大喜びであった。

30 分で生物の採集を終えて、それぞれ取った生物の鑑定に入り、環境局からもらった魚・水生物の下敷きを参考に当会会員より説明をうけた。水質調査のグループは川の水について色・臭いなど五感で感じることに加え、科学的調査の実習に pH や COD、電気伝導度・透視度計を使った実習を行った。

最後のアトラクションとして会員の友保氏が投網を打ち、網に沢山の魚が入ったのを見ると大歓声が上がった。

帰校する児童たちの声は「楽しかった」の一言に尽きた。自分の家の近くにこんな川があり、川に入ったのも初めての児童が殆どだったと思う。

川の素晴らしさに気づいてくれた、と願いながら手を振ってサヨナラした。



体験学習「からぼり広場」で（13日、14日）



子どもたちへの挨拶と説明（代表・小林）
川は皆のもの、自由に遊ぶことが出来る所。
危険はあるが、自分の責任で！



川虫さがし
からだの不自由な子も参加して



魚取り。いろいろな網を持って



川虫さがし
石の裏を歯ブラシでこする。



水の汚れをしらべる
調べ方の説明を聞く



電気伝導度をしらべる



採取した生物を下敷きと照らし
合わせて、どんな種類か調べる。



観察した結果を記録する子供たち



投網の仕組みの説明を熱心に聞く
子供たち (アトラクション)



投網を打って魚を捕ってみせる
(アトラクション)



(13日)



(14日)

参加した四年生の記念写真

自然体験学習を支援して感じたこと

今回「総合学習」の一環として富士見小学校の自然体験学習を支援しました。その結果幾つかの反省点がありました。

学校とのコミュニケーション

- ①学校の明確な意思（目的、手法）が、私たちに伝わってこなかった。
- ②手網（タ）など用具の準備もこちらからの当初の要望と違うものであった。
魚を入れる容器は、ペットボトルでなくバケツのような大きいものの方が良かった。
- ③出来るだけ子供の自主性を尊重するための教え方をとを考えていたが、結局川遊びの要素の強いものになった。結果的にはこれで良かった、のか…？

環境要因としては、

- ①前日の大雨で水はキレイになったが、川底の石までもキレイになってしまい、底生生物を見つけるのが大変だった。
- ②初日の13日、突然のドロ水の放水による増水で「水質調査」のグループ・「底生生物」を調べていたグループの子供たちは戸惑い、危険も感じた。河川管理者には知らせてあったのに、今後は注意して欲しいものである。

支援要請を受ける側として、

- ①事前の準備 支援する側として一定の知識の共有が必要となるため、「水の汚れをしらべてみよう」—だれでも出来る簡単なぶんせき方法—（A5判12ページ）、「川の生物をしらべてみよう」—生物でわかる川のごとれ—（A5判、8ページ）を作成し三度講習をした。場所の下見も行い数箇所の中から選定した。
- ②平日に大勢の子供たちを相手にすることは、支援する側としても多数の人の動員を必要とし、特に現役で働いている人の犠牲は大きいものがあった。
- ③一日だけでなく、数日に亘り組織として協力する学習支援は、会としての活動もあり、年間多くて2回程度かな、と思った。
- ③組織としての準備・まとめ等に経費が掛り、体力の無い会にとっては、まったくの奉仕は犠牲が大きいと感じた。

その他

校長先生が川に入って積極的に子どもたちを指導していた姿を見て、子どもたちも一層親しみを持ったことと思った。

今後、多くの人に関わるであろう「総合的な学習」を支援して、今回私たちが行ったこと、感じたことの一部を公開して今後の参考になればと考えた。（小林 記）

ナチュラル ミネラル ウォーターについて

前号でナチュラル ミネラル ウォーター「仙人秘水」の販売をお知らせいたしました。お蔭様で購入していただく方が少しずつ増えております。そこで ナチュラルミネラル ウォーターとはどんな水をいうのか調べてみました。

ナチュラル ミネラル ウォーター……とは多く人が「何も手を加えていない、地下から汲み上げた、ミネラル豊富な生水」と思うでしょうが、日本ではこのような水を販売することは赦されていません。日本の基準では、品名表示に四つの区分(ナチュラルウォーター、ナチュラルミネラルウォーター、ミネラルウォーター、ボトルドウォーター)があります。原料は鉱水、鉱泉水などです。処理方法は濾過、沈殿、加熱殺菌したものです。ヨーロッパでは、殺菌の禁止、添加物の禁止、ミネラル分の基準値も設定され文字とおりに「無殺菌の生水」のことで、天然水には体にいい菌も含まれていて、無殺菌の生きた水が体に力を与えてくれる。と考えているのです。日本では多くの方がミネラルウォーターを水道水代わりに飲んでいる、といわれています。「一番安いのを選んで買っている」という人が圧倒的だそうです。紹介した「仙人秘水」は生の成分を壊さないように濾過し、その場でびん詰めた製品です。(来年は仙人峠の地下工場の見学を予定しています。)

硬度の計算式…… $(\text{カルシウムイオン量} \times 2.5) + (\text{マグネシウムイオン量} \times 4)$ で表わします。したがって仙人秘水の硬度は、 $(\text{カルシウムイオン} 10 \times 2.5) + (\text{マグネシウムイオン} 1 \times 4)$ で29となり、仙人秘水の硬度は29となるわけです。各種のミネラルウォーターのラベルを見て計算してみましょう。

国内産ミネラルウォーター……硬度0に近い「蔵王の命水」(硬度 0.255) から、例外に近い「名水めぐり霧島の水」(硬度 185.0) のようなものがありますがほとんどが軟水か硬度150までの軽度の硬水に属しています。

外国産ミネラルウォーター……ルソ(硬度 8.4)、オルデン(硬度 14.0)、ボルグイック(硬度 50)等は珍しく、殆どは硬度150以上の硬水に属しています。バルグェール(硬度 177)、エビアン(硬度 297.5)、ヴィッテル(硬度 307.1)ペリエ(硬度 364.5)等、おなじみのものはすべて硬水なのです。

「仙人秘水」の申込みは…小林まで FAX またはメールでお願いします。

FAX : 042-391-4003 E-mail : kankan5@nb.infoweb.ne.jp です。

1ケース(1リットル12本入り) 2,800円(市販3,000円、宅配料・消費税込)

代金支払方法 : 郵便振替 No. 00130-3-729803 口座名 : 「がたろう」

または、東京三菱銀行久米川支店 普通預金 No. 0730813

口座名 : 「空堀川に清流を取り戻す会」

インフォメーション

ワンドが出来ます

空堀川・浄水橋上流約 100m 付近に魚の生息環境を整えるために、東京都北多摩北部建設事務所が、ここの水衝部に自然石（1t ほどの大石数個）を配置し、水の流れによって自然にワンド（ある程度の広さと、深さのある生息環境）を創り出そうという空堀川では初めての試みです。

工事は9月の台風シーズンを経た時点から取り掛かり今年度中に完成します。これによって多くの魚が救われます。

空堀川の草刈り

今年も空堀川河川敷の草刈りが始まります。空堀川の草刈りは年1回になっています。効率よく刈るため8月一杯伸ばして9月に入ってから刈るのだそうです。下流柳瀬川の合流点から秋津南橋までの区間は清瀬市の清香園という業者、秋津南橋から上流は立川市の立川造園が担当するそうです。

私たちは今回も水際の洗掘の防止と生息生物保護のため水際の大切なことを訴え 50 cm～1 m 位の刈り残しを申し入れました。昨年は徹底を欠いた所がありましたが、今年は徹底されることと思います。

**草刈り方法に新たな提案
を求められています**

東京都では、経費削減の一環として、河川敷での草刈りについても支出の1割削減ということになったそうです。そこで私たちの申し入れも兼ね合わせ、この度、工区から草刈りの方法についての新たな提案を求められています。

今までの河川敷での草刈りは一律で、根こそぎ刈り取ってしまう方法でした。残したい地域固有の草木や、保護すべき水際も全く無視した効率一辺倒のものでした。ですから毎年々々河原の状況に変化が無く生態系にとっても好ましいものではありませんでした。

手間を省き効率を求める業者の草刈りに、保全すべき場所、刈り取る場所と丁寧な作業はむしろ費用がかさむことになり望ましい川づくりと、経費削減の方向とは逆行しそうです。これからの望ましい河川環境の整備についてはNPOも加えて共に考え実行していくべきではないでしょうか。

来年度に向けて、皆さまから特色のある提案をお待ちします。

ご連絡は小林まで、FAX:042-391-4003

Email : kankan5@mb.infoweb.ne.jp

空堀川の水涸れ、昨年より

2か月早く現れる

空堀川の水涸れ、昨年は10月10日、東村山市内の栗木橋から清瀬市内前原橋の間で完全に干上がりました。今年は、2か月も早く8月末には水涸れの状態になりました。9月に入っても雨

が降らない限り解消されていません。そして今後も繰り返されることでしよう。とりあえずの対策として、底が抜けないように固めた溜りをつくり、水生生物を保護すべきだと思います。水の漏れている区域は分かっています。低水路は1mもあれば十分なのです。まず浸透防止対策を講じ、次いで根本的な対策を取って欲しいです。先ず出来ることから取り掛かってもらいたいものです。巨額の費用を投入して出来上がった川が水の無い川では21世紀の都市河川としてはあまりにも淋しいものです。

空堀川クリーンアップを

11月12日に実施予定!

第8回空堀川クリーンアップを11月12日(日)に行います。多くの方々のご参加ご協力を期待しています。お知り合いの方や近所の方をお誘いの上ご参加下さい。

10月定例会日時変更のお知らせ

定例会は毎月第二土曜日午前中、東村山中央公民館で行っていますが、10月の定例会は会場の予約が出来なかったため第一土曜日に変更しました。市民文化祭に参加の件、クリーンアップなどについて話し合いたいと思っています。

10月7日：10時から12時まで
東村山中央公民館：第二集会室

空堀川のタヌキ騒動

黒目川のタヌキ親子の記事は新聞の話題になっていましたが、空堀川でも7月の同じ頃タヌキが出没していました。初めはアライグマか犬ではないの? どうしてコンクリートの護岸を昇り降りできるの? と疑っていました。ネコが自由に登り降りしているのだからタヌキだってできるはず。…どうも本当らしいのです。複数の人が見て間違いない、と言っています。継続して見ていてください。見つけたらお知らせ下さい。場所は御成橋から下堀橋付近で、青葉町の人たちも多く見ているようです。

空堀川をトンボの楽園に!

8月中旬に柳瀬川の合流点、くるまや橋下、三郷橋、大沼田「いこいの水辺」、第二天皇橋落差工下、浄水橋下の水質と水生生物を調べました。

トンボのヤゴが沢山いたのには驚きました。新しい発見はイトトンボのヤゴもいたことでした。

空堀川のように何も無い、広い河川空間はトンボの好む場所です。葦やガマなどの抽水植物があればギンヤンマが産卵でき、飛び交う川になるのです。今、ギンヤンマが偵察にきてます。

訂正とおわび

前号で人間の血液のpHは8.5と書きましたが間違いでした。人間の血液や体液のpHは7.4です。訂正致します。

◆これまでの経過◆

(2000. 7～9/15)

- ◎ 7月26日 柳瀬川流域水循環市民懇談会、所沢市民文化センター。
- ◎ 8月12日 午前中定例会・東村山中央公民館。午後理事会
- ◎ 8月26, 27日 パソコン教室、職業能力開発総合大学校。参加者10名。
- ◎ 8月29日 水辺の体験学習場所の下見。下堀橋・浄水橋を下見する。
- ◎ 8月30日 緑の基本計画推進委員会。市・西庁舎。
- ◎ 8月31日 東村山市立富士見小学校竹村校長と面談、今回の学習についての基本的な考え方を聞く。会からの出席者、小林、田中、福島、渡邊、友保。学校側、校長、教頭、窓口担当教諭。
午後6時30分より空堀川川まつり実行委員会の暑気払い。東京都北多摩北部建設事務所から新任の新井所長出席。東村山市は収入役・建設部長他出席。
- ◎ 9月6、7、8日 富士見小学校で体験学習のためのガイダンスを行う。福島、田中、友保の三名が行う。
- ◎ 9月13、14日 体験学習を「からぼり広場」周辺で行う。

ご寄付を有難うございました。国分寺に住む会員の内野吉之助様より8月15日の86歳の誕生日を記念して活動資金の一部にと金五万円のご寄付をいただきました。心から感謝し、清流復活のために有効に使わせていただきます。

会員募集中

会員を募っています。自然環境の整備と豊かな地域づくりに関心のある方の参加を歓迎します。

会の目的

私たちの目的(定款に定めたもの)は、①環境の保全を目的とする活動。②街づくりの推進に関する活動。③子供の健全教育に関する活動。④社会教育の推進。この四つを目標としています。

NPO 法人ですので将来ボランティア活動を通して雇用の場を創り出していきたいと考えています。会の活動を推進するために組織づくりから参加して、協力頂ける人を求めています。また、会を支援して下さる方も求めています。

会費

個人会員(賛助会員とも)

入会金(会員のみのみ) 2,000円

年会費 2,000円

法人・団体会員(賛助会員とも)

入会金 10,000円

年会費 10,000円

申込み先

東村山市美住町1-13-14 小林まで

TEL/FAX: 042-391-4003

会費振込み先

郵便振替 口座名: がたろう

口座番号 No. 00130-3-729803

からぼり川

がたろう通信

第 24 号

2000 年 11 月 27 日発行

特定非営利活動法人 空堀川に清流を取り戻す会

ホームページ <http://homepage2.nifty.com/karabori/>

E-mail kankan5@mb.infoweb.ne.jp

発行責任者：小林寛治 TEL/FAX 042-391-4003 (東村山市美住町 1-13-14)



クリーンアップ大勢の参加者で盛り上がる

11月19日、晴天に恵まれたが肌寒い中、第8回のクリーンアップが上流部、下流部合わせて120名の方々の参加により、河川敷の清掃活動が行われました。2トントン2台分のゴミのほか、古自転車3台と車の部品や金属類が収集されました。燃えないゴミが殆どでした。

今回の特徴は、市民と行政（河川管理者である東京都と東村山市）、商店会、自治会、川まつり実行委員会その他企業が我々市民団体のコーディネートによって実施出来たことです。この仕組みづくりが出来た意義は大きいものと自負しています。（詳細は8ページ）

自然の中の生成と消滅

正路 妙子

火山の噴火や地震が日本の各地で相次いで起こり、住民が非難を余儀なくされています。日本列島に暮らしている以上、避け難い運命ともいえます。

過去の数世紀間で地質学上これ以上大規模な変化を受けた場所はないと言われる地域がドイツ北部、シュレスヴィヒ・ホルシュタイン州の北海沿岸にあります。満ち潮のときには海水に覆われ、引き潮になると姿を現す、砂と泥質堆積物で覆われた土地です。かつては沼沢地や泥炭地が広がり、人間の生活が営まれていました。堆積による陸地の拡大と海水による侵食が交互に繰り返され、この数世紀は破壊の方が優勢になったのでした。干潟では、長い間泥の下に埋もれていた、昔の人たちの生活を偲ぼせる遺物が姿を現すこともあります。

海の潮が運んだ泥質堆積物から成り立っている、その他の比較的新しい群島はハリゲンと呼ばれています。夏の天気の良い日には、海に浮かんだ緑の絨毯のように見えます。農場が点在し、草原では家畜たちが草を食んでいる穏やかな光景が広がっています。(ただし、羊はいざというときに溺れてしまうので、ほとんどいません。)一夏を過ごしにやってくる観光客も少なくありません。干潟は一年中、海鳥のオアシスです。しかし、ひとたび暴風による高潮が押し寄せると、草原は水没し、盛り土をした高台に築かれた農場の建物にも海水が浸入してきます。海水に陸地が侵食されるのを防ぐために、島の周囲に石で堤防が築かれるようになったのは今世紀初頭のことで、記録が残っている 1713 年以來このような処置が施されるまでに、どの島でも平均して半分、極端な場合には 8 割の土地が失われました。自然界の生成と消滅が、顕著な形で繰り返されていたのです。

1981 年 11 月の暴風津波を経験した牧師が書いています。「嵐と凍りつくような冬の中でわれわれが体験しているような自然の猛威を目の前にしていると、人間というものは無力で謙虚になるものだ……一滴の海水のように、一粒の砂のように小さな存在だ……」と。

自然の圧倒的な力を前にすると、“地球にやさしく”とか“地球を守るために”というキャッチフレーズが、傲慢で滑稽なものに思われます。現在の地球が人間の生存にふさわしい条件を備えているからこそ、私たちは生きることができているのです。人間の営みによって地球の生態系に負荷を与え続けることは、その条件を破壊し、人間自身の生活基盤を脅かすことになるでしょう。その結果、生存が危うくなるのは人間の方なのです。

荒々しい自然の姿は、私たちに反省を促しているようです。

私の主張

野口橋交差点周辺の環境改善を急げ！

小林 寛 治

東京都が 2003 年度から実施しようとしているジーゼル車の排ガス規制強化に対して業界からはいろいろな不平不満が出ています。実施を急ぐのはジーゼル車から出る排ガスに含まれる浮遊粒子状物質（ベンゾピレンやフタル酸エステル等の環境ホルモン等も含む）が肺ガンや呼吸器障害の原因物質であることが明らかになっているからです。

ご存知の方もおられると思いますが、現在、都・環境局では野口橋交差点から 200m 弱の青梅寄り、西武国分寺線架橋下の新青梅街道に、東村山自動車排気ガス測定局を設けて、無人で 24 時間観測しています。このデータから、1 時間当たりも、1 日当たりも、これ以上浴びたら健康に害が出るといわれている環境基準を超える数値が明らかになっています。それも年ごとに悪化しているのです。

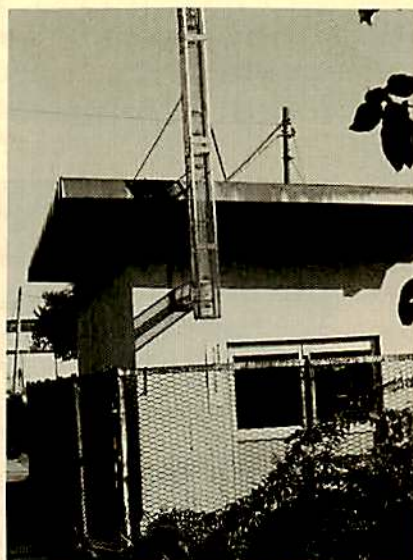
早急に対策を講じる必要があります。環境に対する認識は被害が出ないとなかなか話題になりません。今なら交差点付近にある都有地を含め、空き地や廃業したスタンドもあります。ここを総合的に緑化し、浮遊粒子状物質からの健康被害を防ぐことです。また、旧河川の半分に緑の高木を植栽し、半分に地下水を汲み上げて流れを作り、降下した粉塵等を流すことにすれば大きな改善効果が出るはずです。都の対策効果を待っているのは遅すぎます。

◎環境基準 1 日の平均 0.1 mg/m を
上回った日数

平成 9 年	31 日
平成 10 年	40 日

◎環境基準 1 時間当たり 0.2 mg/m を
上回った回数

平成 9 年	61 回
平成 10 年	107 回



東村山自動車排気ガス測定局

このように年間を通して環境基準は達成していません。（東京都環境局資料から）

空堀川の広場にツツジの苗を補植

友保 邦 弘

思いもかけずツツジの苗が手に入った。東村山市緑の祭典のイベントで市民に配付した余り苗である。何とか生かして使えないかということで浄水橋左岸の「ゆりの木広場」と「からぼり広場」を調査した。「ゆりの木広場」「からぼり広場」ともに沢山の植木が枯れていた。昨年5月の「通水まつり」前に植栽されたキリシマツツジが、植え込み時の客土不足と今夏の日照り続きで大量に枯死したものです。

	ゆりの木広場	からぼり広場	総 数
総 株 数	203本	40本	243本
枯 死 株	105本	27本	132本
補 植 数	34本	13本	47本

11月8日、枯死した株を引き抜いて入手したツツジ苗を補植しました。いかがでしょうか？ 昨年植えられた苗の半分以上が枯死しているのです。水を欲しがりながら枯れていった苗のことを思いやると、ただ単に無駄遣いでは済まされないことであって実に残念です。環境の違った場所に移植するのですから100%根付かせるのは無理かもしれませんが、半分以上枯らすとは情けないことです。一体誰が儲かるのでしょうか？ 植栽基準があるのでしょうか、もう少し客土を入れたら増しな結果が出たのでは……。



注：補植した苗木の出所 東京都労働経済局が育成委託し、市町村の希望に応じて配付したもので、東村山市が11月3日緑の祭典イベントで市民に無料で配付したものが余り、全生園で保管していたものです。

今年の河川工事を見て

空堀川の工事は、いま2か所で行われています。1か所は東村山浄水場前から馬頭橋上までの工事で、昨年度に完了した所からの続きです。もう1か所は上橋（かみはし）の架け替えによる迂回工事と上下流の護岸工事です。

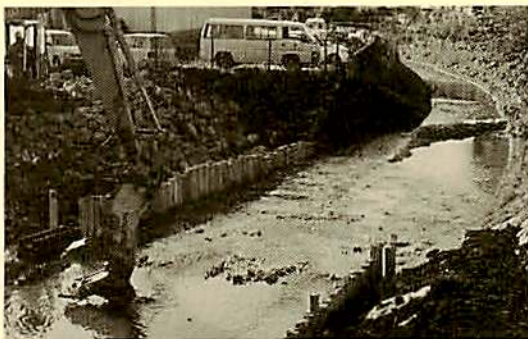
浄水場前の工事区間は297mで12月末までに完了予定とのことです。この区間の護岸は以前の続きで、美住陸橋のたもとと、馬頭橋の下流右岸に河川敷に降りられる階段が2か所できます。何故、50m足らずの間に2か所必要なのか……馬頭橋上に乱杭を打っていますが、水衝部に当たるためなのか、暫定的なものなのか分かりません。流れを蛇行させ水ぎわを保護するために打ったものであれば、空堀川では新たな試みで評価できます。計画線の端にあり撤去が前提のものでなければいいのですが …。

空堀川の河川工事は低水路が二重構造になっているようです。80mmとも65mm/Hとも言われる河床にさらに盛り土をしています。そのため洪水と共にたくさんの土砂が下流に流れ、見るに耐えない状況になっています。もう少し景観に配慮できないのでしょうか。

河川工事が終わると美住陸橋の河川寄りの土手がカワセみやセキレイの営巣地になることが予想されます。ぜひ、そのような環境の整備を望みたいものです。

空堀川には流域連絡会がありますが、今はなんら機能していません。情報の提供も、会議の開催もありません。東大和市・東村山市境に造られた遊水池と旧河道をどうするのか問題は山積しています。今こそ情報提供と説明責任が求められています。

(文責 小林寛治)



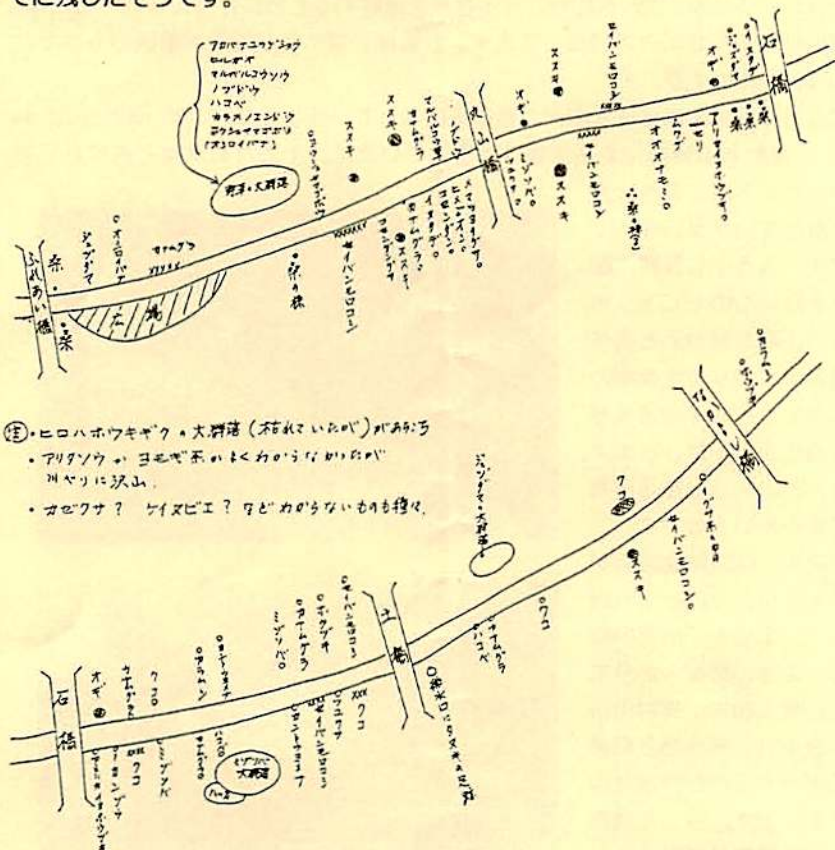
空堀川の植生調査

10月27日(金)、河川敷の草刈りが終わった川原の植物を調べました。

(下図参照)空堀川の「ふれあい橋」から「なかよし橋」までの約850mの河川敷に生育している草花と、その位置を示したものです。主な種類だけで約35種類が確認できました。

今回の調査は、河川敷の草刈りを行った際に、保存した草花の個体と群落について北・北建、東村山工区・今泉氏の指導のもとで行ったものです。

なお、第二天王橋下左岸にあるブタクサは植生保全への影響調査のため参考までに残したそうです。



今泉氏のように河川の生態系保全に積極的な第一線の管理者と協力して、空堀川を理想的な多自然型都市河川に甦らせるよう当会に対する期待と責任は大きい。

ナチュラル ミネラル ウォーターについて (3)

ミネラルとは鉱物、無機物または栄養素として生理作用に必要な微量元素のことをいいます。水の中には多くの物質が溶け込んでいます。その代表的なものが無機物と有機物、微生物であります。地表に降った雨は土に浸透したり地表をつたわって流れ、植物や生き物の腐敗物(フミン質)を溶け込ませ、微生物や水生昆虫・水草や水際の植物の働きによって、水が清浄に保たれています。一方、地中に染み込んだ水は土や岩石の間を通り、カルシウム、マグネシウム、ナトリウム、アルミニウム、リン、鉄、その他多くの元素をイオンとして取り込んでいます。そして地下水となったり、湧水となって崖や扇状地の端から流れ出ています。地中に染み込んだ水にはミネラルが多く含まれ、地層の浄化作用によって、有機物や微生物が少ないわけです。一方、川の水には地下水にない有用な物質が含まれていると思われるます。

ミネラル ウォーターにはソーダ水のように炭酸ガスが自然に溶け込んでいるものもあります。日本でも最近売られていますがヨーロッパでは発泡性天然水として利用されています。

歴史的には「マラの苦い水」があります。かつて、モーゼに率いられたイスラエルの民が三日間シナイの荒野をさまよひ、ようやくありついた水が苦くて飲めなかった。……場所は特定していませんが、地中に硫酸塩が含まれていると水が苦くなるようです。

また、岩手・龍泉洞の地底湖のような鍾乳洞の石筍から滴り落ち、気の遠くなるような時間をかけて溜まった古代水や、氷河時代の氷が溶けて宙水になっている4,5万年前の化石水と呼ばれるものもあります。

水の総硬度は次のように分類しています。(単位:mg/リットル)

軟水	50以下	中程度の軟水	50~100
軽度の硬水	100~150	中程度の硬水	150~250
硬水	250~350	非常に硬度の硬水	350以上

「仙人秘水」の申し込みは…小林まで FAX またはメールをお願いします。

FAX : 042-391-4003 Email : kankan5@mb.infoweb.ne.jp です。

1 ケース (1リットル 12本入り) 2,800 円 (宅配料・消費税込み、市販 3,000 円)

代金支払方法 : 郵便振替 No. 00130-3-729803 口座名 : 「がたろう」

または、東京三菱銀行久米川支店 普通預金 No. 0730813

口座名 : 「空堀川に清流を取り戻す会」

第8回空堀川クリーンアップを終わって

11月19日(日)、心配していた天気にも恵まれ、恒例のクリーンアップは、からぼり広場に22名、下堀橋のおまつり広場には100名近い人が集まり、和やかな雰囲気の中に無事終了することが出来ました。

ご協力いただきました皆さまに心から感謝いたします。

今回は特に「子供たちや市民と共に」というテーマを設け、東村山市内の小・中学生に参加を呼びかけました。中学校は試験中、小学校は学芸会等それぞれの予定があり、期待した結果は得られませんでした。また、多くの人が魚釣りをしている区間はその人たちの手で清掃してくれるように働きかけました。結果は3名の方の協力があり当初の成果は上がりました。

今回特記すべきことは、行政が初めの段階から参加し、事前に「打ち合わせ会議」を持ったこと、それも東京都、北・北建の工事・維持・管理の各係長が出席され、東村山市からは建設部・次長、道路課長、環境部からは管理課長と各セクションの責任者の方々でした。川まつり実行委員会からは会長、実行委員長、副委員長という顔ぶれで実質的な打ち合わせが出来たことであります。

クリーンアップも8回目にしてようやく私たちの理想としていた、市民と行政、商店会、自治会、川まつり実行委員会、企業、釣り人等と一緒に自分たちの河川を自らの手でキレイにして行く、という仕組みが出来ました。



インフォメーション

空堀川の草刈り、その後

皆さんお気づきと思いますがこの度、空堀川河川敷の草刈り方法が変わっています。主な変更は次の通りです。

①**群落で残す** 今年はミヅツバ、ジュズ、ミチクサ、クコ、チョウセンカサオ、村ヅキ、ススキ、ヤブコボリ、ユウゲショウ、ハッカ、ヤギクサなどの群落は残しました。

②**水ぎわの保全** 水ぎわ 3mを残すように要請しましたが、すでに業者と契約済とのことで要望は入れられませんでした。けれど今回は水ぎわ 50 cm前後を残し、また法面（傾斜した部分）保護のためや、水深のある所は魚に配慮して幅 1~1.5m、長さ 5~10m残して刈られました。確かな前進です。河川管理者には敬意を表します。

河川敷に生えている草の始末には多様な意見があります。空堀川は一度完全に環境が破壊されてしまった川なのです。人の手で造られた川なのです。河川敷の植生を含めて多自然型の良い川に行きたいと思っています。そのためにも ご意見をお寄せ下さい。

空堀川の水が更に減っています

7月から東大和市工業団地のK工場の移転に伴い、工場排水がなくなり空堀川の平常維持水が少なくなりました。更に時期を同じくして、東村山市本町都営旧住宅の撤去が進み 500 戸の排水

がなくなり、両方合わせて 1000 トン/日以上の水が少なくなっています。

空堀川のタヌキ、その後

何と大岱小学校の生徒が見事タヌキをカメラで捉えていました。夜でフラッシュが届かなかったためか、良く分かりませんが、タヌキに間違いありません。発表会で本人が説明している写真です。大岱小学校、根津 遼君（4年生）の名誉のためにも、申し添えます。



清瀬市にも川を守る会が発足！

清瀬市にも空堀川・柳瀬川を皆で良くしようと「清瀬ブロック会（会の名称は未定）」が 11 月 12 日に発足しました。川を市民の憩いの場、あるいは各種イベントに利用したり、家族単位、小・中・高の若い人たちと川下りもしたい等とっています。立ち上がれば、先ず一番にクリーンアップを中・下流を通して行おうと、幹事の方たちと約束しています。

水質が更に良くなりました

大口排水者である工場の排水設備の改善によって排水の色度調整が進み、

透視度が9月から良くなりました。

現在、空堀川の水質は柳瀬川流域の中で最も水質の良い河川であります。おそらく新河岸川水系の中で最もきれいな水質になっているものと確信しています。建設省荒川右岸工事事務所の資料にも、柳瀬川水系で一番水質が良いと書かれています。(空堀川ブロック：BOD、DOともに環境基準は達成されているばかりか、C類型相当の水質を示し、流域内では最も水質が良い。)現在は空堀川の環境基準は最低のE類型に指定されています。

調査地点は柳瀬川に注ぐ合流点手前の水質ですが、空堀川は上流が汚く下流に流れて行くにしたがい砂礫によって浄化されるのが特徴です。これは普通の川と逆なのです。

第3回柳瀬川流域水循環市民懇談会開かれる

建設省荒川右岸工事事務所が柳瀬川流域の市民を対象に、公募で選んだ市民による懇談会があります。公募と言っても実際は応募した市民全員が選ばれています。総勢100人の懇談会です。

この懇談会の特徴は情報公開です。すべての質問者が文書で答える姿勢は評価できます。また平行して行われている専門部会の傍聴が、懇談会のメンバーに開かれていることも情報公開の姿勢が現れていると思われま

空堀川の長さ

空堀川の長さはいろいろな数字で示されています。河川を管理している東京都建設部河川部は15kmとしています。しかし実際には、15.8kmとか14kmとか13.4kmとか、様々な数字が言われています。私たちは河川図を測った上で、現在は14kmと言ってきました。建設省荒川右岸工事事務所は水循環市民懇談の中で、空堀川は13.4kmという数字を使っています。そこで、文書で問い合わせましたところ、次のような回答がありました。

河川現況調査(基準年 平成2年度末)

15 km

都市計画決定による延長 13.4 km

東京都全体計画による延長(柳瀬川合流点～一級河川終点) 14 km

何のことが分かりますか？

15 kmは平成2年の長さ(過去)、13.4 kmは河川工事がすべて終わった時の長さ(未来)、14 kmは現在の川の長さです。ですから、今の長さは13.4 kmになるまで短くなっていくようです。

更に建設省は河川勾配を110mで1m下がる川とっていますが、その基準を将来の長さ13.4 kmで計算しているようです。実際は166mで1m下がる勾配の川です。いずれにしても空堀川は急流の川であります。直線化された川なので雨が降ったときには一気に増水します。増水した時は恐ろしい川です。

パソコン講習会のお知らせ

パソコンのエクセルを使いこなすと表計算、名簿作りや家計簿、グラフ作りや不動産ローンのコスト比較など様々なことが出来るようになります。このエクセルを中心に2日間の講習会を行います。

予定月日：1月中旬～2月末の日曜日

2回、10名限定（要予約）

講習時間：AM 9:30～PM 4:30

講習場所：職業能力開発総合大学校

受講費用：2,500円教科書代1,500円

申し込み 小林まで 391-4003

大岱小学校の総合学習について

10月11日大岱小学校からの要請で3,4年生に対し当会の田中、福島両名が空堀川について話しました。魚や水生生物について福島、洪水や河川環境について田中がそれぞれ担当しました。



富士見小学校第四学年総合的な学習研究授業に招かれて

10月31日、東村山市立富士見小学校体育館で、先日行われた「総合的な

学習」の発表があり、生き物、水質、ゴミ、リサイクルの四グループに分かれ、なお4,5人が一組になってそれぞれが発表しました。会場からの5人と市・環境部ゴミ減量課の2人の職員、そして専門家である八王子の校長先生にだけ見せるための授業のようでした。また、魚の取り方や、魚が好む環境などについて一緒に学習したことをこの研修授業では、紙で水際や草むらを作って魚を取るパフォーマンスをしたり、魚が草むらに隠れて魚取りから逃げて助かったという寸劇は面白く感心しました。



小平市環境シンポジウム

「地球環境は今」

小平市が来年度策定する「環境基本計画」について、より深く理解するため、上記のテーマで講演会が開かれます。当会の理事でもある渡辺 勇氏（職業能力総合大学・環境科学課教授）がパネラーとして出席します。

日時：11月26日 PM 1:30～4:30

場所：小平市中央公民館2階

なお基調講演は、東京学芸大学教授・小沢紀美子氏が行います。

◆これまでの経過◆

(2000. 9/16~11/16)

- ◎10月3日 大岱小学校、総合的な学習の打ち合わせ。小林、福島。
- ◎10月7日 定例会 中央公民館。
- ◎10月11日 大岱小学校で空堀川の話をする。3,4年生126名。会から田中、福島。
- ◎10月26日 第3回柳瀬川流域水循環市民懇談会、東久留米東部地域センター。
- ◎10月31日 東村山市立富士見小学校、「総合的な学習」研修発表会に招待され、会から5名が参観。
- ◎11月2日 東村山市立大岱小学校「総合的な学習」発表会。会から田中、福島参観。
- ◎11月2日 市民文化祭搬入。
- ◎11月3、4、5日 市民文化祭。5日5時から搬出。7名の会員が交代で説明に立った。
- ◎11月7日 川まつり実行委員会。役員会が市役所西庁舎で開かれ、第8回空堀川クリーンアップについて討議した。
- ◎11月11日 定例会 東村山中央公民館 第2集会室 クリーンアップについて具体的なことを話し合った。
- ◎11月13日 萩山公園 地元市民、自然を愛する市民、市・公園課。実質的には最終意見交換。
- ◎11月16日 クリーンアップ最終打ち合わせ 小林宅

会員募集中

会員を募っています。自然環境の整備と豊かな地域づくりに関心のある方の参加を歓迎します。

会の目的

私たちの目的(定款に定めたもの)は、①環境の保全を目的とする活動。②街づくりの推進に関する活動。③子供の健全教育に関する活動。④社会教育の推進。この四つを目標として活動をしています。

NPO 法人ですので将来ボランティア活動を通して雇用場を創り出していきたいと考えています。会の活動を推進するために組織づくりから参加して、協力頂ける人を求めています。また、会を支援して下さる方も求めています。

会費

個人会員(賛助会員とも)

入会金(会員のみ) 2,000円

年会費 2,000円

法人・団体会員(賛助会員とも)

入会金 10,000円

年会費 10,000円

申込み先

東村山市美住町1-13-14 小林まで

TEL/FAX: 042-391-4003

会費振込み先

郵便振替 口座名: がたろう

口座番号 No. 00130-3-729803

ご寄付を有難うございました
第8回クリーンアップの費用にと会員の
広田耕子さんから寄付をいただきました。

からぼり川

がたろう通信

第25号

2001年1月15日発行

特定非営利活動法人 空堀川に清流を取り戻す会

ホームページ <http://homepage2.nifty.com/karabori/>

E-mail kankan5@mb.infoweb.ne.jp

発行責任者：小林寛治 TEL/FAX 042-391-4003 (東村山市美住町 1-13-14)



自然に優しい落差工が出来ました

空堀川のような勾配のきつい河川には、どうしても洗掘や護岸を守るために一定の区間に落差工が必要になります。今までは、すべてがコンクリートで固めた落差工でした。

多自然型の川づくり第一弾？として東村山浄水場前、浄水橋上流に松の丸太を百本ちかく打ち込んだ乱杭による落差工が出来ました。水の流れる低水路部分を低くし、兩岸を高水敷と同じ高さにして、杭の間に碎石を入れたものです。川の中にコンクリートで作られ魚が移動できない横断物よりはるかに自然に優しい落差工です。

人間とは……

正路 妙子

秋の空堀川のクリーンアップは無事終了しました。でも翌日にはもう新たなゴミが目につきました。ゴミを拾う人、そして恐らく、捨てる人はいつも捨てる人ということなのでしょう。

ドイツ語やフランス語などのヨーロッパの諸言語では、“右側”を意味する単語が“正しいこと”、“権利”、“法”の3つの意味を同時に含んでいます。法の秩序に基づいて権利を実現することは、“公”のためであり、正しいことであるという意味のつながりを、この言葉は示しています。それに対して、明治時代の翻訳語である、日本語の権利は、“私的なもの”、法は“お上のもの”とされ、いずれも“正しいこと”と直接的には結びついていません。

専門家（加藤雅彦等著：現代のドイツ、大修館書店）によると、ヨーロッパ法圏では、“法は正しいことを実現する役割”そのものであり、極東法圏では“法はなるべく使わないようにすべきもの”となっているのだそうです。この違いは、不正な行為に対する処し方の違いとなって日常生活の中に現れてきていると思われれます。

東村山市内の随所に残る雑木林の中に、ペットボトル、空き缶、テレビなどが投棄されています。そのわきには、“ゴミを投棄する者は法によって処罰されます”という旨の無力な看板が立っています。看板の文言が単なる脅しに過ぎず、林の中にゴミを投棄しても罰せられることがあり得ないことは、見渡して見れば明らかなことです。

極東法圏に属する日本の社会は、長い間、人間は基本的には生まれつき良いことをするものだという性善説に基づいた信頼によって機能してきました。その上に、明治以降の権利の私的な解釈が著しく拡大してきました。“公”の場での不正なこと、不法なことは見ても見ぬ振りをして見逃すということは、ひとりひとりの日本人の習い性になってしまっているのではないかとさえ思われます。

東村山の林の中だけではなく、山奥の美しい溪谷にさえも空き缶や、ポリ袋に詰められたゴミ、テレビや冷蔵庫、車が投棄されています。

“社会的な正義の実現のための法”を機能させるためにはどうしたらよいのでしょうか？、まずは、使用済みの物を、有効に活用される場所まで戻すことを消費者が確実にを行うシステムを構築することです。デポジット制は、そのための一つの有効な手段です。

大岱小学校の総合的な学習支援

田 中 開

同校3～4年生対象の「総合的な学習」は「空堀川にアタック」のテーマ（単元名）で

- ① お話を聞こう……川、魚、鳥について
- ② 活動しよう……川探検、調査、まとめ
- ③ 発表会をしよう……10月31日 で計画され、当会は10月11日空堀川についてガイダンスをもった。（福島、田中担当）

当日3～4年生126名と本間校長、担任各先生一同コンピューター室に勢揃いして、

- ・ 空堀川の魚と水生生物
- ・ 空堀川的环境について魚の標本を展示の外、写真類を大型ビデオを通して説明した。

水質調査は当日朝採水した川水と水道水を、水の汚れ・色・臭いを比べ、透視度は時間の関係で透視度計での調べ方を話した。

子供たちは入室するなり魚の標本に興味を示した外、水源地、川沿いの写真類を見て、学校と空堀川の身近さや、水源地から学校までの距離や経路について質問があった。

爾後、学校の方針で川の探検は翌日から父兄とともに行った後、調査のまとめを行い、10月31日発表会がもたれた。

当日は体育館に、①空堀川のこと ②川の歴史 ③水の汚れ ④大岱小空堀川水族館 ⑤虫その他の生き物 ⑥鳥、の6グループ毎に工夫をこらした図示や模型を作り、発表側、質問側に分かれ元気よく発表や質問が行われた。

感心したことは、ペットボトル3個を連結して目盛りや二重十字マークも作り透視度を実測してみせたこと。また、ドジョウがどうして空堀川にいるのか、さらにしめりけがあれば生きられる等の発表があった。

傑作は最近話題のタヌキの出現を写真にとらえ報告していた。

学校側の川アタックへの準備やガイダンスも初めての試みながらご努力のあとが伺え、次回はさらにこの体験を活かして実のある学習にしたいとの本間校長の言葉をいただき会場を後にした。

狭山湖、多摩湖の堤体補強工事に思う

現在、震災対策として狭山湖の堤防補強工事が進んでいます。また、下にある多摩湖の堤防を補強するための調査が行われています。

村山貯水池の計画がたてられた背景には、玉川上水の水利用が高まり、羽村から取り入れた水がなかなか目的地に届かなくなりました。加えて開渠のため上水に汚物が入り易く、明治 19 年、横浜から広まったといわれるコレラがきっかけになり、上水道改良事業が着手されたといわれています。

大正 2 年 (1913) 9 月 7 日、内閣の認可が下り、東京市上水道拡張計画が大正 2 年から大正 8 年 (1913~1919) までの 7 年事業として決定されました。

当初は村山貯水池だけの計画でしたが工事が大幅に遅れ、この間水事情がますます逼迫し、東京市は大正 14 年村山貯水池に隣接する埼玉県入間郡山口村に山口貯水池を造ることになりました。昭和 2 年 (1927) 8 月、内務省から告知され村山貯水池に引き続き、山口貯水池の工事が行われることになりました。

用地の買収は殊のほか安く、多くの人が反対する中で行われ、地底に沈んだ戸数は 160 軒とも 162 軒とも言われています。他に寺社・堂 12、溜め池 21 が湖底に沈みました。現在、新青梅街道・清水にある三光院は多摩湖の取水塔付近にあったのが移転してきたものです。当時の移転先は大部分、本村に移ったようですが、人家もなかった空堀川周辺は「移転場」の一つにあげられ、清水村から何戸か移って来たようです。

工事中の大正 12 年 9 月、関東大震災が起き、「当時 52 尺の水を溜めていた時に激震が起こり、丈余りの水柱が立ったが半分程度工事が進んでいた村山貯水池堰堤は、小さな亀裂が入っただけで大きな被害は受けなかった」と記録されています。

この貯水池も戦争の影響を受け、空襲の被害を最小限に食い止めるため、早くから貯水池の偽装が始められ、昭和 19 年下貯水池堰堤防護工事が行われ、そのまま現在の姿になりました。昭和 20 年 4 月から 6 月にかけて 5 度の空襲があり、数百発の爆弾が堰堤、取水塔めがけて落とされました。

現在、山口貯水池を狭山湖、村山貯水池を多摩湖と呼ぶようになったのは、昭和 25 年名称問題で地元と水道局、西武鉄道主張の折中案であるようです。

狭山湖、多摩湖が出現によって気候に変化が起き、湿度が上がったため霜が降りなったり、湖上が風の通り道になったり、北川の水源がなくなったりして環境の変化は避けられませんでした。

今後の築堤補強工事は大きな環境変化を伴わないものであって欲しいものです。

(参考文献：多摩湖の原風景・東大和市史資料編 2)

(文責：小林寛治)

河川審議会の答申について

河川審議会の答申が昨年暮れにあり、「河川はらん」を前提に洪水と共存する治水に「流域治水」のあり方が大きく変わるような印象を受けました。

新聞報道によるとダムや堤防のかさあげで洪水を川に押し込める従来型の治水から、人が生活している所にはらん域を設けたり、輪中堤（わじゅうてい）や住宅地のかさあげによって「洪水と共存する治水」という河川行政の転換ともとれる記事が掲載されました。

河川審議会の答申がどのような手続きによって河川行政に反映されるのか聞いてみました。建設省河川部計画課の話では、「省庁再編のため今までの河川審議会はなくなるため、今までの審議を中間答申としてまとめたもので、どう行政に反映していくかわからない。今後は、国土交通省の中で社会資本整備審議会・河川部門に引き継がれていく」との返事でした。

同時に「河川における市民団体等との連携方策のあり方」についても答申が出されました。

この答申は建設省が、私たち河川に係わるものに素案の段階で意見を求めてきたものであり、我々市民団体にとっては今後指針となる画期的な答申です。

この答申は 5 つの項目からなり、1.審議に至った経緯、2.河川における市民団体等との連携に向けた展開、3.市民団体等との連携のあり方、4.市民団体等とのこれまでの連携における課題とその解決の考え方、5.今後とるべき具体的方策、からなっています。誌面の都合でいくつか取り上げてみました。

1.審議に至った経緯では、「河川行政は環境問題や価値観の多様化など新しい課題に直面し、……『個性あふれ活力ある地域社会の形成』を 21 世紀に向けた河川整備の基本施策の一つとして位置付けた。」さらに、「河川管理についての役割分担の基本方針として、個性豊かな自立型地域社会の形成を進めるため、流域における多様な主体の河川管理への幅広い参画が不可欠である。」 2.河川における市民団体等との連携に向けた展開では、「多様なニーズに対応するための非営利セクターの必要性を…… 河川の分野に限らず社会のニーズは多様化しており、行政では行き届きにくいきめ細やかで多様なサービス等を担う、公益的非営利セクターの必要性が顕在化している。」 3.市民団体等との連携のあり方では「市民団体等の一般的な特徴としては、自主的な集まりであるがゆえに、外的要因に束縛されない自由な活動が可能であり、先駆的、実験的取り組みが行いやすい。一方活動が必ずしも継続性があるというわけでもない。」……等。

詳しくは国土交通省のホームページをご覧ください。

なかなか難しい表現がされていますが、この答申がどうかたちで実施されるのか見守っていきたい。

(文責・小林)

がたろう豆辞典(7)

宮下博文

—し—

地すべり：山崩れのように急激でなく緩慢なすべりである。地すべりの現象は複雑であるが、普通つぎのように分類している。

①第3紀層地すべり、②破碎帯地すべり、③温泉地すべり。

このような地すべりは地下水の浸透によって起こりやすくなる。また、第3紀層では、モンモリナイトによって起こりやすいといわれている。すなわち我が国では、梅雨期のように地下に雨水が浸透し、その雨水が軟弱粘土層の上に帯水して、その上の土層がすべることが多い。

シートパイル：鋼材で出来た矢板。主に止水工事に使用され、幅 40 cm、高さ 25 cm で直線U型、ボックス型等あり、その先に爪があり、別の矢板の先と結合し壁を作る。

締切り堤：水中に構造物・基礎等を作るとき、作業に先立ちその周囲に水をせき止める堤防や壁を作り、陸上と同じような作業が出来るようにすること。このような仮設物を締切りという。

上記シートパイルを使用し、締切り堤等を作ることがある。

蛇籠：竹・木(柳)・鉄線等を用いて円筒形の籠を網み、中に玉石または割石を填充したものを蛇籠という。竹製や柳製はすがたを無くしつつある。

取水口：河川、貯水池から用水を水路に取り入れる設備で、止水ダム・止水ゲートとともに取水設備ということがある。

取水ゲート：取水口に設けられた扉。

取水設備：水源により下記のようなものがある。

地表水	〔	河川……取水ダム、取水塔、取水門
		湖沼……取水塔、取水門
		人口貯水池……ダム
地下水	〔	湧水……集水室
		井戸……ポンプ
		伏流水……集水暗渠

取水塔：河川の中・下流部、湖沼、貯水池等水深のかなりある場所で集水するのに用いる塔。

シールド工法：シールド(掘削機)と称する鋼製の筒または枠を推進させてトンネルを構築する工法。(12年12月12日大江戸線が開通したが、この線の駅～駅間は、シールド工法で作られている。)

ナチュラル ミネラル ウォーターについて (4)

「仙人秘水」は還元水だった。

水には酸化還元電位 (ORP) があり、これはORPメーターという計測器で測ることが出来ます。私たちの理事で無機物分析の専門家である渡邊先生に依頼して「仙人秘水」のORPを測った所、200mv (ミリボルト) 以下で還元水であることが分かりました。ORPが200mv以下を還元水と呼び、ORPが300mvを超える値を酸化水と呼んでいます。純水の標準酸化還元電位が200mvであることから線引きしています。還元水は酸化を防止したり、腐敗を防ぐ効果があります。「仙人秘水」で炊いたご飯は変色しなかったり、生け花が長持ちしたり、リンゴの皮をむいて仙人秘水に浸しておく黄色く変色するのを防ぎます。

物が燃えたり、鉄が錆たりすることは酸素が結合することで起こります。これを酸化とす。この反応によって生じた化合物を酸化物と呼んでいます。

私たちが呼吸している大気中には21%ほどの酸素があり、このため放っておくと多くの物が酸化し、腐食や腐敗の原因となります。酸化の反対に還元があります。還元とは酸化されたものを元に戻すこと、つまり酸素を奪うことです。

酸素には強い殺菌力があり体内に侵入する細菌を殺す作用もあります。活性酸素がそれです。活性酸素を採りすぎると体内の正常細胞を殺し病気の原因になるといわれています。

ミネラルはこの活性酸素の働きを抑制する作用を持っているといわれています。

(参考文献: [図説] ミネラルのはなし・谷腰欣治著・日本実業出版社)

硬水と鉱水

硬水とはカルシウムとマグネシウムの総和で、一般には硬度150以上の硬度の水を言います。

鉱水とは鉱泉水ともいい「鉱物質を多量に含んでいる水」を言います。また硬度が高いため洗濯しても泡が出ないといわれています。「仙人秘水」は鉱水なのに硬度は30で洗剤を使っても泡がたちます。

「仙人秘水」の申し込みは…小林までFAXまたはメールをお願いします。

FAX: 042-391-4003 Email: kankan5@mb.infoweb.ne.jp です。

1 ケース (1リットル12本入り) 2,800円 (宅配料・消費税込み、市販3,000円)

代金支払方法: 郵便振替 No. 00130-3-729803 口座名: 「がたろう」

または、東京三菱銀行久米川支店 普通預金No. 0730813

口座名: 「空堀川に清流を取り戻す会」

講演会のお知らせ

法人になって2月で丸1年になります。会の記念事業として講演会を企画しました。講師には会員の小川氏の協力で知名度抜群の先生にお願いすることが出来ました。お友達をお誘いの上お出かけください。



ふじた こういちろう
藤田 紘一朗先生

日 時：2001年2月23日（金曜日）
午後3時から5時まで
場 所：ふるさと歴史館（TEL 396-3800）
1階 視聴覚室
講 師：藤田紘一朗先生
演 題：21世紀の健康と環境
資 料 代：300円
定 員：100名
申込み先：空堀川に清流を取り戻す会

小林 Tel/Fax 042-391-4003

または 福島 042-392-2420

プロフィール

NHK総合テレビ 課外授業「ようこそ先輩」

カイチュウ博士の寄生虫はお友達

（1998年10月29日出演）

専門は熱帯医学。回虫研究の分野で

日本一の権威者

世界中の飲料水を分析、飲み水と

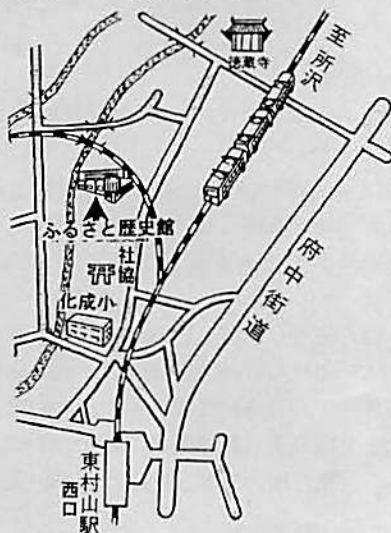
病気の関係の研究

著書「笑うカイチュウ」、「癒す水・
蝕む水」、ほか多数

略 歴

1939年旧満州生まれ、東京医科歯科大学卒業。東京大学医学部助手、順天堂大学医学部助教授、金沢大学医学部教授を経て、1987年より東京医科歯科大学教授。

案内図



インフォメーション

ワンドが出来ました

本誌 23 号 10 ページでお知らせしたワンドが出来ました。浄水橋上流 20 m に自然石を埋め込んで造られました。

今は、石の頭が少し出ている程度ですが、水衝部（水が当たるところ）なので 3 月以降の豊水期には石が現れ、石裏が洗掘されて次第に好ましいワンド（深みが出来、水が溜まる場所。魚が隠れたり稚魚が生育できる所）となるでしょう。注目して下さい。

パソコン講習会、日取り決定

前号でお知らせしましたパソコン講習会（エカ）の日程が決まりました。今の所 3 名程度のあきがあります。ご希望の方申し込みください。

日時：3 月 4 日（日）、11 日（日）

午前 9 時 30 分～午後 4 時 30 分
場所：職業能力開発総合大学校東京校
（西武国分寺線 小川駅下車）

費用：4,000 円（テキスト代込み）
申込み：小林まで（Tel. 042-391-4003）

東村山市の雨水浸透施設

助成事業の推移と現状

東村山市では地下水涵養のため、雨水を下水管や道路に流さないよう地域内処理を指導しています。このために雨水マス、雨水トレンチの設置に助成をしています。この事業は平成 9 年度

から実施され、今まで 379 件の実績があります。都と市が半分ずつ負担し、個人の実質負担はありません。平成 12 年度は東京都が予算を絞ったためか未だ 50 件に満たない現状だそうです。

平成 9 年	9 7 件
平成 10 年	1 4 0 件
平成 11 年	1 4 2 件
平成 12 年	3 0 件（11 月現在）

地下水涵養のため、折角の助成措置の継続を望みます。また、川に流れ出る雨水は公共の場所だけではなく、駐車場や個人の敷地から出ているものも浸透させるための指導が待たれます。

本町・都営住宅の

排水浄化対策、今年度も実施

今年度も本町都営住宅の排水の浄化対策が実施されます。

建替えが行われている空堀川沿いの都営・高層住宅の生活雑排水も残っている戸数は後 500 戸程度になりました。昨年も 1 箇所のみ排水路が止まりました。

東京都北部住宅局より約束通り今年度も排水路の清掃、蛇籠に炭を入れた礫間浄化対策を実施すると連絡がありました。

「からぼり広場」に

トイレと手洗い場が実現！

高橋真議員の市議会質問で「からぼり広場」付近に都市基盤整備公団が公園として約 1500 m²の土地を整備し、

東村山市に提供する…ということが明らかになりました。この場所はからぼり広場に隣接した「第二砂の川橋」もとにあり、現在は塀で囲まれた第四保育所を含む場所と思われます。都市基盤整備公団との折衝窓口は市の政策室で、具体的な図面などは未だないそうです。公園整備には市民の意見を聞いていくといっています。3年程度期間はかかりそうです。

◎みなさんからの声から

「がたろう通信」はNPOになって誌面を少し変えました。それは、本会が会員の皆さんに支えられていることを再認識し、思いを担った活動になっているのか、活動内容を知って頂き、ご批判を頂きたいと思ったからです。果たして皆さんの望む活動をしているでしょうか？

最近寄せられた意見から

- ・川がキレイになった。
- ・水の汚れより水量がとても気になる。
- ・湧水が欲しい。
- ・空堀川の植物調査は大変良かった。
- ・行政との関係が良くなっているのが分る（認められてきた）。
- ・会報については…
 - 写真がキレイになって活動の様子が良く分る。
 - 記事がようやく環境団体らしくなった。
 - 少し難しいがこれで良いと思う。

○難しい言葉が多すぎる。

○“全学連の機関紙みたいだ”と皆が言っている。

などいろいろ意見を頂いています。これからも貴重なご意見、ご感想等お寄せ下さい。また、原稿の提供もお願いいたします。

身近な川の一斉調査発表会

昨年、6月11日新河岸川水系に属する水の一斉水質調査が行われ、このまとめの報告会が12月10日（日）朝霞の産業文化センターでありました。当会からは齋藤、小林の2名と、6月11日雨の中空堀川の水質調査に参加された市立三中の科学部・木村先生他3名の生徒が参加しました。当日は、総括を所沢北高校の丹野先生がスライドに写して各河川の水質の特徴を説明されました。続いて長い間多摩川・野川に係わって水質調査を指導してこられた東京農工大学小倉先生の講演がありました。



講演している小倉先生

水質セミナーの開催について

水の汚れを表わす指標にBOD（生物化学酸素要求量）があります。この指標は水中の有機物（家庭の台所や風呂場・浄化槽の上水等に含まれている汚れ）を微生物が餌として分解してしまうまでに必要な酸素の量なのですが、言葉ほどには調べ方は知られていません。

BODを調べるには、微生物が死なないように、活性化していなければなりません。測定環境の整備から実際にやってみようと、このたび職業能力開発総合大学校にお願いしセミナー開催の運びになりました。

このセミナーでは、分析について総括とJIS法によるCODの測定、硝酸・亜硝酸を渡辺先生（当会理事）、BODを笠倉先生に、大腸菌培養実験と講義は北里大学漆原先生（細菌学）、水の汚れと指標生物は環境科学研究所大野主任研究員に。それぞれの得意分野の講義と実習を予定しています。

4月より8月まで8回行います。

日程：4月14日（土）・21日（土）、
6月23日（土）、7月7日（土）・
21日（土）・28日（土）、8月4
日（土）・9日（木）計8回のセ
ミナーです。

受講料：6,000円（一回でも同じ）

場所：職業能力開発総合大学校東京校

042-391-7170（西武小川駅前）

募集人数：10名

申込み・問合わせ：小林まで。

042-391-4003

市民によるパックテスト等化学調査もそれなりに評価出来ますが、基本となる測定方法も知っていると役立ちます。

クリーンアップ余話

11月に行ったクリーンアップには、参加できなかった会員がそれぞれ都合の良いときに付近の場所で空堀川をキレイにされたようです。東大和・奈良橋に住む小倉さんからは、つぎのようなメールを頂きました。

「11月12、18日の両日、奈良橋6丁目「砂の川橋」付近から「中砂の川橋」まで清掃し、①空き缶94個、川の中から拾い上げたもの1個、ほとんどが土手とその周辺。②空き瓶・ペットボトル数個。③その他のゴミ1個（川の中）。

感想として……土手は雑草刈りが終了した直後で、見た目にはキレイでしたが、空き缶は土に埋もれたものを含めて上記のような結果でした。水量は少なかったものの、雨後ということもあり、水は澄んできれいでした。カモ数羽、白鷺・セキレイ各1羽見かけました。

多くの場所がフェンスで遮られ川の中のゴミを取るのに苦勞をしました。景観としても好ましくないと感じました。次の機会には参加したいと思います」

◆これまでの経過◆

(2000. 11/17~12/31)

- ◎11月13日 萩山公園計画現場説明会、地元市民二十数名初めて参加、今までの経過説明が地元からあった。友保、小林参加。
- ◎11月16日 クリーンアップ最終打ち合わせ。小林宅。
- ◎11月19日 第8回空堀川クリーンアップ。下堀・お祭り広場、浄水橋からぼり広場。
- ◎11月22日 市民フォーラム「NPOって何だろう」に参加。中央公民館。小林参加。
- ◎11月22日 東京労金によるボランティア助成説明会。田無労金。友安出席。
- ◎12月4日 立大生の卒論「環境NPOについて」取材に協力する。小林。
- ◎12月9日 定例会。中央公民館。
- ◎12月10日 「身近な水の一斉調査」発表会。朝霞産業文化センター、齋藤、小林、他に東村山市立第三中学校・木村先生他科学部生徒3名参加。

会員募集中

会員を募っています。自然環境の整備と豊かな地域づくりに関心のある方の参加を歓迎します。

会の目的

私たちの目的(定款に定めたもの)は、
 ①環境の保全を目的とする活動。
 ②街づくりの推進に関する活動。
 ③子供の健全教育に関する活動。
 ④社会教育の推進。この四つを目標として活動をしています。

NPO 法人ですので将来ボランティア活動を通して雇用の場を創り出していきたいと考えています。会の活動を推進するために組織づくりから参加して、協力頂ける人を求めています。また、会を支援して下さる方も求めています。

会 費

個人会員(賛助会員とも)

入会金(会員のみ) 2,000円

年会費 2,000円

法人・団体会員(賛助会員とも)

入会金 10,000円

年会費 10,000円

申込み先

東村山市美住町 1-13-14 小林まで

TEL/FAX: 042-391-4003

会費振込み先

郵便振替 口座名: がたろう

口座番号 No. 00130-3-729803

ご寄付ありがとうございました

会員の北沢 清さんから NPO 取得記念として 50,000 円の、西巻 治子さん、小佐 信行さんからも沢山のご寄付を頂きました。また、学習センターで「がたろう通信」を見たと言われる 6 期生の世田谷在住の二宮 尚子さんは、「その時々空堀川に関する最新のニュースや誌面に魅せられました。活動資金に」とご寄付を頂きました。皆さんに厚く感謝、お礼申し上げます。

からぼり川

がたろう通信

第 26 号

2001年3月15日発行

特定非営利活動法人 空堀川に清流を取り戻す会

ホームページ <http://homepage2.nifty.com/karabori/>

E-mail kankan5@mb.infoweb.ne.jp

発行責任者：小林寛治 TEL/FAX 042-391-4003 (東村山市美住町 1-13-14)



講演会が盛況裡に終わりました

会が初めて企画した第一回の講演会（2月23日：「21世紀の健康と環境」）には、予想を上回る聴視者の方が集まり成功を収めました。

資料づくりから、公報活動にと多数の方々が協力してくださり、力を合わせて行うことの意義を改めて感じました。

講師の藤田紘一郎先生の話は有意義で面白く、ほとんどの人からもう少し聞きたかったなどと、感想を頂きました。先生も次回は「水」について話したいとの希望をもっておられます。

冬枯れの森の中で

正路 妙子

八ヶ岳の山麓の里を訪ねました。わき道に入ると踏み固められた雪が凍り付いていました。落葉樹の森の中には一面の雪が残っていました。でも、マツやヒノキなどの、常緑樹の枝が広がっているところでは、落ち葉に覆われた地面が顔をだし、生命の復活のときが近いことを感じさせてくれました。

まるで生命のないもののように立ち尽くしている落葉樹たちの中に身をおいて、あるドイツの女流作家の言葉を思い出していました。その作品のほとんどを読んでいたつもりでしたが、最近になって目にとまったもので、なぜ自分が彼女に引かれるのかの答えを見つけたような思いがしました。若い教師だった頃に、反ナチスの立場をとっていたこの女性は、密告によって逮捕され、危うく死刑を免れたという経験をもっています。敬虔なカトリック教徒である彼女が、次のように書いているのです。「...『世界の調和』についてのケプラーの言葉は、私にとっては神の顕現でした。この調和の存在を私は信じていますし、ですから、人間の命の意味も、いかなる個々の命の意味も信じています。私の信念は一般にみとめられているものではありません。アウシュヴィッツやヴェトナム、カンボジアは、調和しがたいものです。暗い時代の中で、そのような場合、私に力を与えてくれるのは、キリスト教でも、仏教でもありません。私に力を与えてくれるのは、ただひとつ、古い中国の哲学、道教です。道教は、私に相矛盾したもの——創造的で、必然的な対極性として現れるもの——同士の間弓を張ることを教えてくれます。昼は、夜がなければ昼ではなく、善は、われわれが悪と呼ぶ、反対物がなければ善ではありません。すべては、変動であり変化です。神、それはすべてを動かす力であり変化です、神はわれわれとともに変化し、われわれは神とともに変化していきます。中世の神秘主義者たちの教えは、私にとっては道教と結びついていました。これは議論するテーマではなく、大いなる体験なのです (Luise Rinser, Den Wolf umarmen より)」と。

「神は魂の中に内在している」ことを経験した中世の神秘主義思想と、道教とのつながりは、森の中に身をおいているとおのずから感得されるように思われます。

ゲーテの「死して成れ」という言葉も、偶然的で、自己中心的な自我の死によって、人間が真の存在。つまり自然の中の調和した存在に至ることを表しています。

このようなことは、確かに議論すべきことではなく、自分の目で見て感じるべきことであるに違いありません。

この「がたろう通信」は、隔月に発行しています。東村山中央公民館、

ワースト 1, 2 の河川から清流復活へ第一歩！

空堀川は長い間、東京都が監視している都内 48 河川の中で常に汚い順で 1, 2 を競っていた川でした。

空堀川流域は昭和 30 年代からの急速な開発によって、生活排水が集中して流れる悪臭と水質の悪いドブ川になってしまいました。

空堀川は一般河川から準用河川、そして一級河川と指定が変わり管理も市から都へと移りました。東京都は昭和 51 年 3 月、空堀川の水質が健康を損なわないための環境基準である最低の E 型類型の河川に指定しました。そして基準となる観測点を決めました。最初の観測点は東村山市の野口橋でした。基準点はその後柳瀬川との合流点近くに移り、現在は清瀬市内の梅坂橋です。

空堀川の汚染の経年変化と順位

年 度	S 51	S 52	S 56	S 59	S 63	H 1	H 8	H 11
B O D	73	36	42	51	33	41	10	3.7
ワースト 順 位	2 参考値	6	1	1	1	1	4	19
採水地点	野口橋			中里橋	三郷橋	中里橋	梅坂橋	梅坂橋

(注：途中の年度が抜けているのは、紙面の都合で入らなかったためです。)

上表のように、空堀川の水質は平成 8 年を境に急速に改善してきました。これは流域下水道とこれに繋ぐ各市の公共下水道の供用化が大きく貢献しています。しかしながら、これに伴う河川の流量の激変は大きな問題であります。

未だ特定の地点では BOD が環境基準を上回っているところがありますが、全川に亘って同一な水質の河川はありません。基準となる観測点の数値は尊重されるべきです。私たちは、先ず E 類型から現況にあった C 類型に変更を要請しています。本来、環境基準は公害防止行政の目標となるものであり、達成した基準を後追いするものではなく上位の目標値として設定すべきものです。(環境基本法第 16 条)

※ BOD とは、生物化学的酸素要求量 (Biochemical Oxygen Demand) といって横文字の頭文字を取って BOD としています。

実際には試験管の中に試料の水を入れて 5 日間 20℃ に保って置いた後、最初の溶存酸素と 5 日目の溶存酸素を測り、その差を表わしたものです。

水の中にいる微生物が水の中の有機物を採って浄化するに要する酸素の量をいいます。

(文責 小林)

はじめての講演会事業アレコレ

田 中 開

(はじめに) 巻頭言にあるようにNPO取得1周年記念事業として講演会をもと
うと昨年11月の定例会で決め、翌月には小川浩一氏より藤田紘一郎先生の紹介
があった。

NHKテレビ「課外授業ようこそ先輩」出演の先生を見たものも多く、また水
の権威者であることから最もふさわしい講師として早速講演会の準備に入った。

(準備) 小川氏の尽力で先生から日時と、講演演題「21世紀の健康と環境」に
スライド70枚、参考文献の紹介が届く。何しろ初めての企画であるだけに、会
場、資料、PR、集客方法等々どこから手をつけるか、理事それぞれ分担してか
かることにした。

幸い「ふるさと歴史館視聴覚室」を借りることが出来、スライドはOK、人員
70~100名来場前提にPRと集客動員に入った。

<PR>

- ・ からぼり川25号に講演会案内掲載
- ・ 市報ひがしむらやま2月1日号へ掲載
- ・ 朝日新聞多摩マリオン2月21日紙面掲載
- ・ ポスター作製し、ふるさと歴史館をはじめ、市内図書館、公民館の外、活動
を通して関係する幼稚園、小、中学校に配付
- ・ チラシA4版800枚作製と配付

<資料> 読んでもらえる内容と頁数さらに資料代を睨み、市内小・中学校のア
レルギー疾患の統計と、先生著書から抜粋をそれぞれ5枚10頁とし、来場
見込み80名として印刷

(講演会) 先ず心配だった来場者は70名で一安心。先生の自己紹介は寄生虫に
かかわる運命からインドシナ派遣された下宿の状況をスライドを通し、「カイチ
ュウ博士」になるまでの経過を巧みな話術と豊富な話題で十数分にして一同話の
虜となる。

私たちは水生生物や植物を通して自然環境との共生を主な活動としているが、
先生は私たちの身のまわりにいる皮膚常在菌や腸内細菌などの「共生菌」との共
生であり、その共生により身がまもられていることを強調され、あらたな驚きと
半信半疑のうちにも再認識させられた面もあった。

・ 回虫をはじめとするいろいろな寄生虫を人の体内から一方的に駆逐したこと
がアレルギー疾患増加の最大の原因とされ、小学時代の海人草を飲まされた辛い
経験を思い出しながらますます話に引き込まれて、寄生虫と人との共生の妙を開

き入った。

・ 春も間近の只今、寄生虫感染は花粉症の発症を抑制する話は理論的に図示との説明で頷いたり、首をかしげたりもした。

・ なぜO-157が先進国に発生するのか、「清潔志向」とその延長である抗生物質や消毒剤の乱用が一因との説に、O-157学校給食の場で発生したものが、なぜ家庭では発生しなかったことを疑問に思わないのかの問いかけには一考させられた。

(余談) 休憩時間では先生の著書3点30冊がアツと言う間に完売されたのには驚いた。

これは先生の分かりやすく面白く話す中にも真剣味があることと「共生の妙」に参加者が引きつけられて是非読んでみたいとされたためだろう。

質問の中にも

- ・ 花粉症の特効薬を早く作って欲しい切実な訴え。
- ・ PTAの若いお母さん方には是非今日の話を聞かせてやりたい等々あり有意義な講演会であった。

(その後の反響)

- ・ 笑うカイチュウや本日完売で入手できなかった本について参加者からお尋ねがあり、図書館にある先生の本や、購入書店の紹介もした。
- ・ 次回は是非「水」の講義が聞きたい。
- ・ 市民グループや商工会に働きかけ先生の講演会をもちたい等々寄せられた。講演会の企画が始めてであったが、盛況裡にできたことに対し、ご多忙のところ東村山まで来ていただいた藤田先生に感謝いたします。



熱心に藤田先生の講演を聞き入る人たち

(市内図書館にある先生の本：「笑うカイチュウ」「清潔はビョーキだ」「バイキンが子どもを強くする」「恋する寄生虫」「獅子身中のサナダ虫」「空飛ぶ寄生虫」「サナダから愛をこめて」「日本人の清潔がアブナイ」)

ビデオ鑑賞会

地球環境ビデオ「地球は青かった」鑑賞会のお誘い
 会員以外の方も歓迎！

この度、京セラコミュニケーションシステム㈱の「地球環境の現状を伝え地球の美しい自然を守ることの重要性を訴えかけることが弊社の社会的責務である」という企業理念に基づいて制作したビデオを、京セラの呼びかけで応募したところ手にはいりました。

ビデオは三部作で、第一部はドイツ編で「大気」をテーマに、環境先進国ドイツを取材、政府・企業・国民の環境保護活動に取り組む姿を紹介しています。

第二部はオーストラリア編で「水」をテーマに、世界最大のサンゴ礁をもつオーストラリアでの「オゾン層破壊」に対する取り組みを取材・紹介し、二作とも文部省より選定を受けています。

第三部はアメリカ編で「大地」をテーマに、環境ビジネスをリードする現代アメリカを取材、人間の英知とテクノロジーを駆使した環境問題解決策について、また、宇宙飛行士・毛利衛氏のインタビューをはじめ、NASAの最新技術を取材・紹介しています。

上映は ①「地球は青かった」ドイツ編 (22分50秒)
 ②「地球は青かった」オーストラリア編 (25分51秒)
 ③「地球は青かった」アメリカ編 (34分35秒) の順で行います。

記

日 時：4月7日(日) 10時から12時まで

場 所：中央公民館 視聴覚室 無料

◎なお、当日は4月の定例会を9時30分より行いますので、会員の方は早めにお越しください。4月22日実施予定のクリーンアップについてご相談したいと思っております。

「恩多ふれあいセンター」の建設にかかわって……

恩多町に文化センターをつくる会
会長 遠藤 久子

東村山市の市民集会施設である「恩多ふれあいセンター」はいよいよ、本年4月21日にオープン予定です。振り返りますと、平成4年の4月に「恩多町に文化センターをつくる会」という住民運動が生まれ、以来、丸9年の粘り強い持続的な運動で実現させた…と言えると思います。

「東村山市のどの町にも、便利で文化的な公共施設があってほしい！」という願いのもとに運動は始まりました。そして、「運動を全町的にする為には、こうした住民運動があることを広く知ってもらわなくてはならない。」と、市が掌握している、恩多町の自治会長に手紙を出し、「こういう住民運動を始めました。一緒にやりませんか？本会の会報を回覧版の数だけ届けますので、回してください。」と伝えました。以来、90数パーセントの自治会は、会報を受け取って下さり、平成6年の署名活動の時には、大きな力になりました。毎月、1日付けで発行する会報も、この9年間で、100号を超えました。

署名は「新婦人」「生活クラブ」等、さまざまな団体のご協力をも得て5000名を超え、市長と議会議長に提出したのですが、各議員団の部屋もお訪ねして、代表の方に、よくお願いしました。傍聴に行った文教委員会では、「休憩時間」に発言を求められたりしました。

こうして、平成7年の3月議会で全会一致で陳情が採択され、東村山市は実現に向けて努力することになりました。

その後、恩多町5丁目40番地の約6000坪の私有地が東京都に売られ、新規の都営住宅が4棟と公社住宅が1棟、建つことになりました。都営住宅が、中規模・大規模に建つ時には、「地域開発要綱」という取り決めが働き、地域に役立つ施設を東京都がつくれます。東村山市にある、多くの都営住宅に、こうした施設が併設されていますね。今、都もシビアですし、東村山市は、この取り決めをこれまで先取りし過ぎていたこともあって、今回はいささか難航したのですが、やっと実現に漕ぎ着けました。この間、「恩多町に文化センターをつくる会」は小松都議に東京都住宅局の北部事務所（田無）に連れて行っていただいて、力添えをいただきました。

「恩多ふれあいセンター」は、市民生活課が所管する「市民集会施設」ですが、私たちは「会議する部屋だけでは、ダメ。市民が様々な活動ができるように、料理室も和室も必要。大きい部屋では、ちょっとした音楽の催しもでき

るように…。」と言い続けてきました。東村山市が、「もう、公民館や図書館はつくらない。市民集会施設ならつくる。」というのに対して、また、当時の文教委員長が、「陳情の表題を『恩多町にコミュニティセンターをつくる陳情』に変えた方が良いと思いますよ。」と言うのに対して、臨時運営委員会を開いて戦術を練りながら、「できる…というものを、つくってもらいましょう。でも、私たちは『会』の名前は変えない。『文化センター』の内容をもった集会施設をつくってもらおう。」と、初心を貫きました。

市は設計の素案をつくる時に、本会の考えを聞いてくれましたので、私たちは、何から何まで希望を申し述べました。私たちは、平成4年当時から、ずっと、常に市内はもとより近隣の市や三鷹市・杉並区の施設を見学に歩いておりました。今、「恩多ふれあいセンター」は、私たちの願いがそこここに、ちりばめられて、出来上がっています。

さて、平成12年1月、市は恩多町全域と青葉町1・2丁目の自治会長と「恩多町に文化センターをつくる会」会長に案内を出して、この施設の運営についての協議を始めました。(平成11年7・9月には、このメンバーを集めて、経過や設計の説明をしています。)

曰く、「この施設は公設民営とします。これ以後の市民集会施設も、そういたします。つまり、周辺住民の方々に『市民運営協議会』をつくっていただいて、市はそこに、『管理・運営』を委託します。」

本会は、「恩多ふれあいセンター」の建設が決定される経過の中で、何度も「運営は、そうなります。」と市から聞かされていたので、これは、受け入れるより仕方はありませんでした。会員の中には、「願ってもないこと！住民であるのが良い」という方もいました。

この日、市は、「市民運営協議会を立ち上げる前に、準備委員会をつくって、諸々の文書(規則)の素案をつくってほしい。準備委員会は、『恩多1～5丁目と、青葉1・2丁目から自治会の代表が1名ずつで、7名。(恩多町に文化センターをつくる会)から1名。市報による公募で3名。』合計11名でどうか?」と、提案して、結局そのとおりになりました。

市は、この日以後は「準備委員会」を相手とし、「文化センター」とは、会いたがらなくなりました。(たとえ、それが以前申し述べていた、備品等の確認があっても…)

私たちは、「本会は『つくる会』であったので、その使命は果たした。」として、本年5月末に最後の総会を行い、賑やかにパーティをして「会」を閉じることにしています。

50 数名の会員さんたちは、今後は一周辺住民として、個々にこの「市民運営協議会」関わっていくこととなります。



・恩多ふれあいセンター 全景



・恩多ふれあいセンター 正面入口

「恩多町に文化センターをつくる会」と私たちの会とのつながりは、平成 10 年 5 月、私が「恩多町に文化センターをつくる会」の総会に招かれ「空堀川」の話を見せて頂いたことから始まりました。この総会の特別議題として全会一致で私たち「空堀川に清流を取り戻す会」の団体会員になっていただきました。

成熟していない私たちの会は依存するばかりで何の支援もできませんでした。

しかし、「恩多町に文化センターをつくる会」は 9 年にも亘って粘り強い活動の結果、目標とした「文化センター」が出来たことは素晴らしいことであり、私たち市民活動をしているものにとっても嬉しいことであります。

「つくる会」はこれからの市民活動のあり方を示したものとして、高く評価されることと思います。行政も 3 月議会で質問に答える中で「恩多ふれあいセンター」を市民との協働で造った事例として紹介していました。

遠藤会長初め会の皆さん、本当にご苦労さまでした。 (小林 寛 治)

インフォメーション

パソコン講習会を実施しました。

前号でお知らせしましたパソコン講習会(エクセル)が3月4日(日)、11日(日)参加者11名で行われました。

エクセルの基本から表計算の方法、グラフの作成まで2日間、計12時間の講習でした。参加者の皆さんお疲れ様でした。

「せせらぎとみどりの散歩道」 完成!

1997年3月から(平成8年度)から市民参加で計画から実施まで進められてきた回田小学校裏の国有地を整備し、湧水を溜め水の流れるせせらぎを復活させホテルを飛び交わせよう、金山神社から丘陵を越えて北川に通ずる都水道用地の上に緑道を整備して散歩路を造ろうという計画と工事が5年の歳月をかけて終わりました。

この計画は最初からイメージづくりに市民が参加し、コンサルタントが絵を描き、市民が更に意見や希望を上乗せし、修正を重ねて出来たものです。

市民参加によるこのような事業は確かに時間がかかり、行政マンには夜間や休日を使わなくてはならない大変な仕事です。市民にとってもそれなりに犠牲を払って参加しています。このような手続きを取ったため多くの人が満足するものが出来たと思っています。

今後の維持管理を考えると、行政は市民の協力を得て行かなければなりません。今後、この進め方は評価されるものとなるでしょう。

空堀川「川まつり」今年も5月 27日(日)行われます。

今年も「川まつり」が行われます。今回は新たに完成した、浄水橋から西武多摩湖線下の馬頭橋まで区間を広げました。参加する自治会・町会も美住町のを重点に要請して行こう。また、河川に親しんでもらうための試みとしてフリーマーケットを出してみたら、という声もあり、実現の方向にうごいています。

私たちもこの「川まつり」の中核として最初から参加してきました。これから皆さんのご協力をお願いいたしますのでよろしくお願いいたします。

「空堀川の微生物」ビデオが 届きました。

山口昭俊氏(元小平ふれあい下水道館嘱託、自然観察指導員)の好意と努力によって作製した「空堀川の微生物」の顕微鏡撮影によるビデオが届きました。空堀川上流三地点の水中に棲む微生物(アメーバのような原生動物、珪藻、緑藻等)を電子顕微鏡で見ながら撮影した貴重な映像です。

これによって空堀川の水の中に棲む生物はほぼ解明しました。

この調査で水が流れている場所では微生物が少ないことも明らかになりました。

第 11 回水と緑の学習講座

市民団体（当会も最初から参加）と一般市民が自由に参加し、特定の議題をあげず時々の話題をテーマに取り上げ東村山市・みどりと公園課が事務局となつて月 1 回開いてきた「水と緑の市民懇談会」では、今年度最後の勉強会として「雨から考える水・緑・まち」という演題で水みち研究会の神谷 博氏を招いて「雨と緑との関わり、緑の働きに学ぶまちづくり」を一緒に考えよう。と講演会を企画しました。会員以外でも、どなたでも自由に参加できます。

日時：3月17日（土）午後1時30分
から4時まで

場所：ふるさと歴史館（定員 50 名）

資料代：100 円

問い合わせ：東村山市みどりと公園課
tel042-393-5111（代表）

東村山市第7中学校三年生の ボランティア活動を支援する。

第7中学校3年生の卒業前の社会体験に「空堀川の清掃」を選んだ生徒が出てきて、同校・長谷川教頭先生からの要請で3月9日（金）「空堀川の清掃」を行いました。

今までは卒業前の体験は主として、

福祉関係の施設で行われてきたそうですが今回 10 名の男子生徒の希望に応えるため、私たちも協力することになりました。活動前に「美住リサイクルショップ・夢ハウス」で、私たちが最初に行った「空堀川のクリーンアップ」のビデオと建設省・関東地方建設局が監修した、〈河川行政への市民参加〉紹介ビデオを見、循環型社会に向けてのゴミの問題について話し会いました。

それから川で分別収集の実際を行いました。集めたゴミは環境管理課保全係の協力でその日のうちに回収してもらいました。

いよいよ、「空堀川流域マップ」づくり作業に着手！

空堀川流域全体を一枚のマップに収める作業の打ち合わせをしました。

このマップづくりは当会の理事である「職業能力開発総合大学校東京校」渡邊先生の尽力で同校、産業デザイン科石川助教授が同科の生徒 20 名の卒業制作で「空堀川のマップづくり」に挑戦してくれることになりました。

マップづくりのコンセプトは

- ①目的によって使い分ける数種のパンを造る。
- ②書き換えが容易に出来るようにデータの電子化をはかる。
- ③一年間で制作する。
- ④当会は情報の提供と河川の説明文を担当することになりました。

◆これまでの経過◆

(2001. 1/1～3/4)

- ◎1月13日 定例会。中央公民館
- ◎1月16日 NPO制度改正の要請
民主党加藤公一が来る。
- ◎1月17日 「川口環境大臣と語る
タウンミーティング」参加。小林、渡
邊。イノホール。
- ◎2月2日 第三回柳瀬川・空堀川流
域連絡会開催。北・北建事務所。
- ◎2月5日 柳瀬川流域水循環市民懇
談会。東久留米市東部地域センター
- ◎2月10日 定例会。中央公民館
- ◎2月13日 東村山市立第7中学校
訪問、打ち合わせ。小林、福島。
- ◎2月18日 新河岸川フォーラム。清瀬市
民センター。小林、宮下参加。市内の小・
中学校からの参加が目立った。
- ◎2月20日 水循環を語る会。調布
たごと会館。小林、渡邊、友保参加。
- ◎2月22日 第四回柳瀬川・空堀川
流域連絡会。北・北建事務所。
- ◎2月23日 藤田先生講演会。ふる
さと歴史館。参加者約70名。
- ◎2月26日 第一回川まつり実行委
員会開催。市役所西庁舎。
- ◎3月4日 パソコン教室開催。職業
能力開発大学校。参加者11名。

新規入会者紹介 (敬称を略します)

内野元一(武蔵村山市)、窪田タカ(東大和市)、高井キク(相模原市)、内野アキ(武蔵村山市)、内野辰男(武蔵村山市)、安藤栄子(東村山市)、小川堯司(東村山市)。以上7名の方々です。よろしくお願ひします。

会員募集中

会員を募っています。自然環境の整備と豊かな地域づくりに関心のある方の参加を歓迎します。

会の目的

私たちの目的(定款に定めたもの)は、①環境の保全を目的とする活動。②街づくりの推進に関する活動。③子供の健全教育に関する活動。④社会教育の推進。この四つを目標として活動をしています。

会費

個人会員(賛助会員とも)

入会金(会員のみ) 2,000円

年会費 2,000円

法人・団体会員(賛助会員とも)

入会金 10,000円

年会費 10,000円

申込み先

東村山市美住町1-13-14 小林まで

TEL/FAX: 042-391-4003

会費振込み先

郵便振替 口座名: がたろう

口座番号 No. 00130-3-729803

第9回 クリーンアップ実施

恒例の空堀川のクリーンアップを次のように実施することに決まりました。

日時: 4月22日(日) 10時～

詳細は、追ってちらし・ポスター等でお知らせいたしますので、多数の方々のご参加を期待いたしております。

からぼり川

がたろう通信

第27号

2001年5月25日発行

特定非営利活動法人 空堀川に清流を取り戻す会

ホームページ : <http://homepage2.nifty.com/karabori/>

E-mail : K_hiroharu@nifty.com

発行責任者 : 小林寛治 TEL/FAX 042-391-4003 (東村山市美住町 1-13-14)



第三回 川まつり

5月27日(日)あいにくの小雨でしたが「第三回 川まつり」が行われました。前回どおり、市民・環境団体と行政とのパートナーシップで実行されました。今年はまつりの範囲を、改修工事の終わった馬頭橋まで広げました。西武鉄道のミニSL、ライオンズグッズの売店、その他フリーマーケット、模擬店などが出ました。当会では昨年同様たくさんの鯉のぼりを泳がせました。舟遊びの体験を通して河川に親しんでもらおうと考え、魚の放流のほかに関係先の協力を得て、ゴムボートを用意し、子供たちに遊んでもらいました。

空堀川の生き物たち

正路 妙子

春のクリーンアップのすんだ空堀川は、ナノハナ、カラスノエンドウ、ハナダイコン、クレソン、ヒナゲシ、シロツメクサなどの可憐な花々をあちこちに織り込んだ初々しい緑の絨毯を縫って流れていく風情があります。

ゴミを拾いながら、この叢にヘビが生息している（あるいは、いた）ことを今回はじめて確認しました。胴の直径が4センチメートルほど、ヤマカガシに似ていました。まるで、無造作に置かれた精巧な模様のひものよう。人の気配を察しているはずの距離なのに、動こうとはしませんでした。

ヘビはあまり近づきたくない生き物の一つです。ジュール・ルナールが「博物誌」の中での確に描写しているように、「長すぎる」せいかもしれません。手足がないがゆえの、あの這うという動作は、自分が安全地帯にいて観察できる場合には実に優美だとは思いますが、しかし、それ以上に、その生態をよく知らないことが恐怖心を煽り立てるせいではないかと思われます。

図鑑によれば、ヘビの毒は、エジキとなる小動物を殺すために、つまり、自分たちの食料を確保するために用いるのが本筋であって、防御のためというのは、二義的な意味しかもたないそうです。そもそも小動物をエサとしているヘビの毒は微量であり、ヘビは生得的に攻撃的であるわけではなく、邪魔されたり、挑発されたりしない限り、ヒトを噛むことはないようです。他方では、無毒ヘビとはいえ、ヤマカガシに噛まれると出血が止まらなくなったり、毒のような作用を起こしたりすることがあるようです。さらに、彼らには身を守るために、くびの皮膚の中に、真皮に埋もれた10～15対の有毒頸腺があり、強く押されると組織が破れて液を吹き出し、ヒトや動物の目などにつくと毒になる由。(クイーンズランド美術館：Wildlife of greater Brisbane, 講談社：学習大図鑑)

ともあれ、今後彼らの邪魔をしない(われわれが邪魔されない)ようにするためには、ヘビの生態をよく知った上で行動する必要があるようです。

ヘビがいることは、エサになるカエルその他の小動物、さらにそれらのエサとなる昆虫などがあることであり、空堀川が多様な生物の生息空間となりつつあることの証しであって、歓迎すべきことなのですから。

空堀川のヘビはヤマカガシではなく、アオダイショウだと思えます。 小林)

環 境 の 日

環境の日は国連環境デーにちなんで、平成5年に「環境基本法」に基づき制定されました。環境基本法第10条の規定では、「事業者及び国民の間に広く環境の保全についての関心を深めるとともに、積極的に環境の保全に関する活動を行う意欲を高めるため、環境の日を設ける。

2 環境の日は6月5日とする。

3 国及び地方公共団体は、環境の日の趣旨にふさわしい事業を実施するように努めなければならない」となっています。

それに則り、6月は環境月間、東村山市では3日から9日までを環境週間と定め、市役所1階ロビーにおいて例年の通りパネル展示、相談窓口を開催することになっています。また東京都では、この環境月間の行事の一つとして5日から14日まで都政ギャラリー（都議会議事堂1階：北側）にて「環境月間行事展示会」が開催されます。当会は、東村山市環境部を通して東京都環境局からの要請があり、この展示会に参加出展することになりました。

展示内容は、私たちの行ってきた「総合的な学習」の支援活動のパネルを展示しようと考えております。是非一度、都庁までお出掛け下さい。

* * * * *

第9回 空堀川クリーンアップが行われました。

4月22日（日）菜の花がきれいに咲く空堀川で、第9回目のクリーンアップを行いました。あいにく当日は、下堀自治会と青葉商店会の各総会が重なったので



ですが、40人以上の方が来て下さいました。特に上流部では今までにない盛り上がりで、下流部と同じくらいの参加者があり、大変成果が上がりました。皆さん、ご苦労様でした！ 反省点としては、春になって草の丈があまり伸びないうちに、もう少し早めに行ったほうがゴミが拾いやすいこと。4月の後半は町会・自治会の総会等が行われる時期であることなど、考えるべきことがありました。

第3回、第4回流域連絡会開かれる

小林 寛 治

久しぶりに流域連絡会が、第3回(2月2日)、第4回(2月22日)と続けて開かれ、ようやく実質的な討議へと移る仕組みが出来ました。

第4回では、地域ごとにいろいろな課題があるので、現在の流域連絡会の中に各市が事務局となった分科会をつくり、その他に全川共通のことについては専門部会を設けて話し合っに行こう、ということに決まりました。

分科会は20名程度で、座長・副座長は流域連絡会行政委員が担当、委員には公募委員、市民委員(自治会、商店会、企業代表、PTA等から選ぶという案が事務局から例として示された)、団体委員(連絡会委員)および市・関係課長、さらに必要に応じて議会関係者、他の行政機関、都の行政委員という構成になっています。専門部会も20名程度で構成し、座長・副座長は団体委員が、委員は公募委員と、流域から新たに募る公募委員と団体委員で構成し、必要に応じて専門委員として学識経験者を入れる、という構図を東京都から提案されました。

この構図によれば、河川に関連のある団体に属している会員は、市民委員として公募もしくは地域で選ばれる道はありますが、分科会に参加することは難しいことになるのかも知れません。

分科会も一般の市民の数が多くなると意見も多様になり、空堀川のあり方、また今まで都が調査・提言してきた(東京都水環境保全計画、東京河川ルネッサンス等)21世紀の望ましい河川のあり方等が活かされるかどうかの心配もあります。

機能的、合理性だけが河川改修に求められるようになると、清流の流れる生態系に配慮した「人が集まり、行き交う川」になるでしょうか。それぞれの地域の利便性だけが求められると、行政にとっても、後で手の掛からない管理に都合のいいものになる可能性が出てくるという懸念も出てきます。

新しい河川法のもとに、川づくりに市民が参加してどうしたらきれいな水が流れる、水量の豊富な川らしい川に出来るのか……(600t以上/日、昨年から減っている。)どうしたら臭い・汚い川を親しめるいい川にしていくか、そういう話し合いの場にして行きたいものです。

河道も当初の8倍程度にも広がり、治水上の安全性は格段に向上しました。しかし、絶対に溢水しないという保障はありません。流域に雨水が浸透しない地域が広がっているのです。今、道路は第二の河川になりつつあります。

新しい河川法のもとに立ち上がった流域連絡会では、流域の水循環を旧河道を含めて考えていきたいものです。

ホームページを新たに作りました。

私たちの会「空堀川に清流を取り戻す会」の活動を、より多くの方々に知っていただき、かつ理解していただくためにホームページを作りました。

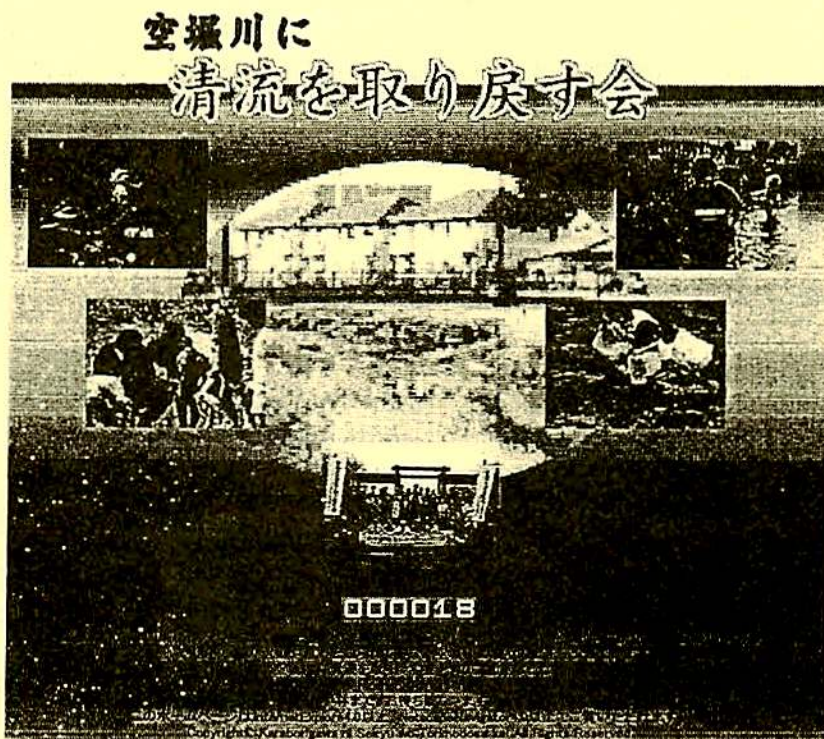
これからの「総合学習」には水辺環境が特に重要と考え、子供たちの学習の参考になればと考え、小学生のページも設けました。最近撮った航空写真も入れました。開発の進んだ空堀川の流域を見てください。

皆さん、どうぞアクセスしてみてください。そして、お気づきの点ご意見お寄せください。 ホームページのアドレスは

<http://homepage2.nifty.com/karaborigawa/>

環境事業団、環境庁など広く公的機関や民間団体のホームページとリンクして空堀川を全国発信していきたいと考えています。

表紙は次の通りです。



がたろう豆辞典(8)

宮下博文

一せー

静水圧：止まっている水の中では、相対的なずれ運動がないので、摩擦力が働かず、内部でどのような面を考えてもその面に沿った成分をもつ力は作用しない。また、表面を除いては引張力に抵抗できないので、静止している水の内部に働く力は圧力だけである。これを静水圧または単に水圧と言う。

一そー

総 芝：堤防のり面には、通常芝を植え付ける、これを芝付けと言い、もっとも簡単かつ自然的なり面保護工である。芝付けには、張り芝（はりしば）、総芝（そうしば）、筋芝（すじしば）、市松芝（いちまつしば）、碁目張り（ごもくはり）、耳芝（みみしば）等の種類がある。

相対式ホーム：停車場（駅）の乗降場の一つで、上下電車の走る線路の両側に二つのホームを設けられたホーム。もう一つが、島式ホームであり、清瀬駅、八坂駅等がある。相対式ホームでは、新秋津駅、久米川駅等がある。

一たー

対流性降雨：地上の空気が局地的に熱せられて生じる滞留によって降る雨を言う。

蛇 行：河川の流路が左右に曲がりくねって流れる現象を蛇行と言う。

立てかご：護岸の法覆工に用いる蛇かごの並べ方には、腹かごといいてのり面に水平方向にのり覆いするものと、縦方向にのり覆いする立てかごの2種類ある。

ダ ム：発電、洪水調節、上下道、工業用水など、利水あるいは治水のための貯水池を作るための構造物（砂防ダムを除く）。例：黒部ダム等。

いたづらか？

4月2日11時頃、東大和市内野火止用水のホテルを養殖している場所でドジョウやアメリカザリガニが死んでいるのを市民が見つけ、東大和市役所に通報しました。多摩環境事務所が現地でも水質を調査したところpH7.0で通常でしたが、CODが20と高かった。有害物なら事件性があるということで、市が採水した水は証拠として保管するように警察から言われ、そのまま分析は行わなかったようです。いずれにしても誰かが行った迷惑なはなしです。

インフォメーション

助成金を受けました。

13年度、次の助成を受けました。
日本財団 28万円、事業名：「環境教育に係る中学生を主体とした河川調査の実施」、中央労金 12万円、事業名：「環境教育にかかる記録用ビデオの整備。」
有効に使わせていただきます。

財団法人トトロのふるさと財団から報告書をいただきました。

「里山におけるエコミュージアムの実現に関する調査研究報告書」(part II) 一里山を核とした地域づくりに向けて—日本財団の助成を受けたA4判、174ページの労作です。

関心のある方は小林まで連絡ください。

水質一斉調査は6月10日に。

例年の通り、新河岸川水系水質一斉調査が今年は6月10日(日)に行われることになりました。東村山下流域は今年も東村山市立第三中学校科学部の生徒が木村先生の指導で担当してくれることになりました。市内上流部は当会が行います。

正路妙子さんの翻訳本『「正常さ」という病い』が発売される。

「がたろう通信」でおなじみの正路妙子さんがドイツ語から翻訳された本が販売されています。

タイトル：『「正常さ」という病い』

著者：アルノ・グリューン

*訳者：馬場謙一、正路妙子

発行所：青土社

定価：2600円

・訳者のコメント

現代の典型的な病は『正常さ』の仮面を被っている狂気である。

アルノ・グリューンは精神分析理論と豊富な臨床経験に基づいて、その病いの根源を探り、その克服法を提示する。

「川に親しむための基礎講座」開催される。

5月12日(土)美住リサイクルショップ(夢ハウス)において、環境管理財団・川に学ぶ体験活動協議会と共催で「川に親しむための基礎講座」を開催しました。この地域では初めての試みでした。東村山市・教育委員会の後援を受け、先生方と環境教育関係者多数が参加され「川での安全指導」には大きな関心を受けました。受講された方々には体験学習協議会から講座受講終了証が交付されます。

第2回定期総会のお知らせ

6月9日(土)NPO法人[空堀川に清流を取り戻す会]の総会をAM10時から東村山中央公民館第四集会所で開きます。総会で話合われることは概略次のようなことです。

1. 今まで1年間の活動の経過を報告します。次いでこれから1年間の活動予定を話し合いと考えています。
2. これから1年間役員をやっていただく人を決めていただきます。1年間の収支、これからの予算も話し合ってください。お気軽にご出席下さい。往復はがきを出しますので、ご都合のつかない方は委任状をお願いします。

◆これまでの経過◆

(2001. 3/5～5/27)

- ◎3月9日 七中生、ボランティア活動支援。3年生9名による空堀川での清掃活動。会から3名参加。
- ◎3月10日 AM定例会、東村山中央公民館。PM理事会。
- ◎3月11日 パソコン教室開催。職業能力開発総合大学校。参加11名。
- ◎3月13日 川まつり実行委員会、フリーマーケット予定地下見。
- ◎3月15日 川まつり実行委員会。
- ◎3月17日 水と緑の市民懇談会主催「市民講座」ふるさと歴史館。
- ◎3月22日 柳瀬川川づくり市民懇談会。野塩市民センター。
- ◎3月28日 川まつり実行委員会。
- ◎4月5日 日本財団春の交流会。会長・曾野綾子氏講演会。ホテル海洋。
- ◎4月9・23日 川まつり実行委員会。
- ◎4月13日 東村山都市整備部大野部長とNPOの事業について話し合う。次回は連休明けに具体的話をすることに合意。
- ◎4月29日 緑の祭典。パネル展。
- ◎5月12日 AM定例会。中央公民館。
- ◎5月12日 PM「川に親しむための基礎講座」開催。夢ハウス。

6月10日(日)新河岸川水系の水質一斉調査が全流域で行われます。

今回は、野火止用水を東村山市立第一中学校が(霜鳥先生指導)、空堀川の久米川から野塩橋までを第三中学校科学部(木村先生指導)が調査します。上流部は当会が担当いたします。関心のある方は一緒にやりましょう。

会員募集中

会員を募っています。自然環境の保全と豊かな地域づくりに関心のある方の参加を歓迎します。

会の目的

私たちの目的(定款に定めたもの)は、①環境の保全を目的とする活動。②街づくりの推進に関する活動。③子供の健全教育に関する活動。④社会教育の推進。この四つを目標として活動をしています。

会費

個人会員(賛助会員とも)

入会金(会員のみ) 2,000円

年会費 2,000円

法人・団体会員(賛助会員とも)

入会金 10,000円

年会費 10,000円

申込み先

東村山市美住町1-13-14 小林まで

TEL/FAX: 042-391-4003

会費振込み先

郵便振替 口座名: がたろう

口座番号 No. 00130-3-729803

新規入会者紹介(敬称を略します)

清水君子(東大和市) 森泉千鶴子(東村山市) 以上2名の方が会員となりました。よろしくお願ひします。

からぼり川

がたろう通信

第 28 号

2001 年 7 月 25 日発行

特定非営利活動法人 空堀川に清流を取り戻す会

ホームページ : <http://homepage2.nifty.com/karaborigawa/>

E-mail : K_hiroharu@nifty.com

発行責任者 : 小林寛治 TEL/FAX 042-391-4003 (東村山市美住町 1-13-14)



空堀川の流量調査を行う

7月8日(日)、水枯れのため合流点までとどいていない空堀川の水は今どのくらい流れているのかを調べて見ました。

この調査は(財)日本財団の支援を受けて行う調査活動の一環でした。東村山市立第三中学校生徒、自然科学部木村先生とOBを含めた16名、当会 宮下さんの測定方法のマニュアルと実地指導、東京都環境科学研究所 大野主任研究員の指導を受け、河川断面の測り方、流速計の使い方を勉強しました。

暑い中、9時から午後3時半まで、全員バテテしまいました。

摂氏 37.3 度

正 路 妙 子

午後3時。居間の東がわの片隅においた液晶の温度計の数値は、37.3℃。灼熱の世界に更に熱風をはきだすという罪深い行為、この悪循環を断ち切れることを、みずからに証明してみたくて、今日は冷房なしで耐え抜く決心をしています。

そんな状態で、欧州のゴミ処理についての本を読みながらパソコンに向かっていましたら、怒り心頭に発して、少々ラディカルになってしまいました。

ヨーロッパでうまく機能していながら、日本に導入されていないシステムに、飲料容器のデポジット制があります。「缶は環境によくない、プラスチックボトルはなお悪い」という考えが一般的にいわたっている北ヨーロッパの国々では、飲料容器は再利用可能なガラスビンの使用が基本となっています。

デンマークでは、缶ビール、缶ジュースは禁止されています。

スウェーデン、ドイツには缶ビール、缶ジュースは一部に存在しますが、デポジット制になっているので、容器が自治体の処理対象になることはありません。

ドイツでは、ガラスビンの使用の比率が法律によって決められていますし、プラスチックボトルも洗って再利用される頑丈なものになっています。これらの容器を店に返却すると、ビン代が戻ってきます。プラスチックボトルのデポジット料金は高めに設定されています。ゴミにされてしまうと、環境に大きな負荷を与えるからなのです。

東村山市のように飲料容器の回収を自治体が行っている場合には、缶飲料、プラスチックボトル飲料などは買わない市民——ゴミになるものをできるだけ買わないようにしている市民——も、その費用を負担させられていることとなります。

デポジット制を導入し、しかも料金を高めに設定する——これによって税金の無駄遣いをやめることができます。ボランティアで空き缶拾いをする人も報われることでしょう。もっとも、空き缶拾いをする必要すらなくなって、日本全国きれいになるに違いありません。

デポジット制に反対するのは、それをしないことによって甘い汁を吸っているメーカー、流通業者、そして一部の消費者です。みずからの責任を回避している彼らに、もの言わぬ善良な市民は、請求書を送り届けなくてはならないでしょう。

(参考文献、荻原弘子：突撃 ゴミ取材—ゴミから日本が見えてきた—、日報)

オリンピックなみの認定NPO

福島 淑行

6月25日に私たちNPO法人が待望していた寄付金に対する税制上の特例措置についての説明会が、東京都市民活動促進課と内閣国民生活局の合同で行われました。小林理事長と共に出席し、その内容を聞いて愕然としてしまった。それはあまりにも厳しい要件が次々と説明されたからである。

まず、その資格を取得するためには現在のNPO法人が「認定NPO法人」として認められなくてはならないこと。その要件の主なものを下記に記します。

- ① 申請書類の中で寄付金を充当する予定の具体的な事業の内容を記載する。
- ② 受け入れ寄付金総額が総収入の三分の一以上であること。ただし、その受け入れ金額は一人一年間に3000円以下のものは含まない。また、役員及び社員の寄付金は含まない。
- ③ 下記のことは80%以下であること。ただし、どれか一つの条件を満たせばよい。
 - a. 同一市町村内からの法人、個人の寄付金
 - b. 同一市町村内で行った特定非営利活動が全体について
 - c. 資産の譲渡等直接受けた者のうち同一市町村内の者が全体の
- ④ 会員等の相互の交流、連絡、意見交換などの事業活動が全体の事業活動の50%以下であること。
- ⑤ その便益が及ぶ者が特定の範囲である活動が全体の50%以下であること。
- ⑥ 特定の著作物または特定の者に関する普及啓発、広告宣伝、調査研究、情報提供が全体の事業の50%以下であること。
- ⑦ 会計については公認会計士の監査を受けていること。または帳簿書類の備え付け記録および保存の状況が一定の基準を満たしていること。(特殊法人同様)
- ⑧ 総事業費のうち特定非営利活動に係わる事業費の占める割合が80%以上であること。(管理費は含まない)

他にも細かい要件が付されているが、上記の要件を満たすだけでもオリンピックなみだという声に参加者の中から出ていたように、大変厳しいものであった。

なお、認定の有効期間は2年間であり、その間に要件を満たさないことがあった場合には以後2年間は認定申請がは出来ない。

この租税特別措置法は10月1日よりスタートいたしますが、残念ながら当会の現状では皆様のご期待に添うことは大変難しく感じております。

東村山市「環境基本条例策定協議会」が発足

小林 寛 治

東村山市は環境行政の基本となる市・環境基本条例を14年3月に制定するため、「環境基本条例策定協議会」が発足しました。委員は15名で構成は学識経験者2名、事業者2名、農業関係者1名、環境関係団体関係者4名、公募市民3名、東村山市廃棄物減量等推進審議会代表者1名、東村山緑を守る市民協議会代表者1名、東京都職員1名で構成されています。会長に学識経験者から下田博之東京農工大名誉教授、副会長に公募市民から光永靖子の両氏が事務局からの提案により選ばれました。私は環境団体関係者として選ばれました。

ご存知のように、環境基本法は平成5年に制定され、国の憲法と法律をつなぐプログラム規定として環境行政の理念が定められています。この法律により地方公共団体は地域において国に準じた施策の策定を行わなければならなくなりました。「(地方公共団体に責務)第7条 地方公共団体は、基本理念にのっとり、環境の保全に関し、国の施策に準じた施策及びその他の地方公共団体の区域の自然的社会的条件に応じた施策を策定し、及び実施する責任を有する。」

東京都も平成6年7月に東京都環境基本条例を制定し同日施行しています。東村山市も今回、環境基本条例を策定することになりました。ついで、具体的かつ総合的な環境基本法実施計画が策定されることとなります。

この条例にはこれからの市の環境行政のあり方、基本となる理念を定めていきます。それには東村山市の環境が現在どうなっているのか、問題点はどこにあるのか等、地球的な状況・地域の将来を見据えたものにしていかなければなりません。東京都の条例の前文にあるように、市の歴史的・地域的特性を生かし、自然環境を保全し、健康で安全な生活を営む権利を将来の世代に引き継ぐ努力をしていく、そういう仕組みを条例の中にうたっていく必要があると考えています。

具体的には前文で理念を掲げ、環境実施計画策定にあたっては市民・事業者の意見が反映する仕組み、環境審議会の設置、市民の環境活動の支援、環境学習への財政措置、各年度の環境報告書の作成・公開、見直し等を規定したものにしたと思っています。

私たちの会は環境保全を定款の目的に掲げ活動をしています。この条例については多くの方が関心とご意見をお持ちと思います。より良いものにするため、ご意見をお寄せください。また、各地の情報・条例を集めていただければ幸いです。

条例のタイトルも、例えば「東村山市の環境を守り育てる条例」だっていいのではないかと考えています。

第 2 回 定期総会開催

さきにご案内しましたように、6月9日（土）NPOになって2回目の総会が東村山中央公民館第四集会室で開催されました。

当日の出席者は16名、委任状出席者51名、計67名で、過半数を超える出席があり総会として成立しました。

田中副理事長の開会の挨拶に続いて山本慎一氏を議長に選び、書記に加藤敏子氏、議事録署名人に北沢清氏・高橋朝子氏にお願いし、議事順序に従って事務局長の福島淑行氏から一年間の経過報告・収支報告があり、会計監査の正路妙子氏から適正である旨の報告がありました。

続いて、小林理事長から13年度の活動計画、それに伴う収支予算の説明があり、討議の結果、原案通り承認されました。

経過報告ならびに事業計画・収支予算等は会員の皆様に送付した通りであります。ついで、役員任期満了のため改選の結果、次のように決まりました。

理事：小林寛治、渡辺勇、福島淑行、宮下博文、有川栄子、友保邦弘、加藤敏子

監事：正路妙子、斉藤隆

前任理事の田中開、監事の今井貞一の両氏は退任いたしました。ご苦労様でした。



新河岸川水系一斉水質調査の結果

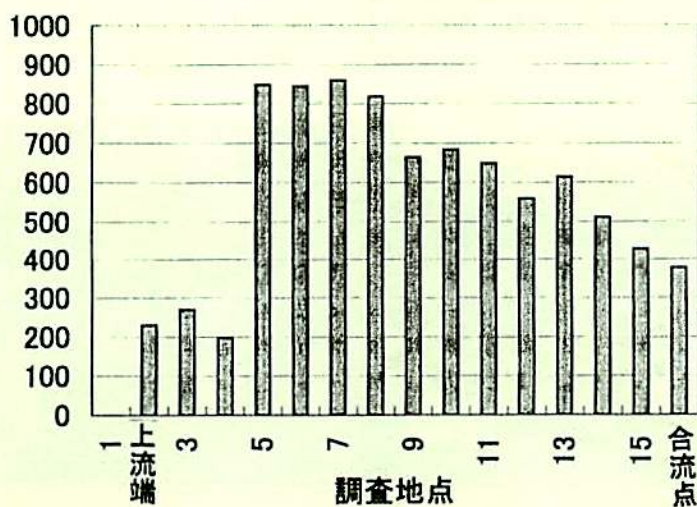
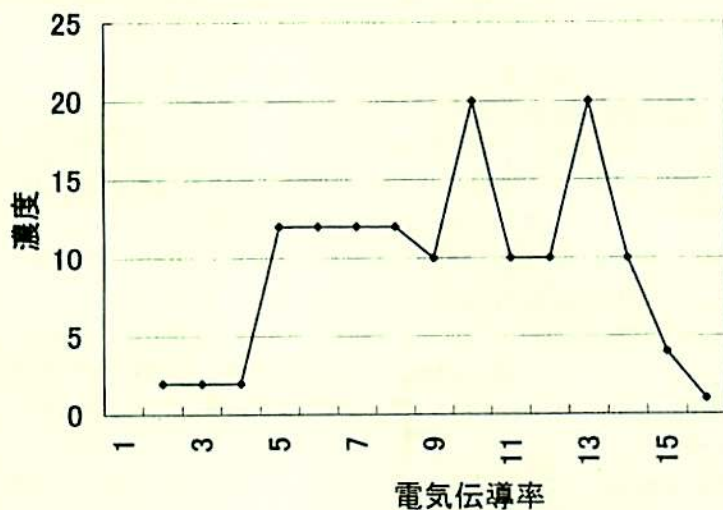
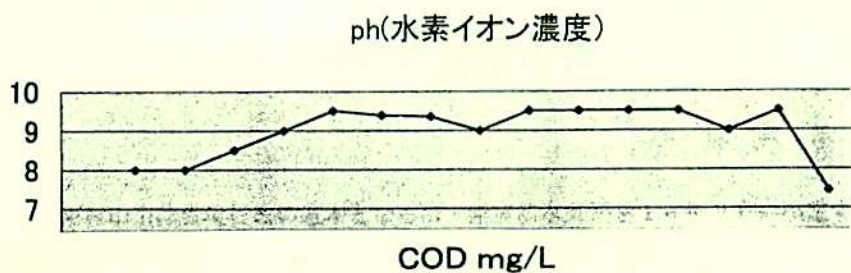
6月10日(日)、私たちは東村山市立三中の自然科学部の木村先生他生徒、女子3、男子7の10名と一緒に空堀川中流域から下流の柳瀬川との合流点まで水質の調査を行いました。

会としては前日の土曜日午後から東大和市内高木橋～浄水橋までを調査しました。上流部は「武蔵村山市環境を考える会」藤沢さんから10日のデータをいただきました。

空堀川の全区間を通して水質のデータが明らかになったのは今回が初めてです。その結果はつぎの通りです。

- ① 空堀川の水量は少なく、野行橋から先の流れは止まっていた。
- ② 水質が悪くなるのは東大和市内から東村山市内である。(電気伝導率)
- ③ パックテストで測ったCODも東村山市内が高かった。
- ④ pH(水素イオン濃度)も同様に源流部、下流部の一部を除いて環境基準を上回っていた。





八坂小学校の体験学習

6月18日(月)東村山市立八坂小学校からの依頼を受けて総合的な学習の時間“空堀川の謎にせまろう”授業の協力、支援を行いました。

学習内容は、空堀川を通して子供たちが生き物や環境問題の課題発見や気づきを持つように支援して欲しいとのことでした。

からぼり広場前の空堀川に八坂小学校5年生、1組から4組男女126名が参加しました。

私たちにとっては子供たちの“気づき”を大切にすることは、何もしなくていいというようにも受け取れましたし、進んで助言を行うことはひかえました。全員で安全確認には十分注意をはらいました。

学校側では当日のスケジュールを作っていたようで、私たちとは前もっての打ち合わせはせずに、初めから全員川に入って体験から学習しました。

その後、学校からの連絡では○アメンボ、ドジョウ、キンギョ、ヒルなど多くの生き物がいた。○植物がいっぱいあった。○ゴミがいつもより少なかった。○地域の人が川を一生懸命きれいにしようとしてすごいなと思った。○以前の空堀川はどんどころだったか調べて見たい。○川の上流から下流まで行ってみたい。○空堀川の歴史を調べてみたい。等々の感想が、体験した子供たちから寄せられたそうです。

事前に空堀川の調査を行っていたようで「…らしい」が個人的な課題となったと、先生のコメントがありました。

当会からは小林、田中、福島、斎藤、加藤の五名が参加しました。



空堀川 初めての流量測定

宮下博文

7月8日(日)梅雨の中休みに、空堀川の流量測定を行いました。当日の天気は快晴。当地方は二日前は小雨がパラツキ程度、前日も快晴に恵まれ測定作業には好条件でした。

事前調査を小林理事長と行い、浄水橋上流から空堀川と西武池袋線交差部で下見をし、四箇所の候補地を絞りました。当日は第一、第二現場の測定結果が良好だったためと、第三、第四現場が濁水のため測定不可能と認め断念しました。

流量測定に参加くださった方は、東京都環境科学研究所の大野さん、東村山三中の木村先生と生徒12名、当会から小林、宮下、斉藤が参加しました。

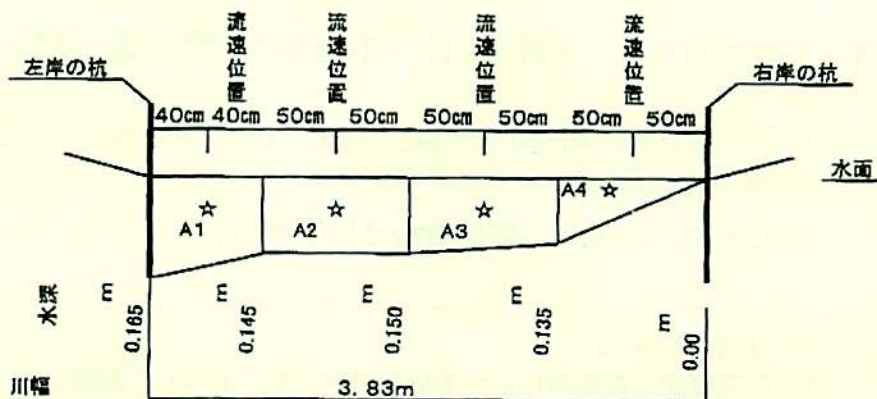
当日は9時に久米川駅南口に集合して第一現場の空堀川広場で測定の説明を行い河原に降りました。

- 作業の順序は
- ① 準備作業
 - ② 川の流水面積の測定及び流量面積の計算
 - ③ 流速の測定方法の実習と流量計算

以上の順番で当日測定した値等を説明します。

- ① 準備作業 長さ15mの結びのない紐に1mごとにマジックインキで記しをつけ、5mごとに黄色い紐を結びつけ紐尺を作り準備をした。
- ② 川の流れに直角に兩岸に一本ずつ杭を打ち込み杭間に紐尺を張った。
- ③ 右岸より1mごとに水深を測り記録した。

上記作業にて下記のような流水断面を得ました。



測定の結果 第一現場は48L/秒、第二現場は44L/秒でした。

空堀川の水はどこへ行く

隅田川から東京湾のクルーズ へのお誘い

10月24日(水) 両国から隅田川・レインボブリッジを経て東京湾から川筋を見学するツアーを計画しました。

50名を限り参加者を募ります。参加希望者多数の場合は抽選させていただきます。お弁当ご持参ください。会員以外の方も歓迎します。

◎9時20分両国駅改札口集合。午後1時頃 現地解散予定。

駅前に東京江戸博物館があります。時間のある方は見学をお勧めします。

申し込み先

042—391—4003 小林寛治 又は
042—391—6575 有川栄子 まで

申し込み締め切り 9月20日(木曜日)、参加費 無料

(お断り、当日は9時40分の団体船を予定していますが、都合によっては一般の人と一緒にになるかも知れません。)

詳しくは、上記にお問い合わせは下さい。

☆ お知らせ ☆

8月の定例会はお休みにさせていただきます。よろしくお願いたします。暑さ厳しい折からお体をご自愛下さい。なお、9月の定例会は9月8日(土)行います。

がたろう豆辞典(9)

宮下博文

—ち—

地下水：地表に落ちた雨水の一部が、いったん土壌の隙間に浸透し、水を透さない層に当たるとその上に溜まる水をいいます。地下水面の上部にも水分はあるが、隙間が小さいと毛管水となって地表に上がっていく。植物の根が吸収する水分は主に毛管水である。

自噴水は、被圧地下水が透水部を通り自噴水形で地表に湧き出るのである。泉などの湧き水は、自由地下水として水圧が少ない層から出るものもあり、どこの地域に降った雨水か不明な泉等がある。

いずれにしても、わが国の地下水は、不純物が少ない良質な地下水である。

地形性降雨：水蒸気を大量に含む気流が山脈あるいは山地を越えた時、その風上側に上昇気流によって降る雨。

地滑り：土地の一部が徐々に下方に移動する現象をいう。わが国では多くの場合、地下に軟弱粘土がある場所で、その上にある土の層がその現象を起こす。

地図を見て地滑りの記号のある場所は、過去に多くの地滑りが起こった所であるから、今後も集中豪雨、台風、梅雨時等には起こりやすい場所と考えなければならない。

調整池：以前は、水力発電所等の水量調節に用いられた調整池であるが、最近宅地造成が進み、その造成範囲に降った雨水を同時に河川に放水せずに、河川の流水可能時まで貯水し、徐々に放水する池等をいう。

沈下橋：手摺り・高欄等が無く歩道部とそれを支える基礎（支柱及び支柱壁）で構成されたコンクリート橋をいう。四国の四万十川に見られ、洪水時には水位が橋より上がり、水が橋の上部を流れる。つまり橋が沈下した状態になることから沈下橋と呼ばれる。なお、手摺り・高欄は洪水時流木等で橋が転倒する可能性があるから取り付けない。

—つ—

つり橋：支承条件による分類において、張り渡したケーブル、または鎖に橋体を吊るした構造をもつ橋。瀬戸大橋は日本の代表的なつり橋である。

—て—

天井川：河川の運搬した砂礫及び土砂が堤防の間を埋めて、河床が周囲の平野面より一段と高くなった、つまり天井川はその道路面より高い位置を流れている。

◆これまでの経過◆

(2001. 5/28～7/20)

- ◎5月20日 青葉商店会30周年祝賀会式典。小林参加。
- ◎5月27日 空堀川「川まつり」
- ◎6月2日 「空堀川の水辺探検」美住リトリック「夢ハウス」主催。小林 講師として参加。
- ◎6月3日 「みどりの楽校」開設。午前・北山小学校で入校式。その後学習を行う。午後・北川で生物調査を行う。小林・神宮参加。
- ◎6月5日 東京都環境展へ出展のためポスター搬入。都議会ホール。
- ◎6月9日 第2回NPO法人空堀川に清流を取り戻す会 総会開催。東村山中央公民館・第四集会室。
午後 水質調査。高木橋下～浄水橋下。
- ◎6月10日 新河岸川水系一斉水質調査。小林、三中生と下流域を調査。
- ◎6月11日 「環境問題を考える都民の集い」環境賞受賞者表彰式および講演会。渡辺、小林参加。
- ◎6月13日 「ヤゴの救出作戦」反省会 東京都環境学習センター。
- ◎6月15日 環境展出展ポスター 搬出。
- ◎6月16日 市立一中生徒5名、霜島先生と共に野火止用水の水質調査。
- ◎6月18日 八坂小学校。空堀川での体験学習支援。生徒126名。
- ◎6月25日 東京都へNPOの事業報告書提出。NPOに対する税制特例措置の説明会。福島、小林参加。
- ◎6月27日 大袋小学校3、4年生に対し空堀川の生き物、水質、清掃活動等について話をする。福島、小林参加。

◎6月29日 環境基本条例策定協議会初会合。市民センター。

◎7月2日 久米川東小三年生に「空堀川の生き物」の話をする。70名。

会員募集中

会員を募っています。自然環境の整備と豊かな地域づくりに関心のある方の参加を歓迎します。

会の目的

私たちの目的(定款に定めたもの)は、
①環境の保全を目的とする活動。②街づくりの推進に関する活動。③子供の健全教育に関する活動。④社会教育の推進。この四つを目標として活動をしています。

会 費

個人会員(賛助会員とも)

入会金 2,000円

年会費 2,000円

法人・団体会員(賛助会員とも)

入会金 10,000円

年会費 10,000円

申込み先

東村山市美住町1-13-14 小林まで

TEL/FAX: 042-391-4003

会費振込み先

郵便振替 口座名: がたろう

口座番号 No. 00130-3-729803

読売新聞社主催第11回「地球にやさしい作文・活動報告コンテスト」の募集をセブン・イレブンみどりの基金委員会が行っています。当会にも応募要綱が送られてきました。詳しいことは小林まで問い合わせください。

からぼり川

がたろう通信

第 29 号

2001 年 9 月 28 日発行

特定非営利活動法人 空堀川に清流を取り戻す会

ホームページ : <http://homepage2.nifty.com/karaborigawa/>

E-mail : K_hiroharu@nifty.com

発行責任者 : 小林寛治 TEL/FAX 042-391-4003 (東村山市美住町 1-13-14)

野火止小学校の水辺の体験学習

9 月 26 日 (水)、
 天気が悪くのびのび
 になっていた空堀川
 での学習がようやく
 行われました。場所
 は学校から一番近く、
 手洗所のある“下堀
 橋お祭り広場”を選
 びました。

生徒は 4 年生の
 男女、水質調査・



川の生き物調査グループ 11
 名の予定でしたが、当日参加
 したのは 8 名でした。事前に
 1 時間、水・魚や底生動物に
 ついての話をしたため実習
 は短い時間でしたが、効果あ
 る学習が出来ました。

生徒からは「面白かった」
 「またやりたい」という感想
 がきかれました。

鳥の巣立ち

正路 妙子

秋の気配の濃くなったある朝、居間の窓から、ヒヨドリがナンテンの枝に飛び降りたのが見えました。続いてさらに1羽。そこにハトが舞い降りて、ひっきりなしに周囲を見回しています。突然思い出したことがありました。一ヶ月ほどまえに、巣づくりに懸命になっていたハトをみかけたことを。濡れた茶色の羽毛のせいで私がヒヨドリと思い込んでいたのは、実はたった今巣立ったばかりのハトのヒナたちでした。親ハトは場所を変えながら、少し離れたところから2羽を観察しています。しばらくすると、1羽のヒナが思い切って飛び立ち、2メートルほど離れたクーラーの室外機の上に降りました。もう1羽の親鳥もやってきて、それぞれが給餌をしているのでしょ、ヒナとくちばしとくちばしを合わせて首を激しく上下させ、ヒナは広げた翼で親鳥の肩をたたく動作をしています。やがて親鳥が立ち去ると、ヒナたちはそれぞれの場所で身動きもしなくなりました。

半日留守にして夕方帰宅すると、2羽のヒナは肩を寄せ合うようにして、クーラーの室外機の上から下界を見下ろしていました。飛び立つ決心がつかないのだろうか？と思っていると、親鳥がようすを見に訪れて、電線の上から見守っています。その間に1羽はグレープフルーツの木に、もう1羽はビワの木に飛び移りました。竹に囲まれた、近くのモモの木の枝に、小枝を組んだ巣がのっていました。

鳥の巣成ちは、はたで見ている人間にとっても厳肅なひとつのドラマです。

4年前に、アイスランドの南端、ヴィークの断崖の上で、パフィン（ニシツノメドリ）を観察したことがありました。ハトくらいの大きさの鳥で、くちばしと足、そして目のまわりは鮮やかな朱色、顔から腹までは白、背中と首のまわりは黒という、おしゃれた燕尾服姿です。海にもぐって採った小魚を、何匹もくちばしに挟んでは断崖のはしに降り立ち、しばらく佇んで偵察したのちに、叢（くさむら）に掘った巣に運んでいきます。近くのヴェストマンナエイヤル諸島では、そのパフィンのヒナが、夜巣立つときに海とまちがえて町に向かってしまい、一晩に何百羽も保護されるという現象が毎夏起きるといのです。ひょっとしたら、海から反射する星明りと見まちがえて、町の明かりを目指してしまうのではないかとわれています。ヴェストマンナエイヤル諸島では、島の子供たちが迷い込んだヒナたちを箱の中で一晩保護し、翌朝大西洋の海原に放つのだそうです。我が家のヒナたちは翌朝には巣に戻っていました。慎重に巣立つときを選ぶつものようです。

(財)日本科学協会からの支援決定

2002年から全国の小・中・高校で取り組まれる「総合的な学習の時間」に向けて、私たちが今まで行ってきた「水辺の体験学習」の成果を参考事例の一つとして公表してみないかというお誘いを受けました。平成13年の新規事業として(財)日本科学協会が実施する「水域環境をめぐる学習活動等の成果公表支援」事業の一環です。早速応募したところ、全国の応募の中から6つの団体がノミネートされました。去る9月18日、日本科学協会で浜田隆士理事長の面談を受けて、支援されることに決定しました。東京からは私たちの会だけでした。

浜田理事長が望んでおられるのは、「ITやインターネット、バーチャルの世界でいくら生物の勉強し、生き物を捕まえ、触ることによって自分の体で感じる経験がなければ、どうして豊かな感情や命の大切さが分かる子供たちに育っていくのだろうか。私たちはそういう子供たちを渚や水辺で生き物と遊び学ぶことの大切さを伝えたい。そのためにも、協会の手足となって活動の状態を公表発表してもらいたい」、ということでした。

私たちが考えている水域環境をめぐる学習活動の成果公表の概略は次のようなものであります。

◎2002年からの「総合的な学習の時間」(以下総合学習といいます。)に取り組むときの先生方の参考にすることが出来ないか、現在多くの先生方が戸惑いを感じている総合学習に何らかの手がかりにならないか、今までの体験を含め川を使った事例を集めて「事例集」を作り参加者に配布する。

◎総合学習に向けて、支援者側の問題点、学校側の問題点等を洗い出し、楽しい学習になるように提言していきたい。

◎来年1月、発表の場を1日借りて、午前の部を総合学習の体験発表の場とし、午後の部を「総合学習」とはどんな学習か、できれば文部科学省の専門官を招いた基調講演。続いて講演者と現場の先生、国土交通省から河川環境の担当官、教育委員会、当会からの代表でパネル・ディスカッション。その他質疑応答を考えて企画を提案したものです。

これから実行に移していく作業は困難が予想されます。いろいろ事例を集めたものは出てきていますが、支援者・学校側の課題を提起してるものはありません。多くの手が必要で、是非お手伝いください。

応募で選ばれた6団体は次の通りです。

- ・ 杵築なぎさの研究会 (大分県) ・ 水辺に遊ぶ会 (大分県)
- ・ 南伊豆海洋生物研究会 (静岡県) ・ サーフライダー・ファンデーションジャパン (神奈川県)
- ・ 三保水中生物研究会 (静岡県) ・ 空堀川に清流を取り戻す会 (東京都)

空堀川は水無川でいいのか

都市計画決定によって改修工事が行われている空堀川の水が下流まで届かず、瀬切れ・断流がしばしば現れるようになりました。このような傾向は一昨年10月に初めて現れ、昨年は8月に、そして今年は6月初めに流れは止まりました。8月8日には一部区間では広い砂利道が出現し、バイクや犬の散歩道になってしまったほどです。柳瀬川との合流点もこの日から台風11号の襲来する22日まで、一滴の水も上流から届かなくなっていました。

水を奪われ、たくさんの生き物の命が失われてしまいました。こんな事態を放置しておいていいのでしょうか。21世紀は環境の世紀といわれ、20世紀中に多くの生き物の生息環境を破壊し、存続の基盤を奪ってきた人間主体のあり方が反省されてきています。人間もたくさんの生き物の一種であり共に生かされているそして支えあって生きている、ということに気づいてきたからです。

1990年から、河川工事にも多自然型の川づくりを取り入れるように建設省の通達が出されました。1997年河川法が改正され、生き物にやさしい河川環境の整備を法律の柱に加えました。しかし、空堀川の河川工事は未だに治水一本やりの工事が続いています。

全長15kmの河道を広げ大きな川に改修する工事に、環境調査を行っているのでしょうか？空堀川は名前が表わしているように、流水がいたるところで地下に浸透し普段は空っぽの川であったことは歴史的にも明らかです。現在の河川工事は一時間雨量50mmに対応する工事ですが、50mmの河道の下に80mmに対応する河道が施行されています。河道内の土砂は洪水によって次第に流され、やがて80mmの雨量に対応できる川になるように土砂移動が容易につくられています。これでは、瀬や水の溜まる淵は出来ません。流水も三面張りの河川に比べ遙かに浸透しやすくなっています。

年々、空堀川の流量は減っています。流域が水洗化され、4月現在流域全体の下水道接続率は95.1%になりました。これでは、現在の流れは東村山市内で消えてしまうことは明らかです。

流域の各市は、都が管理している河川だと言わず流域の問題として真剣に流量の確保・回復に取り組み、緑地保全地域の増加指定、雨水浸透マスの設置促進、駐車場等の雨水浸透の条例化、学校等公共施設の緑化、市内事業所の緑化促進、JR武蔵野線の構内湧水の空堀川への注入、更に現在湧水が見られる地域の保全対策等出来ることから速やかに実行に移すことを切望します。

21世紀の川づくりに「水無川」は誰も望んでいません。 (文責 小林寛治)

環境基本条例策定協議会から

小林 寛 治

第3回に続いて第4回目の策定委員会は9月20日に開かれました。

前回は行政から示された条例の骨子について各委員から意見が出され、私は次のことを提案しました。

- ①条例に理念となる前文をつける。
- ②単に環境を保全するという文言だけでなく、回復し新たに創造していくという言葉を入れるべきではないか。
- ③環境教育はもとより、市民の環境保全活動を支援していく、という文言を入れるべきではないか。
- ④東村山の自然は農地や林、水源を涵養する緑や川によって守られている、規模が小さいからといって無条件に開発を認めるのではなく、市のアクセントとなるポイントの開発行為については環境影響評価を行うことが必要である。
- ⑤前年度の環境行政を総括し、環境報告書を作成して東村山市の実態を市民に知らせることが必要である。そして環境審議会で実施状況を検証し、新たな環境基本計画の重要課題として、具体的な環境改善計画を策定し持続的な改善システムを作るべきではないか。
- ⑥環境審議会の設置は条例に盛り込むことが必要である。
- ⑦東京都の基本条例の一部を構成するものであるので、東京都との協力条項を入れるべきである。

以上のことを文書にして提出し、第3回の委員会で説明しました。他に公募委員から、前文に環境権「よりよい環境の享受は、市民の権利である。」、他の市でも前文に入れてあるところがある。当市も入れられないか、との意見が出されました。第4回では、前回各委員から出された提案を行政案に提案事項として併記し、概要の討議を行いました。

行政側からは「新たに“前文”を各委員に書いて欲しい」との案が出されました。前文はどうしても、キーワードの羅列になってしまうことが予想されますが環境行政の根幹となる条例前文を委員に書く機会を与えるということは画期的な試みと受け取りました。行政が本気で市民参加をもって環境基本条例を創っていく、という姿勢を垣間見ることが出来た感じです。

司会をされた会長はさすが重要なポイントは捉え、議論をもらさない態度にはさすがに感心しました。

審議が進むにつれて、各委員にも条例の全貌が見えてきて、これからの討議で東村山市らしい環境基本条例が出来るのではないかと楽しみにになりました。

空堀川の大腸菌

—安心して川で遊べるために—

小林 寛 治

空堀川は東京の河川の中で一番汚い川であったことは先に述べてきました。

昨年来、2002年4月から行われる「総合的な学習の時間」が話題となり、私たちも空堀川での「体験学習」を手伝ってきました。

学校側の関心事の一つに水質の安全性、特に大腸菌群がたくさん存在しているのでは……との心配がありました。

私たちも水質分析で汚濁は大きく改善されているとのデータは持っていますが、大腸菌群数、一般細菌については殆ど知識がありませんでした。

空堀川流域の水洗化は非常に進み、川は誰の目にも格段にキレイになってきていることは分かってきています。

今回、当会理事・渡辺先生が催した「水質分析セミナー」に参加し、細菌の専門家である北里大学・漆原先生の特別講義を受け、微生物検査の試薬の提供と検査方法の指導も受けました。

この試薬をもって、8月7日、殆ど流れが止まっていた時点での大腸菌群数と、24日、11号台風が過ぎ去って見違えるようにキレイになった川の大腸菌群数を、渡辺先生の実験室で二人で調べてみました。結果は下表の通りです。

試薬は三通り使いました。

- ・ 共立化学研究所……大腸菌群試験紙・一般細菌試験紙による24時間培養。
- ・ サ ン コ リ……大腸菌試験紙による24時間培養。
- ・ 関 東 化 学……大腸菌測定用LMXブイヨン-10、三段階希釈におけ陽性管数の最確数と信頼限界。

(単位：100ml)

	8月7日	8月7日	8月24日
	大腸菌群数(個)	一般細菌(個)	大腸菌群数(個)
合 流 点	300~400	300~500	24~240
三 郷 橋 上	350~400	430~480	—
栗 師 橋 上	700~800	370~450	—
前 原 橋 上	510~750	200~300	—
いこいの水辺	1000~2000	300~600	陽 性
からぼり広場	4000以上	1000以上	陽 性

空堀川の草木

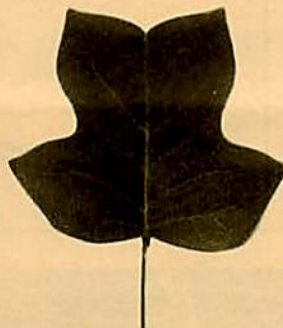
ユリの木 (もくれん科)

佐々博子

半纏を広げたような独特な葉は、他の木と区別しやすい。5月頃咲く花は薄緑で、下方にオレンジ色の帯もつけ、とってもお洒落。チューリップ形の花は上向き。蜜は1花から小さじ1パイ位出るといわれる程。蜂たちにとっても魅力的な木。花ことばは“田園の幸福”すてきですね。

なお、新宿御苑の中庭に樹齢130年位の有名な3本の大樹があります。上野の国立科学博物館中央玄関前にも。

著者のことば：初回ですので、「通水まつり」に記念樹として私たちが選んで浄水橋前に植えたユリの木にしました。端正、そう快、壮大で樹木の王者と言われている木です。



ユリの木の葉

—

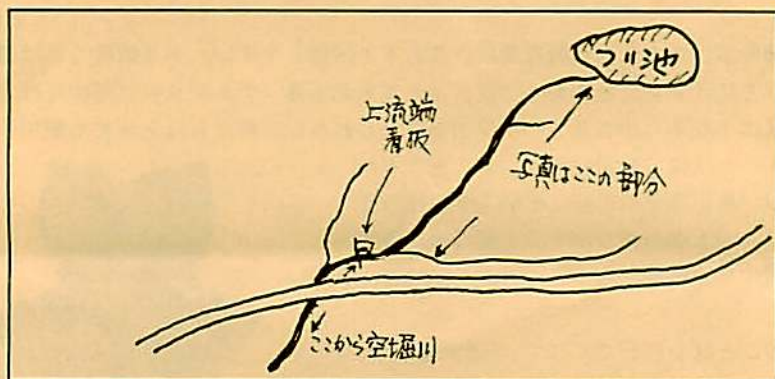
川がよろこんでいる !!

小林藤子

8月22日、台風11号が来ました。例年になく日照り続きの今夏、待たれるのは台風でした。長い前ぶれのあと、のらりくらりと上陸してきた台風は、それでも一日中待望の雨を持ってきてくれました。その夕方、通り過ぎたあとの少し静かになった頃、私はじっとしておられず、傘をさし雨靴を引っ張り出して空堀川に足を向けました。昨日まで、これが川？と疑うほど河川敷ばかりの其処には水は全く無く、ところどころに小さな水溜りがあるのみでした。それが今はなんと、うそのように水が音を立てて流れているのです。“川がよろこんでいる！”橋の下を覗いて見ると分流からも排水溝からもどンドン流れ込み、それが仲良く合流し、なお勢いを増して流れていくのです。濁流でした。水を得た魚ということわざどおり、まさしく水を得た川そのものでした。“川がよろこんでいる”それしか表現の仕様がなほほど、わたしはしばらく立ちすくんでいました。何か胸が一杯になりました。川にはやはり水が一番似合う。水がなければ「川」とは言えないですものね。

一夜明けて静まった時、昨日の川が思い浮かびました。昨日の感激は未だ残っていました。しかしあの流れの中に何か生き物が居たのではないだろうかと考えました。日照りの中でジーンと水の来るのを待っていた魚、川の底に、草むらの中に潜んでいた生き物たちはあの濁流でどうしたのでしょうか。流されたであろう生き物たち、居場所を見つけたら必ず元気になって蘇って欲しいとひそかに祈っている私でした。

空堀川の源流



写真は最上流の釣り池から一級河川として指定された上流端看板までの状況です。この部分の水路は一般河川として武蔵村山市の管理です。三面張りの川の上は蓋をされ歩道になっています。



がたろう豆辞典(10)

宮下博文

—と—

等雨量線法：雨量線法は雨量の観測面より等雨量線を引き、等雨量線間の面積を等雨量線を引くさい、観測所の数が少ない場合あるいは雨量の変化が測り、等雨量間の平均雨量にその面積を乗じ、これを全部合計して面積の合計で割って、平均面積雨量を算出する方法である。

はなはだしい場合、かつ等雨量線を引く人により個人誤差が入る欠点がある。

東京湾平均海面：わが国における水準測量（標高及び高低差を測る測量）の基準面としているものであって、東京湾の海面を明治6～12年に至る間測定した結果から定めた中等潮位である。東京湾平均海面を基準にして決めた。高さの基準点は東京三宅坂の台地上にあり、その高さは東京湾平均海面上24.414mである。

等高線：土地の高低の状態を地図に表わすために高さの等しい点を連ねた曲線を言う。

—な—

生下水：家庭や工場から出たままの処理されていない下水を言う。

—に—

二等橋：河川・国道等に架かる橋には、一等橋と二等橋がある。一等橋は、一般国道、主要地方道及び都市内重要道路に架設される橋梁をいう。その他都道府県道及び市町村道においても架設地点の交通量、通過荷重が大きい場合は一等橋とすることが出来る。上記以外の橋を二等橋とする。また二等橋に積荷する荷重は一等橋の場合の約75%である。

日本水準原点：わが国の水準原点は、測量施行法令で次のように定められている。
地点：東京都千代田区永田町1丁目1番地内、水準点標石の水晶板の零分角の零分画線の中心点、原点数値は東京湾平均海面上24.414m。

—の—

のり面保護工：切り取り又は盛り土によって出来た人工的な土の斜面をのり面というが、のり面に自然風化や強雨などによる浸蝕やのり面崩壊が起るので保護することを言う。

のり面保護工には、普通擁壁、のり枠工、石積工、コンクリートブロック張りや植生などがあり、のり面勾配及び高さ、気候、環境、工事費等を考慮し決められる。

インフォメーション

今年の河川敷の草刈は

下記のようになります。

9月3日、北・北建、東村山・清瀬工区 小峰主事、下流・新空堀橋から合流点までを担当する清香苑、新空堀橋から上流・東大和市境の上橋までを担当する立川造園代表の三人と当会から福島・小林が河川敷の草刈について話し合いました。

結果：「水際1mを残す。河原の植生保護のため積極的に残すべ植物は前もって業者がテープでマークする。私たちは業者と北・北建と一緒に確認する」等が決められました。9月末までテーピングが行われます。気が付いたことがありましたら、ご連絡ください。

第10回クリーンアップが11月18日に決まりました。新しい展開も！

今年で10回目になる空堀川クリーンアップを11月18日に行います。

今回は教育委員会社会教育課から「青少年リーダー養成スクール活動に組み入れた活動にしたい」旨の申し込みあります。次第に輪が広がって行くことは嬉しいことです。今後も継続していけるように新しい試みも必要かと考えます。

空堀川源流付近に温泉施設が出来ます。

上流端の武蔵村山歴史民族資料館の隣に、武蔵村山温泉健康施設（仮称）の建設が急ピッチで進んでいます。

今は、この温泉の原水は無料で誰でも汲んで持っていけるようになっています。一度、行って見てください。

今回から「空堀川の植物」を連載します。植物に詳しい会員の佐々博子さんに河川敷の草や樹木について写真と解説をしていただくことになりました。

以前にも他の書物で山の植物を取り上げ解説されていました。初回は私たちの推薦で浄水橋の袂に植えた記念樹・樹木の王者「ユリの木」を取り上げていただきました。ご期待ください。

新河岸川水系一斉水質調査結果の発表会が11月24日（土）に決まりました

6月11日に行った水質調査結果の発表会が行われます。今回は東村山市立第三中学校生物科学部の生徒が、現在自主的に調査している野火止用水の報告をする予定になっています。

空堀川流域から洪水の危険は去る

国土交通省荒川下流工事事務所から送ってきた「荒川洪水氾濫危険区域図」によると荒川水系では新河岸川流域に危険区域があるが、空堀川流域では氾濫する危険はないようです。このハザードマップは200年に一度程度起こりうる大雨で3日間の総雨量548mm（昭和22年のカスリーン台風の446mmの1.2倍）の場合をシミュレーションしたものです。

水防法が改正され、新たに都道府県知事も危険な河川を指定することになりました。（施行：平成13年7月3日から）

知事は気象庁長官と共同で浸水想定区域の公表、円滑・迅速な避難を確保するための措置等を定めた。これにより一層住民に適切な措置が可能になりました。

第3回世界水フォーラムに団体登録

地球上の水の僅か 0.6%が利用可能な淡水です。この地球上の水は循環しています。汚染が進み、水が原因で年間 500～1000 万の人が亡くなり 12 億の人が安全な飲み水が確保できないで困っています。30 億人が十分な衛生施設がないため水が原因となる病で苦しんでいます。

2025 年には世界 48 カ国で水不足はなくなると見込まれています。この他、洪水や都市化と水問題、水と温暖化と水環境は悪化の一途です。21 世紀は水の世紀とも言われています。

第3回世界水フォーラムが 2003 年、京都、滋賀、大阪で開催されます。

事務局からの呼びかけがあり、団体として支援していくことにしました。多くの情報を得て、皆様に提供していきたいと考えています。

空堀川流域マップ一回目の校正終わる

がたろう通信第 26 号でご案内しました「空堀川流域マップ」づくりが順調に進み第一回目の校正を行いました。空堀川の橋を目標にしたスゴロク、散歩、サイクリング、流域の案内等 5 チームのデザイン科の学生さんが流域を探検しながら力作を披露してくれています。

今年中に完成させる、と張り切っています。ご期待ください。

平成 13 年度 (NPO) の役員決まる

去る 6 月 9 日、総会において新しい役員が選ばれました。この事は「がたろう通信」第 28 号でお知らせした通りです。新役員と任務分担を 9 月 14 日、第一回

役員会にて決めました。

理事長	小林 寛治 (留任)
副理事長	渡辺 勇 (新任)
理事 (事務局長)	有川 栄子 (新任)
理事 (環境学習担当)	加藤 敏子 (〃)
理事 (事業部長)	友保 邦弘 (〃)
理事 (会計担当)	福島 淑行 (留任)
理事 (イベント担当)	宮下 博文 (〃)

以上の通りです。よろしくお願ひいたします。

平成 12 年度 『空堀川水質調査結果報告書』空堀川水質浄化対策会がまとめる。

空堀川の流域四市で構成している「空堀川水質浄化対策会」が平成 12 年度 (11 年 4 月～13 年 3 月) の調査記録をまとめました。

この調査は流域の各市が市内の 2 ヶ所 (中・下流) を調査地点と定め、年 4 回、水質調査を行っているものです。調査項目は気温、水温、色相、臭気、透視度、流速、流量、pH、BOD、SS です。

この調査結果は空堀川水質浄化対策会として、都知事、建設・環境局長と建設事務所長、環境事務所長に流域市長連名で改善要望書を出しています。気になったことは、空堀川の流量が四市の排水合計であり、実態を表わしていないこと。要望書の中では護岸を緑化ブロックでと要望していますが、今はコンクリートの護岸から透水性の素材を使った護岸造りが建設局の指針となっています。緑化ブロックはコンクリートの壁に窪みをつけて土を乗せただけの目くらましにすぎません。もう一步踏み込んだ要望にして欲しいものです。

◆これまでの経過◆

(2001. 7/21～9/20)

- ◎ 7月24日 第2回「東村山市環境基本条例策定協議会」開催。
- ◎ 8月2日 東村山市建設部道路課維持係 維持関係について打ち合わせ。
- ◎ 8月28日 第3回「東村山市環境基本条例策定協議会」開催。
- ◎ 9月4日 第3回川まつり 反省会 東村山市役所 地下食堂 小林参加。
- ◎ 9月8日 定例会。東村山中央公民館
- ◎ 9月14日 第一回役員会。
- ◎ 9月17日 総合学習の支援。野火止小学校 4年生 11名。
- ◎ 9月20日 第4回「東村山市環境基本条例策定協議会」開催。

* * * * *

カワセミがたくさん見られる ようになりました。

台風15号がもたらした雨で水量が増え、小魚がヒラを打つ光景が見られるようになりました。

鳥は餌場をよく知っているのには感心します。空堀川は浅く、すぐに水がなくなるので現在は合流点から浄水場前の馬頭橋まで数羽のカワセミが来ています。馬頭橋付近で2羽、下流部のカワセミは柳瀬川と同じものかよく分かりませんが、最近増えている鳥かもしれませぬ。止まり木となる杭を打って欲しいとの要望が出ています。

新規入会者紹介

7月19日入会しました。
井口 重昌さん(東村山・青葉町)
よろしくお願いいたします。

私たちの活動を支援して下さる方を求めています。

支援者と会員を募っています。北多摩の自然を守り豊かな地域づくりに関心のある方の参加をお待ちしています。

会の目的

私たちの目的(定款に定めたもの)は、
①環境の保全を目的とする活動。②街づくりの推進に関する活動。③子供の健全教育に関する活動。④社会教育の推進。この四つを目標として活動をしています。

会費

個人会員(賛助会員とも)

入会金 2,000円

年会費 2,000円

法人・団体会員(賛助会員とも)

入会金 10,000円

年会費 10,000円

申込み先

東村山市美住町1-13-14 小林まで

TEL/FAX: 042-391-4003

会費振込み先

郵便振替 口座名: がたろう

口座番号 No. 00130-3-729803

ご寄付もよろしくお願いいたします。
多少の金額に係わらずご支援ください。
切手でも結構です。「楽しい空堀川のマップ作り」の費用にあてます。支援して下さった方に、印刷が出来ましたら会報と一緒にお届けします。

原稿をお寄せください!

空堀川について感じたこと、水のこと、何でも結構です。FAXもOKです。

からぼり川

がたろう通信

第30号

2001年12月5日発行

特定非営利活動法人 空堀川に清流を取り戻す会

ホームページ : <http://homepage2.nifty.com/karaborigawa/>

E-mail : k_hiroharu@nifty.com

発行責任者 : 小林寛治 TEL/FAX 042-391-4003 (東村山市美住町 1-13-14)



空堀川クリーンアップ参加感想文 (リーダー・スクール生徒)

ビニールのようなものが川の中に、石につかかっていた。車に乗っている人が投げていくんだよって委員さんは言っていた。お菓子やの包みとかおにぎりとかの燃えないゴミ、ペットボトルがあった。食べながら捨てていくのかなーって思いました。(南台小6)

今日はゴミ拾いをしてゴミがいっぱいあってビックリしました。いつも私はゴミを平気で捨てていました。でも今日、ゴミ拾いをして「ゴミを捨てるのをやめよう」と思いました。(青葉小6)

外国の川は柵がないと聞いてたけど、日本は柵がなきゃゴミがもっといっぱいにたまっちゃう。柵がなくてもきれいな川にしたい。(南台小6)

- ◆捨てられる 川には出来ぬ ゴミのしより (野火止小6)
- ◆守ろうよ 鳥や虫たちの 大切なすみかを (リーダー)
- ◆空堀川 いつでもきれいな クリーンアップ (青葉小6)

虚しい、それでもやはり

正路妙子

空堀川のほとりのヤマブキの植え込みの上に、半年前に大量のピラカンサの枝が置かれました。ヤマブキのちょうど上に枝を伸ばしていた、隣接する住宅のピラカンサの木からのものでした。夏がすぎて枯れ枝はやがて歩道の側に垂れ下がるようになりました。ようやく11月も半ばになって、植え込みの剪定を担当した業者が処理してくれたので、ヤマブキは重荷から解放されました。2年前には、そのすぐ隣の家の老婦人が自宅の庭から剪定した枯れ枝をもってきて、このヤマブキの根元に置いていきました。

私たちの共同体の構成員が、自分にとって邪魔なものを公共のスペースに放置するのを見るたびに、シジフォスが感じたに違いない虚しい思いが胸をよぎります。しかし同時に、それでもやはりと考え直します。

私たちが空堀川のクリーンアップに参加するのは、自分たちが生活する空間を可能な限り快適な場所に保つとともに、人間によって汚された自然を他の生物のためにも元に戻したいと考えるからです。しかし、このような意識は残念ながら万人に共有されたものではありません。私たちの作業の翌日にはあらたに空き缶が投げ込まれています。邪魔なものを隣接するスペースに放置して平気でいられる人がいるのですから、街並みの「美しさ」についての価値観を共有することも並大抵のことではありません。周囲の環境との調和、すなわち他者とのかかわりあいの中で、「美しさ」に対する感性を育てていかななくては、私たちの住環境は決してよくなることはないでしょう。

「マナーです」とか「ルールを守りましょう」と説くことは往々にして無意味です。マナーやルールのような目に見えないものの価値は、標語として掲げることによって身につくものではないからです。

街並みの「美しさ」を構築するためには、ひとりひとりの人間の判断力に期待するのではなく、相対的に普遍性をもった価値観に基づいた制度を築く必要があるでしょう。公共性の概念を育てるためには、責任の所在をはっきりさせる制度をつくる必要があるでしょう。車や家電製品には不要となった際の処理費用を購入者にまえて負担させ、空き缶、空き瓶、ペットボトルには返却すれば戻る担保金を前もって徴収するシステムを導入する、これによってかなりの問題が解決されるでしょう。

捨てたい人にはどんどん捨てていただきましょう。ただし、彼らが捨てた物を回収する経費を支払っても、自治体が黒字になるだけの担保金を支払っていた上です。

「総合的な学習」についての事例発表と シンポジウムの開催

前号でお知らせしましたが、(財)日本科学協会支援による「水辺での体験学習の事例発表会」と「総合的な学習の時間」のシンポジウム開催の具体的な案が決まりましたのでお知らせいたします。

来年4月から全国の小・中学校で実施される「総合的な学習の時間」とは、どんなものなのかは先生方はもとより父兄の方、また一般市民の皆さんの関心事であるようです。このシンポジウムがこれらの参考になったら非常に嬉しいことです。多数の方々のご参加ご来場をお待ちしております。

記

開催日時：平成14年1月26日(土曜日)午後1時～5時

場 所：東村山市民センター別館2階

(東村山市本町1-1-1 TEL:042-394-7272)

内 容：

1. **学校からの事例発表** (東村山市立大岱小学校・同 八坂小学校・同 東村山第三中学校)
2. **基調講演：**「総合的な学習の時間とは」東京学芸大学教授・小澤紀美子氏
3. **パネルディスカッション**

パネラー 放送大学教授・濱田隆士氏(兼コーディネーター) ほか4名。

主 催：NPO 法人空堀川に清流を取り戻す会

後 援：・(財)日本科学協会・川に学ぶ体験活動協議会・国土交通省荒川下流工事事務所・東京都建設局・東京都環境局・河川環境管理財団
・東村山市・東村山市教育委員会・(財)日本生態系協会・(株)共立理化学研究所・職業能力開発総合大学校東京校

また、当日参加された方には「体験学習の事例集」を配布する予定です。

東村山市は市民団体との協働事業第1号と位置付け、全面的に協力する体勢をとっておられます。例えば、当日は市民センター全館の使用許可。展示スペースの確保、駐車場の全面使用許可、1月15日市報には別枠で掲載の便宜を図ってくれています。私たちとしても、このイベントが成功するように努力していかねばならないと考えています。

※発表会の開始は午後1時からですが、写真等の展示は午前11時から行っていますので併せてご覧下さい。

白丸ダムの魚道

友保邦弘

10月22日、東京都環境学習リーダーの「アユ探検隊グループ」に同道して多摩川の白丸ダムに完成した魚道を見学した。

白丸ダムは昭和38年に東京都奥多摩町の多摩川上流部に発電用として建設された。所轄は東京都交通局で、5km下流の多摩川第三発電所に送水している。高さは約30m、総貯水量90万立方mの重力式コンクリートダムである。

平成3年に当時の建設省河川局が「魚がのぼりやすい川づくり推進モデル事業」を策定し、多摩川は平成6年にモデル河川に指定された。以来河口部から順次魚道が整備され、最大の難工事である白丸ダムの魚道が今年完成した。魚道の形式は現在最も有効とされている「アイスハーバー型」で、明り水路部207m、トンネル部125m、合計全長332m（東京タワー333mより1m短い）、幅2m、勾配1/10。総工費は実に35億円。世界最大規模の魚道である。

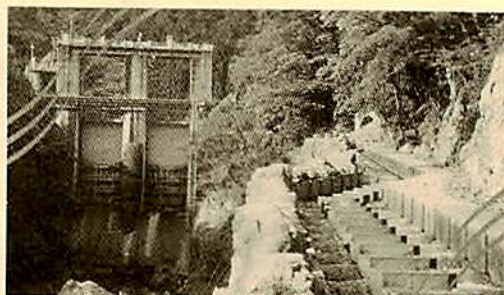
13年度の遡上調査によると、魚道下流端に放流した魚がダムの開放部まで遡上した実績は、アユ、ヤマメ、ニジマスが各々5.9%、3.5%、0.7%であった。放流していない魚ではウグイ、トウヨシノボリ、イワナ、カジカなど11種類の遡上が確認された。魚の下降については今のところ確認できていないとのことであった。

多摩川は小河内ダムまでの間にダムや堰が17箇所あり、そのうち魚道が全く無いか、有っても機能していない場所が5箇所もある。機能していると言われている魚道についても十分に実証されているとは言い難い状況であり、「魚がのぼりやすい川」にするためには相当に思い切った発想の転換が必要であろう。

遡上テストで僅か5%程度という魚道に35億円投入したのが果たして正解であったかどうかを検証するには、今少し時間が必要かもしれない。ダムと魚道と発電所の維持費や発電量など、あらゆる要素を勘案すれば、白丸ダムそのものを撤去するという選択肢も有ったかもしれない。

今や欧米では不要ダムの撤去による自然志向の川づくりが、21世紀型公共事業と位置付けられて強力に推し進められている。長良川の老漁師がつぶやいた

「川そのものが魚道だわな」という言葉を今一度かみしめてみる必要があるようだ。



東村山市環境基本条例策定協議会から

小林 寛 治

第6回策定協議会が11月27日に市役所で開かれ、事務局から条例の骨子が示されました。前文については各委員から出された文案を寄せ集めたもので、文化遺産である細文遺跡下宅部や近い将来、地域の財産になる空堀川の重要性が欠落したつなぎ合わせのリズムに欠けた文章になっています。議論のあった環境権についても文言としては避けてしまっているようです。

私が第29号でご報告した「市民の自発的活動の支援」を強く要請しましたが文案は第3章〔自発的活動の支援〕で「自発的な環境保全等に関する活動の促進に努めるものとする。」と支援が促進に変わり、財政上の必要な措置はどこにも見当たりません。環境の保全は市民はもとより事業者、行政が環境への負荷を低減するための行動を誘導するために、経済的な支援と負担を要請しなければなりません。市民の自発的行動は環境保全の基本だからです。

環境影響評価についても、市内には大規模な開発は予想されていないということで、その項目は削除されました。環境影響評価の趣旨は環境保全上の支障を未然に防止する上で重要な規定であります。大規模開発予定がないからといわず、ないならなおさら、市は未然防止規定を条文に入れたらいいでしょう。

市の環境基本条例は将来にわたっての環境行政の理念であり、実質的には環境分野については他の条例に優先する性格をもっています。

環境問題は尽きるところ、人間の活動によって廃出されるゴミ問題と人が快適な生活を求めて過去の生物が蓄積した資源を使い、森林を切り開き多くの生きものたちを追い詰め絶滅させてきた歴史の反省から、保全し、回復し、更に創造していく生物の多様性に集約されるのではないのでしょうか。

また、条例は骨子だけ協議し、法文の原案も見られない可能性もあります。そうだとしたら、策定協議会は市民参加で話し合っただけになってしまいます。東村山市“らしさ”はどこにも認められないものになってしまいます。

条例の施行日は周知期間を含めて、6月1日ないしは9月1日を想定しているそうです。6月5日の環境の日、または市の環境に関する記念すべき日も想定に入っているようです。発想に何となく違和感を感じてしまいます。

せめて、東村山市環境基本条例ではなく、優しく親しみのもてる名称にして欲しいものです。

この策定協議会は公開されたもので、誰でも傍聴できるものでした。私は団体委員として皆様に経過のご報告をさせていただきます。 以上

「清流を取り戻す会」入会にあたって

平 田 和 彦 (東村山市本町)

『空堀川という川がある。一年ほど前までは狭いコンクリートに覆われた汚れた川で、大雨になると水があふれ出した。それが、改修によって流路が変わり、岸は土になって草が生え、魚が橋の上からも見え、白鷺やハクセキレイも降り立つ澄んだ川になった。本当の意味での“豊かさ”とは、数字で計れるような単純なものではないのだろう。』

—2年前、高校の卒業文集に僕が書いた文章です。幼稚園の頃から15年以上東村山市に住んできましたが、僕にとっての空堀川は長い間生活の外にある川でした。友達の家近くにあって水が流れているところ、それだけの感覚しかありませんでした。

高校生のとき、学校から帰ってくる西武線の電車からふと見ると、小さい頃柵を乗り越えて遊んでいた原っぱが掘り起こされているのに気づきました。それからしばらくして、そこに水が流れるようになったのを見てから、少し時間のある天気の良い日にはいつもより一つ前の久米川駅で電車を降りて、空堀川に沿って歩いて帰るのが僕の気晴らしのひとつになりました。

『清流を取り戻す会』のことは、その頃から知るようになりました。市の中央図書館に置いてあった『がたろう通信』を見つけたのが最初でした。それから会のホームページを見たり、図書館で本を見ついたりしながら、少しずつ生き物が増えてきれいになっていく空堀川を眺めてきました。今年11月に20歳になる少し前から、本当に自分の責任を自分で取れる年齢になって自分がしたいことは何か、ということ考えたとき、この会のことが頭に浮かびました。どうせ何かするなら、好きな川やまちのことに自分で関わることができたら、そう思ったのがきっかけです。

いま、小・中学校では総合的学習の時間の導入にも絡んで、「地域と学校の関わりかた」が議論されています。また、文部科学省も「生涯学習によるまちづくり」というスローガンを掲げ、NPOも含めたまちづくりを積極的に支援しようとしています。そのなかで、『清流を取り戻す会』としてこれまでやってきたこと、そしてこれからできることは、とても大きいのではないかと思います。僕は来年度大学3年から教育学部に進学することもあって、学校と地域の橋渡し役としての会の活動に、とくに関心をもっています。これからの会の活動に自分が少しでもお手伝いできれば、と思っています。

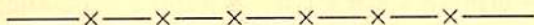
書館、蔵敷公民館に置いてあります。ご覧下さい。

空堀川の草木 ②

セイバンモロコシ (イネ科)

有川 栄子

空堀川兩岸の河道ぎわにたくさん生えている多年草の植物です。アフリカ原産の帰化植物で、荒地、埋立地、土手などに群落を作り、地下茎が横にはって繁殖します。茎は太く、高さ1～1.8mになります。9月頃に大形の穂をつける。小穂は、雄花と両性花とからなり、紫褐色に黄色が混じっています。スズメが群がって実を食べます。



市との初めての協働事業

初めての受託事業 —草刈り—

東村山市土地開発公社所有の空き地の草刈りを依頼され、去る11月15日、17日、19日に作業を行い、無事終了しました。

最初のことで収支は持ち

出しになりましたが、NPOとして新しい方向が開かれたように感じています。この作業の受託を通じて感じたことが二、三ありますのでご報告いたします。

1. NPOは業者なのか？
2. 行政はNPOを協働の相手と認識しているのか？
3. 結果について、評価をしていただきたいと思います。

仕事面では今までの業者と同等の成果を要求されることは当然と考えます。しかし何も資産を持たないNPOに対し行政は協働の相手として認識を持って欲しいと思いました。今回の作業は上層部から試験的な意味でNPOに仕事を出されたので、協働事業という位置付けを現場は考えていないように感じられました。例えば事務処理手続きなどは是非とも事前の説明が欲しいと思いました。「協働」に対するあり方を共に話し合う必要を感じました。

隅田川ゆらり旅

有川 栄子

空堀川の水は武蔵村山市の野山北公園を水源に、どのように流れて海に注ぐのでしょうか。一滴の水を追って私たち一行（当会会員と一般参加者合わせて29名）は、10月24日隅田川両国橋のたもとから船に乗り込み、水上散歩に出発しました。空は晴れ心地よい風を受けながら、船はすべるように川を下ります。前方に美しい型の清洲橋が見えてきます。ドイツのライン川に架かる橋を模したといわれています。下から眺める橋は各々に個性があつてとても面白いと思ひました。永代橋もくぐります。この橋を元禄15年12月、赤穂浪士一行が通つたのです。その4年程前に出来上がったばかりの江戸第一の大橋だったそうです。

川は満々と水をたたえ、両岸は目を見張るばかりに近代化されましたが、50数年前の東京大空襲の際には大勢の人々が川に助けを求めて犠牲になりました。水底の御霊に鎮魂の祈りを捧げずにはおられません。川は何事もなかったかのようにゆったりと流れています。

両岸にスーパー堤防が見えてきました。従来のカミソリ型の堤防に変わって治水・耐震性を考えたゆとりのある水辺を目指して整備されつつあります。緑の堤の下に広くテラスがあり人々が散策している光景は「水の都」東京といった感じです。東京湾に出るとお台場が昔のまま残されています。今は海鷗の楽園のようです。船は葛西臨海公園を折り返し、復路両国に戻ります。

かつて江戸東京にはたくさんの堀割があり、物資を運ぶ水路として重要な役割を果たしていましたが、車社会の世の中になり埋められて道路となつてしまいました。みな隅田川に繋がっていたのです。

空堀川の一滴の水は柳瀬川から新河岸川となり、大河隅田川となって東京湾に流れていました。これからも地域の川をしっかり見守って行きたいと思ひます。



がたろう豆辞典(11)

宮下博文

—は—

配水施設：浄水施設から給水装置までの施設で配水池、配水塔、タンク、配水管、ポンプその他の付帯施設等である。

配水池：浄水施設では、一定の時間に一定の速さで浄水しているが、需要側では、時間的に水の消費が一定でないので、この間の不均衡を調節する施設の池。

バスベイ：乗降客のために停止するバスが車道上の交通の妨害にならないように、バス停留場の付近の車道を広くした箇所。

はり芝：芝張りの一種。

—ひ—

ヒューム管：オーストリアの Hume 兄弟が 1820 年に遠心力を応用して製造した鉄筋コンクリート管のこと。

標高：ある点から基準面（わが国では、東京湾の平均海面を通過する水平面）までの鉛直距離（高さ）を言う。すなわち東京湾平均海面は 0 m である。

—ふ—

風化：岩石の風化は、大気の物理的及び化学的な作用によって風化する。物理的風化作用としては、①周期的な温度変化、②凍結、融解など。科学的風化作用としては、①酸化作用、②水和作用、③炭酸化作用。生物学的付加作用は一般的に少ないが、①動植物などの物理作用、②植物の化学作用などある。

風化（木）：木は、一般に風化し腐食するが、水中またはそれに近い状態の中では腐食しない。

風化（セメント）：セメントは貯蔵中に空気中の湿気及び炭酸（CO₂）を吸収すると、水粒生成物と反応して比重を減じ、強熱減量を増し、強度の発現性を低下する。この現象をセメントの風化という。

訂正 前号「日本水準原点」の解説に誤りがありました。すみませんでした。
原文：「…… 水準点標石の水晶板の零分角の零分画線の中心点、……」
訂正：「…… 水準点標石の水晶板の零分画線の中心点、……」

学校ビオトープの優秀校見学

福島 淑行

最近ビオトープという言葉をよく聞くようになりましたが、言葉では知っていても実際に観る機会はあまりなかったような気がいたします。今回財団法人日本生態系協会の埼玉県の方に全国学校ビオトープ・コンクールで優勝した越谷市立南越谷小学校のビオトープを会員5人で見学させていただきました。

場所はJ R武蔵野線の南越谷駅から10分くらいの所で、ほとんど住宅地ですが、その学校の一角の約780㎡の敷地にビオトープが造られてありました。一見藪のような所に池があり、草地があり、林があるという小さな田舎の自然の風景がそのまま残されたように感じられますが、実はこの自然は、この学校の児童たちによって造られた自然なのです。

この自然は大きく水辺と草地と林の三つに区切られており、その中にはいろいろな工夫がされておりました。木にはプラスチックのピンがぶらさがっていて「この木は何でしょう！」と書いてあり、それを上げると答えが出てくるという仕組みやら、人が通路を通って生物を踏みつけないようにU字溝が置かれたり、池の周りには湿地と石積みの場所が造られたり、また枯れ枝の積み上げ、落葉溜めなどが造られておりました。

そこにはたくさんの種類の植物があつて、それに多くの虫や水生生物が棲めるようになり、またそれを狙って鳥や動物などが来るという。この地も昔はこのように自然の豊かな土地であったことでしょう。子供たちは専門家の指導のもとにこの地の昔の自然を取り戻したのです。ここまでにするには多くの問題があり、また苦勞もあつたようで、それを乗り越えてこのような自然の場所を再現した結果が全国表彰の名誉に輝いたのです。

ビオトープとは「生物の棲める空間」の意味で、キーワードは生物多様性ということになります。しかし今なぜビオトープが必要なのでしょう。それは多くの生物が棲む場所が開発などで破壊されてしまったので、それを呼び戻し、とくに子供たちに自然の生物から命の大切さを知ってもらいたいからです。

私たちの空堀川もビオトープの一つであり、多くの生物の棲む場所となっております。また学校などや近隣の緑地などを結ぶネットワークの役目も果たす大切な場所でもありますので、空堀川の自然を守ることは、地域全体の生態系を維持することにもなります。

インフォメーション

「空堀川流域から洪水の危険去る」 は誤りでした。

前号(10) ページで、「国土交通省『荒川洪水氾濫危険区域図』によると空堀川流域ではもはや洪水の危険はないようです」と書きましたが、都河川部よりクレームが入りました。

平成9年度東京都総合管内図「注意を要する箇所」では6箇所の地域が記載されていますが、現在では東村山市と東大和市との市境、東大和市内奈良橋川との合流点付近の2ヶ所が危険地域になっているそうです。訂正します。

「空堀川流域マップ」がほぼ 出来上がりました。

職業能力総合大学校東京校・環境デザイン科の皆さんにお願いしてきました空堀川流域を色々な観点から見てデザインしたマップが完成に近づいています。

来る1月26日の東村山市民センターで行われる「総合学習—水辺の体験学習発表会」の会場に展示します。

皆さん是非見に来てください。

「総合学習—水辺の体験学習発表会」 には 午前部を設けました。

小学校から総合学習に使った資料、川に学ぶ体験活動協議会から各種のパネル、私たちの活動状況のポスター、ワークセンター大地工房からは押し花標本等の展示を考えています。皆さんからもこのようなものを展示してみたらどうかなど、ご提案をお待ちしています。

空堀川にはタヌキが おってさ!

黒目川のタヌキは朝日新聞でおなじみになりましたが、当時から空堀川にもタヌキが居たとの情報が沢山ありました。昨年来大岱小学校の生徒が「タヌキ」がいますと調査して発表している写真を会報第24号で紹介しました。

その後様子を見てきましたが、本物のタヌキが本当にいたのです。場所は大岱小学校付近としておきます。

「身近な川の一斉調査」報告会が行われました。

11月24日(土)、朝霞産業文化センターで6月10日新河岸川水系で一斉に行われた水質調査の報告会がありました。空堀川の調査に参加した東村山第三中学校自然科学研究部の四人の生徒が発表しました。

この他、自由学園、志木宗岡中学校からも発表がありましたが、身びいきではありませんが三中の発表がピカ一でした。

東京都生活文化局都民協働部の

ヒヤリングがありました。

去る11月20日、NPOと行政との協働の実態についてヒヤリング調査があり、市民活動担当 久米吉裕課長・調査委託会社 EX 都市研究所 嶋影徹室長の二人が小林宅を訪れ、行政との協働の実態のヒヤリングがありました。

現在、東京都に登録している千数百の団体に中から10団体を選んでヒヤリングを行っているとのことでした。結果は冊子にまとめ送ってくれるそうです。

◆これまでの経過◆

(2001. 9/21~11/20)

- ◎9月25日 (財)河川環境管理財団
小川氏訪問、1月26日のシンポジウムについて支援を要請。
- ◎9月26日 野火止小学校4年生、長崎先生のクラス「水辺の調査」支援。
下堀橋上流で行う。
- ◎10月1日 河川の草刈りの打ち合わせ、空堀川広場で、北・北小峰氏、立川造園竹村氏、清香園田中氏と時期・方法の確認を行った。当会から福島・小林参加。
- ◎10月5日 社会教育委員会高橋氏
青少年対策委員会会長と青少年リーダースクールの生徒とのクリーンアップ打ち合わせ。小林・加藤出席。
- ◎10月13日 定例会。東村山中央公民館。
- ◎10月16日 シンポジウム・水辺の体験事例集について打ち合わせ。教育委員会神山指導主事・西川市民課長・本多NPO担当主査、当会から福島・小林。
- ◎10月17日 東萩山小学校4年生、総合学習の支援教室で「水について」の話。小林。
- ◎10月18日 埼玉県南越谷小学校の学校ビオトープ見学。埼玉県生態系協会・杉本氏の案内による。渡邊、福島、小林、有川、加藤5名参加。
- ◎10月24日 隅田川クルーズ。両国橋から東京湾、スーパー堤防を見学参加者30名。
- ◎10月30日 柳瀬川・空堀川流域連絡会。北多摩北部建設事務所
- ◎11月2日 水辺の体験学習、東萩山小学校4年40名。福島・小林支援。

- ◎11月10日 定例会。中央公民館。
- ◎11月15日 市からの委託事業草刈りを行う。参加者5名。
- ◎11月19日 市からの委託事業草刈りを実施。参加者5名。

会 員 募 集

支援者と会員を募っています。北多摩の自然を守り豊かな地域づくりに関心のある方の参加をお待ちしています。

会 費

個人会員(賛助会員とも)

入会金 2,000円

年会費 2,000円

法人・団体会員(賛助会員とも)

入会金 10,000円

年会費 10,000円

申込み先

東村山市美住町1-13-14 小林まで

TEL/FAX: 042-391-4003

会費振込み先

郵便振替 口座名: がたろう

口座番号 No. 00130-3-729803

◎忘年会のお知らせ

12月14日(金)午後7時から忘年会を行いたいと思います。多数のご参加をお待ちしています。場所は東村山郵便局脇の「サガミ」です。申し込みは有川(TEL: 391-6575)まで。

新入会員紹介

新巻正さん・懸桶哲夫さん(東大和市賛助会員)。平田和彦さん(東村山市・正会員)。よろしくお願ひします。